

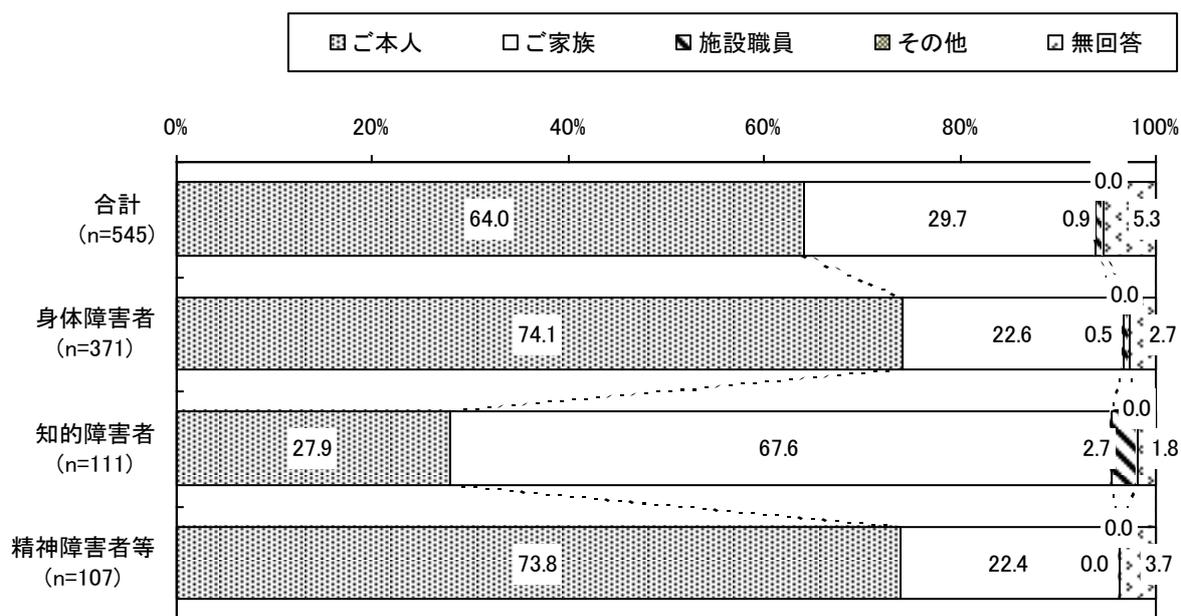
第 2 章

調査結果の説明

◇回答者

問：はじめにうかがいます。このアンケートに回答していただけるのは、どなたですか。

	全体	ご本人	ご家族	施設職員	その他	無回答
合計	545	349	162	5	0	29
	100.0	64.0	29.7	0.9	0.0	5.3
身体障害者	371	275	84	2	0	10
	100.0	74.1	22.6	0.5	0.0	2.7
知的障害者	111	31	75	3	0	2
	100.0	27.9	67.6	2.7	0.0	1.8
精神障害者等	107	79	24	0	0	4
	100.0	73.8	22.4	0.0	0.0	3.7



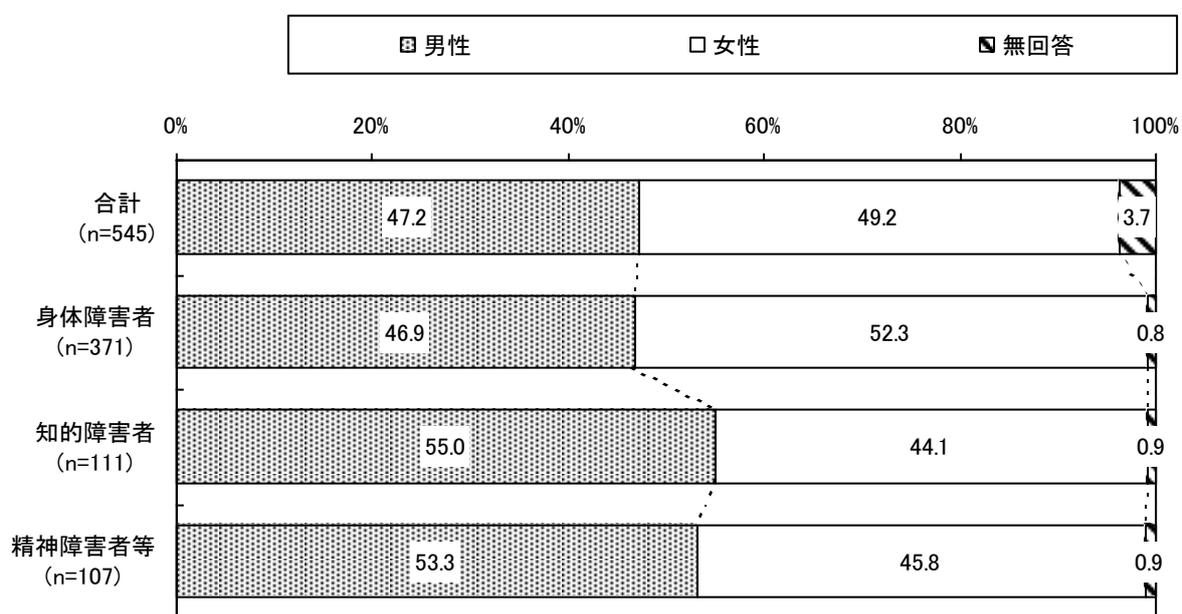
- ・ 全体では、「本人」が64.0%で最も多くなっている。
- ・ 身体障害者では、「本人」が74.1%で最も多くなっている。
- ・ 知的障害者では、「家族」が67.6%で最も多くなっている。
- ・ 精神障害者等では、「本人」が73.8%で最も多くなっている。

【1 基礎的事項】

◇性別（問1）

問：あなたの性別はどちらですか。あてはまる項目のどちらかに○をつけてください。

	全体	男性	女性	無回答
合計	545	257	268	20
	100.0	47.2	49.2	3.7
身体障害者	371	174	194	3
	100.0	46.9	52.3	0.8
知的障害者	111	61	49	1
	100.0	55.0	44.1	0.9
精神障害者等	107	57	49	1
	100.0	53.3	45.8	0.9



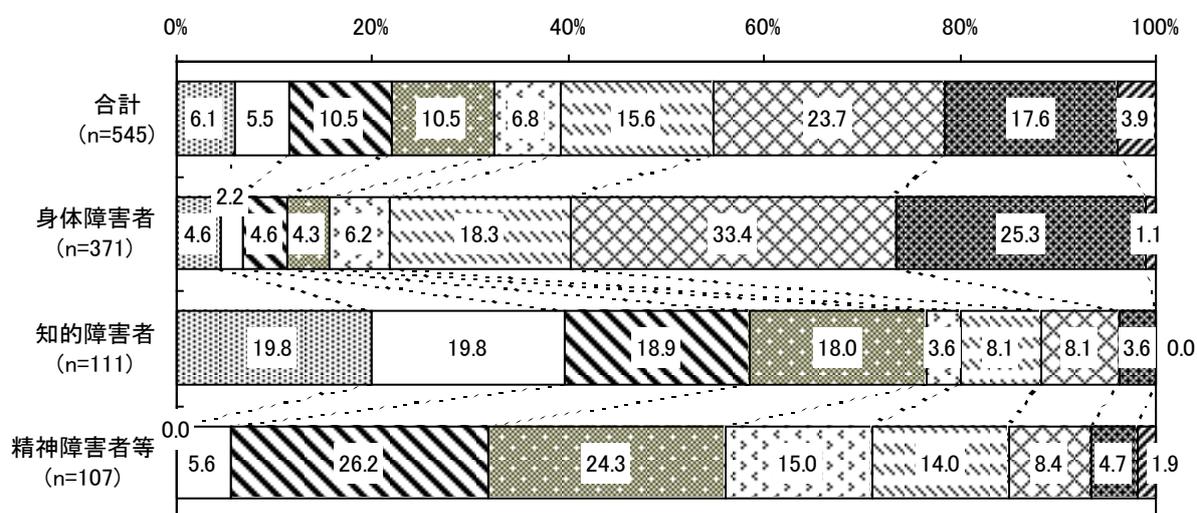
- ・全体では「女性」が49.2%で、「男性」(47.2%)より若干多くなっている。
- ・身体障害者では、「女性」が52.3%と過半数を占め、「男性」(46.9%)より多くなっている。
- ・知的障害者では、「男性」が55.0%と過半数を占め、「女性」(44.1%)より多くなっている。
- ・精神障害者等では、「男性」が53.3%と過半数を占め、「女性」(45.8%)より多くなっている。

◇年齢（問2）

問：あなたの年齢は、何歳ですか。

	全体	20歳未満	20～30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～70歳未満	70～80歳未満	80歳以上	無回答	平均値(歳)
合計	545	33	30	57	57	37	85	129	96	21	58.9
	100.0	6.1	5.5	10.5	10.5	6.8	15.6	23.7	17.6	3.9	
身体障害者	371	17	8	17	16	23	68	124	94	4	66.9
	100.0	4.6	2.2	4.6	4.3	6.2	18.3	33.4	25.3	1.1	
知的障害者	111	22	22	21	20	4	9	9	4	0	38.1
	100.0	19.8	19.8	18.9	18.0	3.6	8.1	8.1	3.6	0.0	
精神障害者等	107	0	6	28	26	16	15	9	5	2	49.1
	100.0	0.0	5.6	26.2	24.3	15.0	14.0	8.4	4.7	1.9	

20歳未満
 20～30歳未満
 30～40歳未満
 40～50歳未満
 50～60歳未満
 60～70歳未満
 70～80歳未満
 80歳以上
 無回答

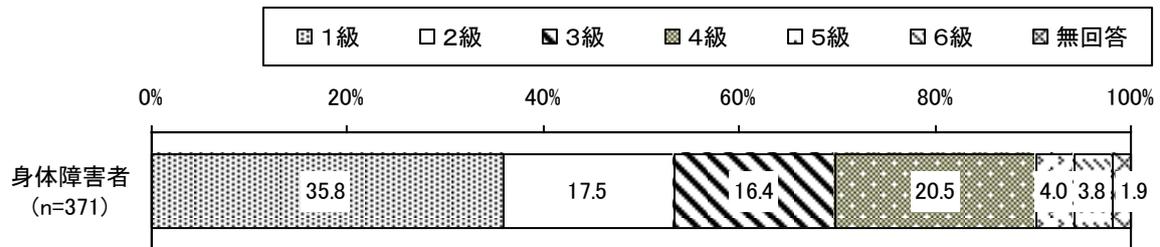


- ・ 全体では「70～80歳未満」が23.7%と、最も多くなっている。
- ・ 身体障害者では、「70～80歳未満」が33.4%と、最も多くなっている。
- ・ 知的障害者では、「20歳未満」と「20～30歳未満」がともに19.8%と、最も多くなっている。
- ・ 精神障害者等では、「30～40歳未満」が26.2%と、最も多くなっている。
- ・ 平均年齢は、身体障害者が66.9歳、知的障害者が38.1歳、精神障害者等が49.1歳で、全体では58.9歳となっている。

◇身体障害者手帳の等級（問3）

問：あなたがお持ちの障害者手帳は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○印をつけてください。）（1）手帳の等級は、総合等級では何級ですか

	全体	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
身体障害者	371	133	65	61	76	15	14	7
	100.0	35.8	17.5	16.4	20.5	4.0	3.8	1.9



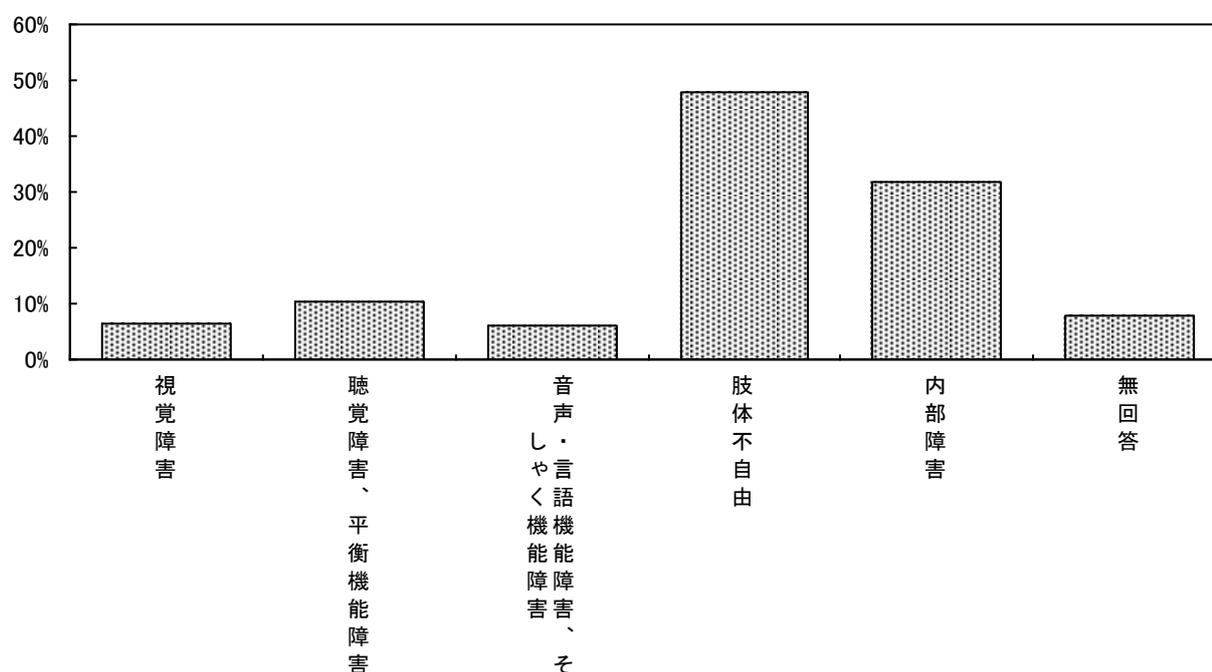
・「1級」が35.8%で最も多く、「2級」も合わせると53.8%と、過半数が“重度”となっている。

◇身体障害の種別（問3）

問：あなたがお持ちの障害者手帳は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○印をつけてください。）（2）どのような障害ですか（該当するものすべてに○印をつけてください）

	全体	視覚障害	聴覚障害、平衡機能障害	音声・言語機能障害、そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	無回答
身体障害者	371	24	39	23	178	118	29
	100.0	6.5	10.5	6.2	48.0	31.8	7.8

身体障害者 (n=371)

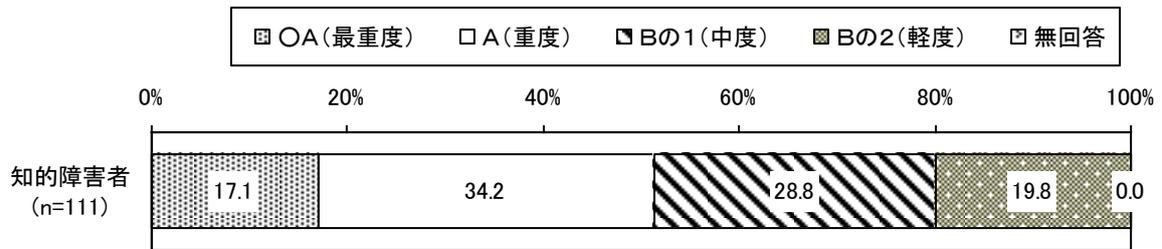


・「肢体不自由」(48.0%) が半数弱を占めて最も多く、次いで「内部障害」(31.8%) が多くなっている。

◇療育手帳の判定（問3）

問：あなたがお持ちの障害者手帳は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○印をつけてください。）（1）療育手帳の判定は、次のどれですか

	全体	OA(最 重度)	A(重 度)	Bの1 (中度)	Bの2 (軽度)	無回答
知的障害者	111	19	38	32	22	0
	100.0	17.1	34.2	28.8	19.8	0.0

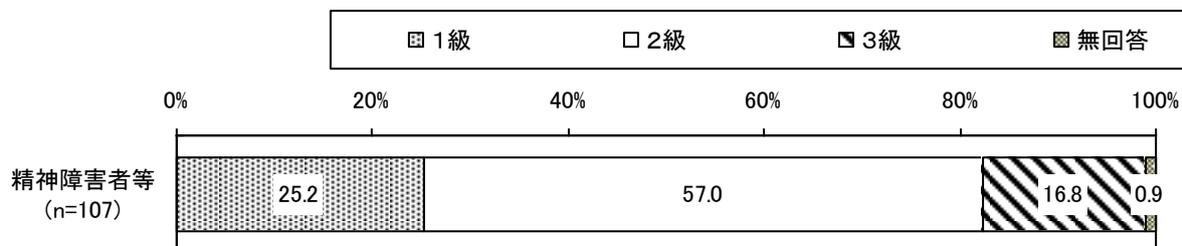


- ・知的障害者で、「A（重度）」が34.2%と最も多くなっている。次いで「Bの1」（中度）が多くなっている。

◇精神障害者保健福祉手帳の等級（問3）

問：あなたがお持ちの障害者手帳は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○印をつけてください。）（1）手帳の等級は、何級ですか

	全体	1級	2級	3級	無回答
精神障害者等	107	27	61	18	1
	100.0	25.2	57.0	16.8	0.9

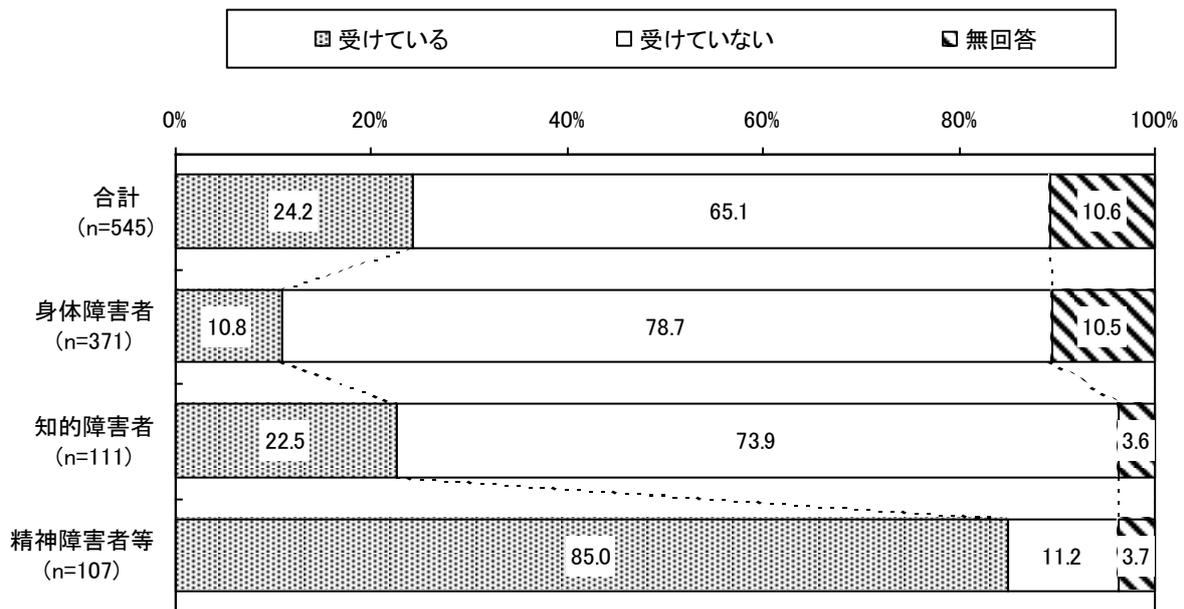


・「精神障害者等」で、「2級」が57.0%と6割近くを占め、最も多くなっている。

◇自立支援医療（精神通院）の受給状況（問4）

問：あなたは、自立支援医療（精神通院）を受給していますか。

	全体	受けて いる	受けて いない	無回答
合計	545	132	355	58
	100.0	24.2	65.1	10.6
身体障害者	371	40	292	39
	100.0	10.8	78.7	10.5
知的障害者	111	25	82	4
	100.0	22.5	73.9	3.6
精神障害者等	107	91	12	4
	100.0	85.0	11.2	3.7

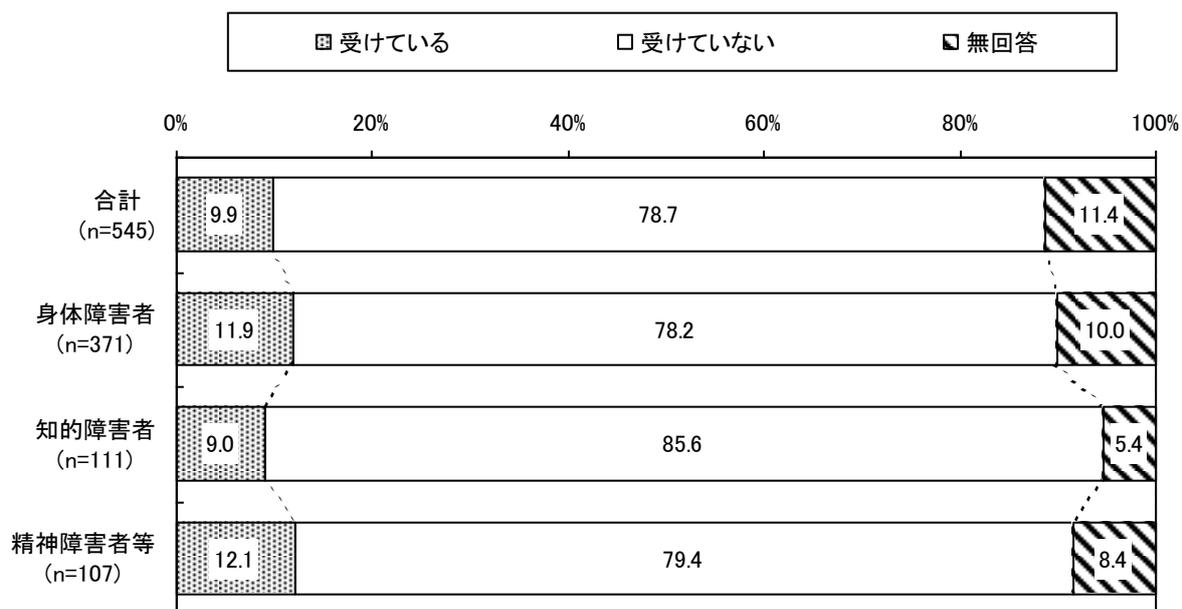


- ・全体では「受けていない」が65.1%で、多くなっている。
- ・精神障害者等では「受けている」が85.0%となっており、圧倒的に多い。
(・身体障害者では「受けている」が10.8%となっている。
- ・知的障害者では「受けている」が22.5%となっている。)

◇難病の認定（特定疾患医療受給者票）の状況（問5）

問：あなたは、難病の認定（特定疾患医療受給者票）を受けていますか。

	全体	受けて いる	受けて いない	無回答
合計	545	54	429	62
	100.0	9.9	78.7	11.4
身体障害者	371	44	290	37
	100.0	11.9	78.2	10.0
知的障害者	111	10	95	6
	100.0	9.0	85.6	5.4
精神障害者等	107	13	85	9
	100.0	12.1	79.4	8.4

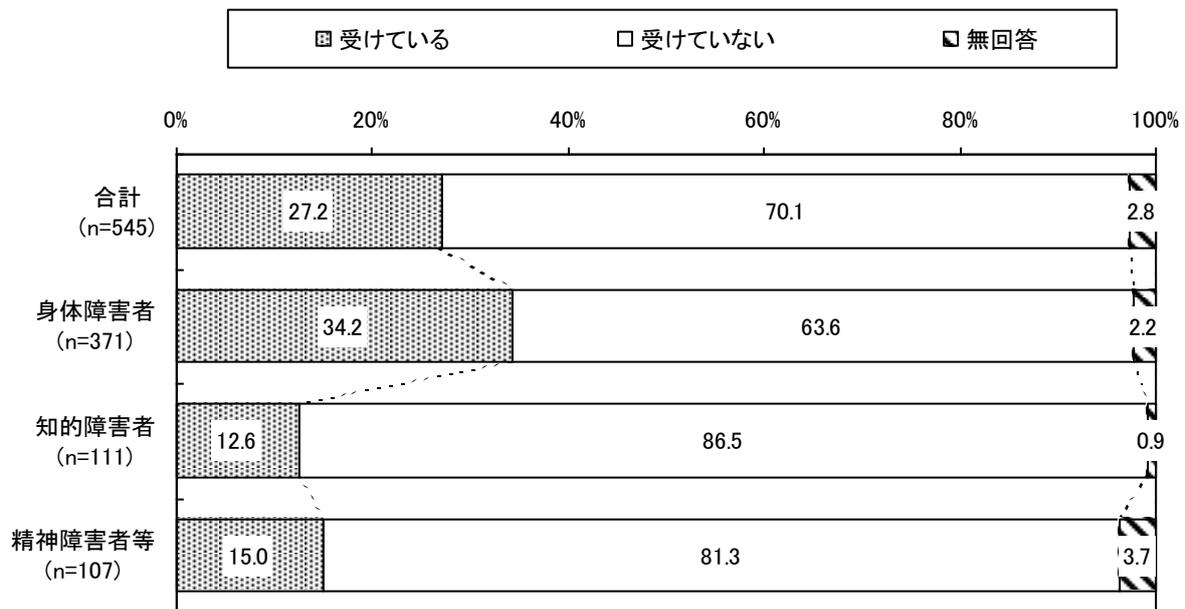


- ・全体では「受けていない」が78.7%と多く、「受けている」(9.9%) はほぼ1割となっている。
(・身体障害者では「受けている」は11.9%となっている。
- ・知的障害者では「受けている」は9.0%となっている。
- ・精神障害者等では「受けている」は12.1%となっている。)

◇介護保険法の要介護認定（問6）

問：あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。

	全体	受けて いる	受けて いない	無回答
合計	545	148	382	15
	100.0	27.2	70.1	2.8
身体障害者	371	127	236	8
	100.0	34.2	63.6	2.2
知的障害者	111	14	96	1
	100.0	12.6	86.5	0.9
精神障害者等	107	16	87	4
	100.0	15.0	81.3	3.7

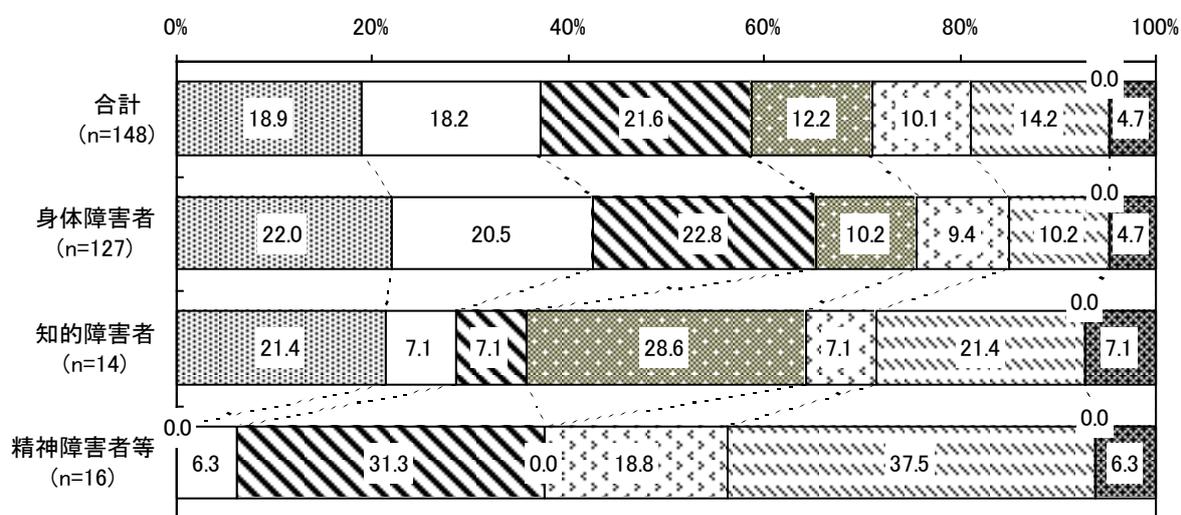
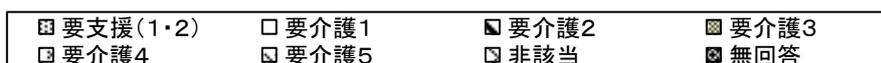


- ・全体では「受けていない」が70.1%と多く、「受けている」は27.2%となっている。
- ・身体障害者では、「受けている」が34.2%となっている。
- ・知的障害者では、「受けている」が12.6%となっている。
- ・精神障害者等では、「受けている」が15%となっている。

◇要介護度（問7）

問：問6で「1.受けている」と回答した方にお聞きします。あなたの要介護度はいくつですか。

	全体	要支援 (1・2)	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	非該当	無回答
合計	148	28	27	32	18	15	21	0	7
	100.0	18.9	18.2	21.6	12.2	10.1	14.2	0.0	4.7
身体障害者	127	28	26	29	13	12	13	0	6
	100.0	22.0	20.5	22.8	10.2	9.4	10.2	0.0	4.7
知的障害者	14	3	1	1	4	1	3	0	1
	100.0	21.4	7.1	7.1	28.6	7.1	21.4	0.0	7.1
精神障害者等	16	0	1	5	0	3	6	0	1
	100.0	0.0	6.3	31.3	0.0	18.8	37.5	0.0	6.3

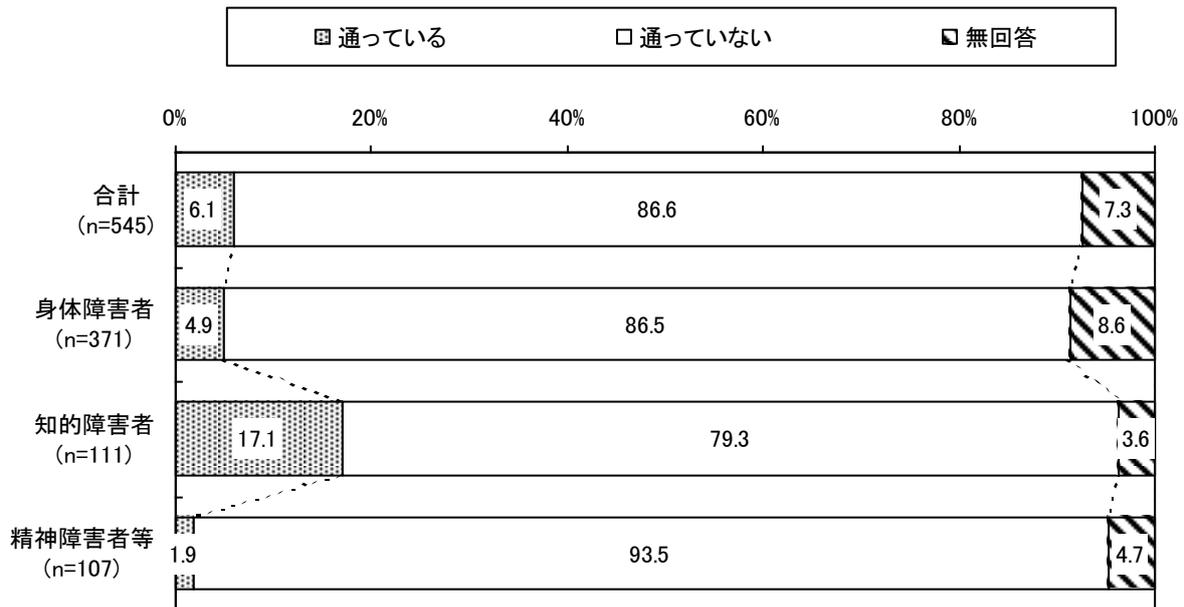


- ・ 全体では「要介護2」が21.6%で、最も多くなっている。
- ・ 身体障害者では「要介護2」が22.8%となっており、最も多い。
- ・ 知的障害者では「要介護3」が28.6%となっており、最も多い。
- ・ 精神障害者等では「要介護5」が37.5%となっており、最も多い。

◇通学の状況（問8）

問：あなたは現在、学校へ通っていますか。

	全体	通っている	通っていない	無回答
合計	545	33	472	40
	100.0	6.1	86.6	7.3
身体障害者	371	18	321	32
	100.0	4.9	86.5	8.6
知的障害者	111	19	88	4
	100.0	17.1	79.3	3.6
精神障害者等	107	2	100	5
	100.0	1.9	93.5	4.7

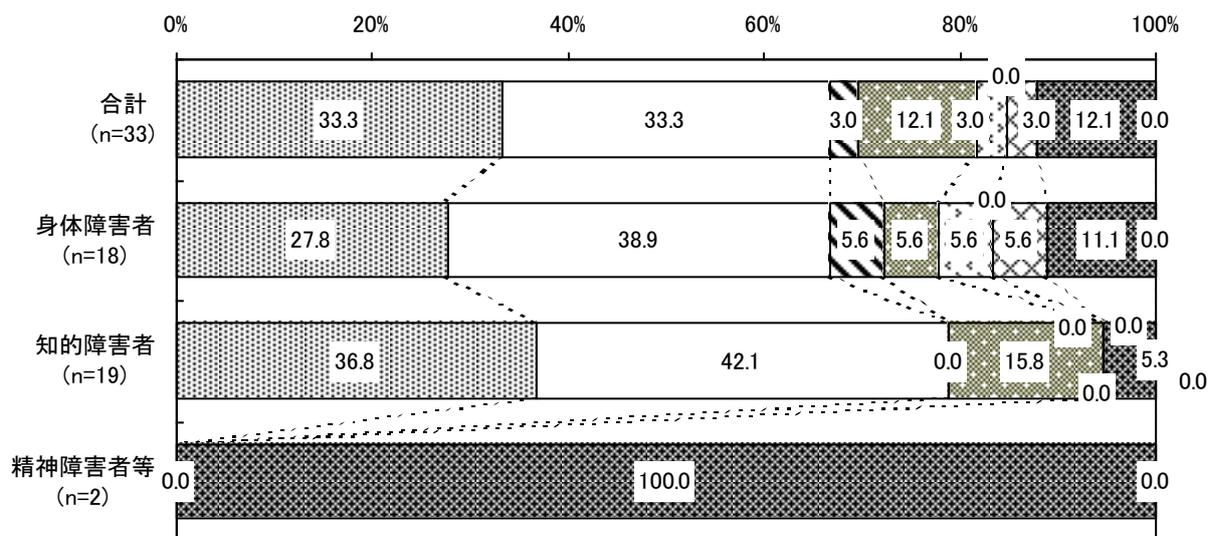
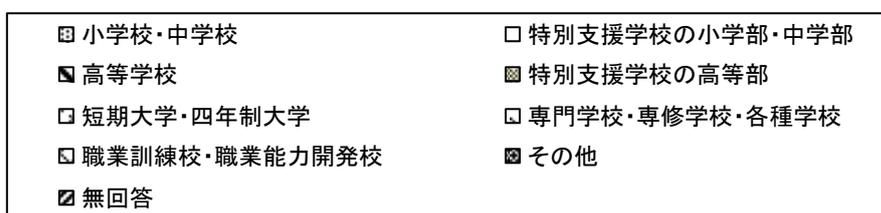


- ・全体では「通っていない」が86.6%と多く、「通っている」は6.1%となっている。
- ・身体障害者では「通っていない」が86.5%と多くなっている。
- ・知的障害者では「通っていない」が79.3%と多くなっている。
- ・精神障害者等では「通っていない」が93.5%と圧倒的に多くなっている。

◇通っている学校（問9）

問：問8で「1.通っている」と回答した方にお聞きします。どのような学校へ通っていますか。

	全体	小学校・中学校	特別支援学校の小学部・中学部	高等学校	特別支援学校の高等部	短期大学・四年制大学	専門学校・専修学校・各種学校	職業訓練校・職業能力開発校	その他	無回答
合計	33	11	11	1	4	1	0	1	4	0
	100.0	33.3	33.3	3.0	12.1	3.0	0.0	3.0	12.1	0.0
身体障害者	18	5	7	1	1	1	0	1	2	0
	100.0	27.8	38.9	5.6	5.6	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0
知的障害者	19	7	8	0	3	0	0	0	1	0
	100.0	36.8	42.1	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
精神障害者等	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

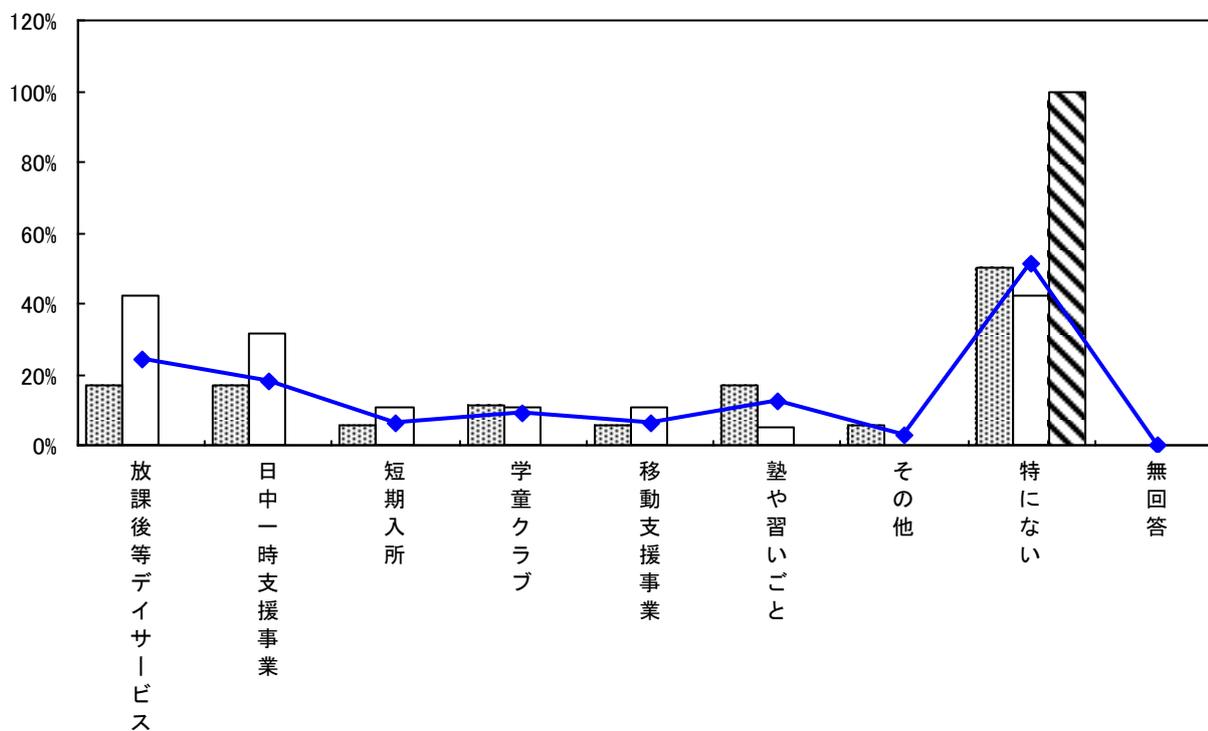
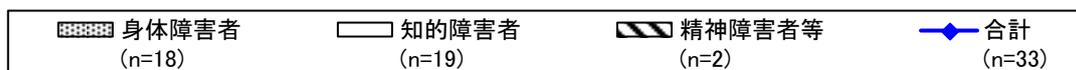


- ・全体では、「小学校・中学校」と「特別支援学校の小学部・中学部」（ともに 33.3%）が多くなっている。
- ・身体障害者では「特別支援学校の小学部・中学部」が 38.9%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「特別支援学校の小学部・中学部」が 42.1%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「その他」が 100.0%となっている。

◇放課後や休日に利用しているもの（問 10）

問：あなたが放課後や休みの日に利用しているものはありますか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	放課後等デイサービス	日中一時支援事業	短期入所	学童クラブ	移動支援事業	塾や習いごと	その他	特にない	無回答
合計	33	8	6	2	3	2	4	1	17	0
	100.0	24.2	18.2	6.1	9.1	6.1	12.1	3.0	51.5	0.0
身体障害者	18	3	3	1	2	1	3	1	9	0
	100.0	16.7	16.7	5.6	11.1	5.6	16.7	5.6	50.0	0.0
知的障害者	19	8	6	2	2	2	1	0	8	0
	100.0	42.1	31.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	42.1	0.0
精神障害者等	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

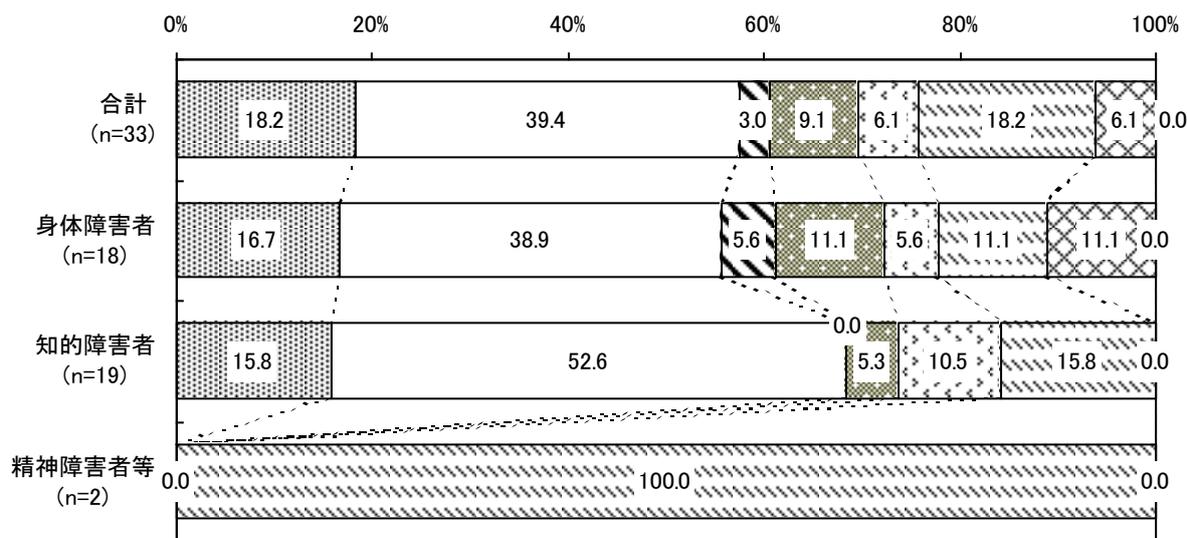
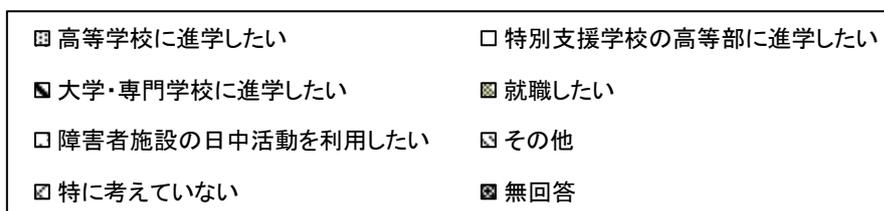


- ・全体では、「特にない」が51.5%と過半数に達し、最も多くなっている。
- ・身体障害者では「特にない」が50.0%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「放課後等デイサービス」、「特にない」（ともに42.1%）が最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「特にない」が100.0%となっている。

◇卒業後の進路の希望（問 11）

問：現在の学校を卒業した後の進路について、希望を教えてください。

	全体	高等学校に進学したい	特別支援学校の高等部に進学したい	大学・専門学校に進学したい	就職したい	障害者施設の 日中活動を利用したい	その他	特に考えていない	無回答
合計	33 100.0	6 18.2	13 39.4	1 3.0	3 9.1	2 6.1	6 18.2	2 6.1	0 0.0
身体障害者	18 100.0	3 16.7	7 38.9	1 5.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	2 11.1	0 0.0
知的障害者	19 100.0	3 15.8	10 52.6	0 0.0	1 5.3	2 10.5	3 15.8	0 0.0	0 0.0
精神障害者等	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0



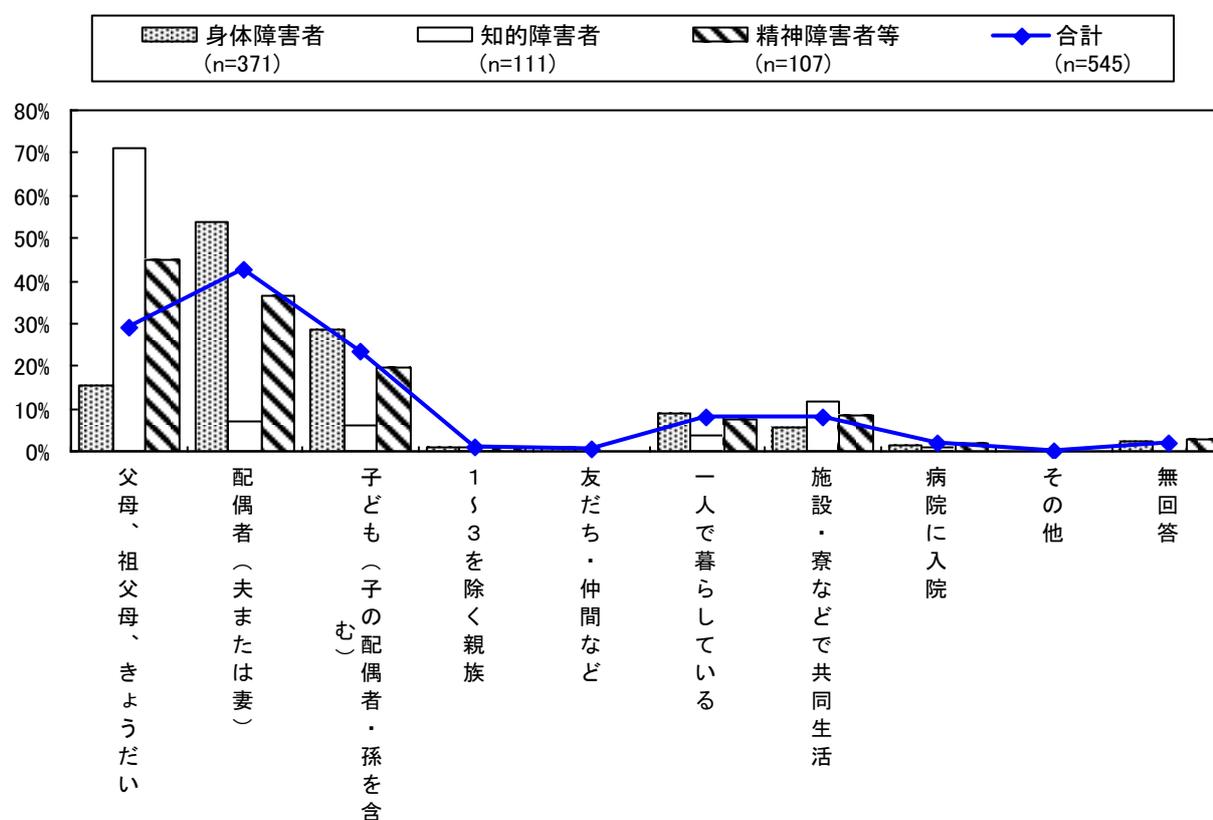
- ・全体では、「特別支援学校の高等部に進学したい」が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「特別支援学校の高等部に進学したい」が最も多くなっている。
- ・知的障害者では「特別支援学校の高等部に進学したい」が過半数を占め最も多くなっている。
- ・精神障害者等では2人とも「その他」と回答している。

【2 生活支援】

◇一緒に暮らしているひと（問12）

問：あなたと一緒に暮らしているひとは、どなたですか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	父母、祖父母、きょうだい	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	1～3を除く親族	友だち・仲間など	一人で暮らしている	施設・寮などで共同生活	病院に入院	その他	無回答
合計	545	157	232	128	5	3	44	44	9	0	11
	100.0	28.8	42.6	23.5	0.9	0.6	8.1	8.1	1.7	0.0	2.0
身体障害者	371	57	199	106	4	3	33	21	6	0	9
	100.0	15.4	53.6	28.6	1.1	0.8	8.9	5.7	1.6	0.0	2.4
知的障害者	111	79	8	7	1	0	4	13	1	0	0
	100.0	71.2	7.2	6.3	0.9	0.0	3.6	11.7	0.9	0.0	0.0
精神障害者等	107	48	39	21	1	0	8	9	2	0	3
	100.0	44.9	36.4	19.6	0.9	0.0	7.5	8.4	1.9	0.0	2.8



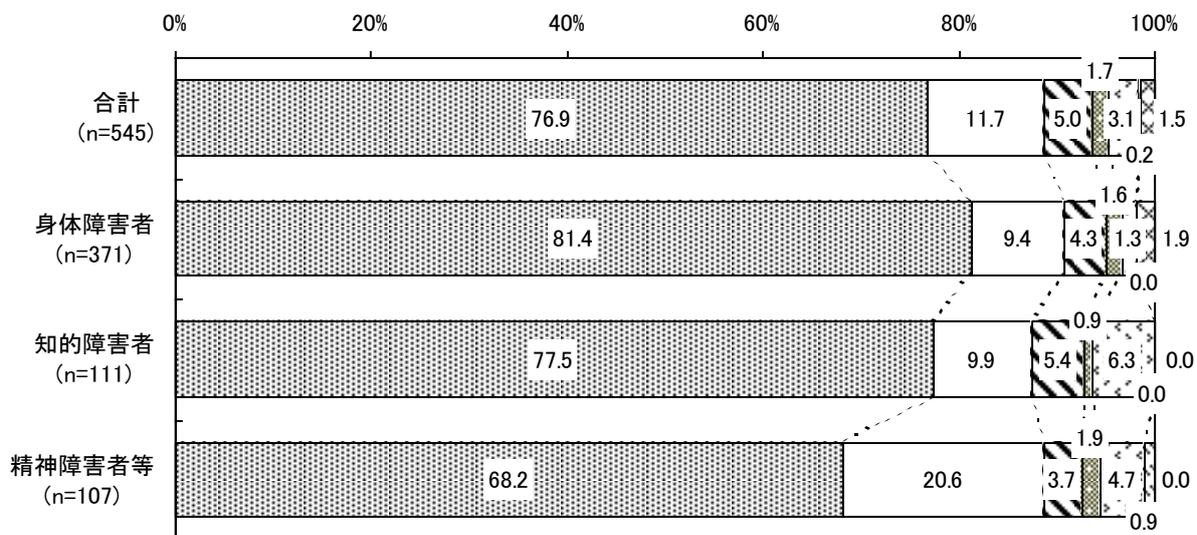
- ・全体では、「配偶者（夫または妻）」が42.6%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「配偶者（夫または妻）」が53.6%と過半数で最も多くなっている。
- ・知的障害者では「父母、祖父母、きょうだい」（71.2%）が7割強で最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「父母、祖父母、きょうだい」が44.9%と最も多くなっている。

◇暮らしているところ（問 13）

問：あなたは、どこで暮らしていますか。

	全体	持ち家 (家族・ 親戚の 持ち家 も含む)	賃貸住 宅・寮な ど(グル ープホ ームな ど以外)	入所施 設	病院(1 年以上 の長期 入院)	グル ープホ ーム・ ケア ホーム	その他	無回答
合計	545	419	64	27	9	17	1	8
	100.0	76.9	11.7	5.0	1.7	3.1	0.2	1.5
身体障害者	371	302	35	16	6	5	0	7
	100.0	81.4	9.4	4.3	1.6	1.3	0.0	1.9
知的障害者	111	86	11	6	1	7	0	0
	100.0	77.5	9.9	5.4	0.9	6.3	0.0	0.0
精神障害者等	107	73	22	4	2	5	1	0
	100.0	68.2	20.6	3.7	1.9	4.7	0.9	0.0

持ち家(家族・親戚の持ち家も含む)
 賃貸住宅・寮など(グループホームなど以外)
 入所施設
 病院(1年以上の長期入院)
 グループホーム・ケアホーム
 その他
 無回答

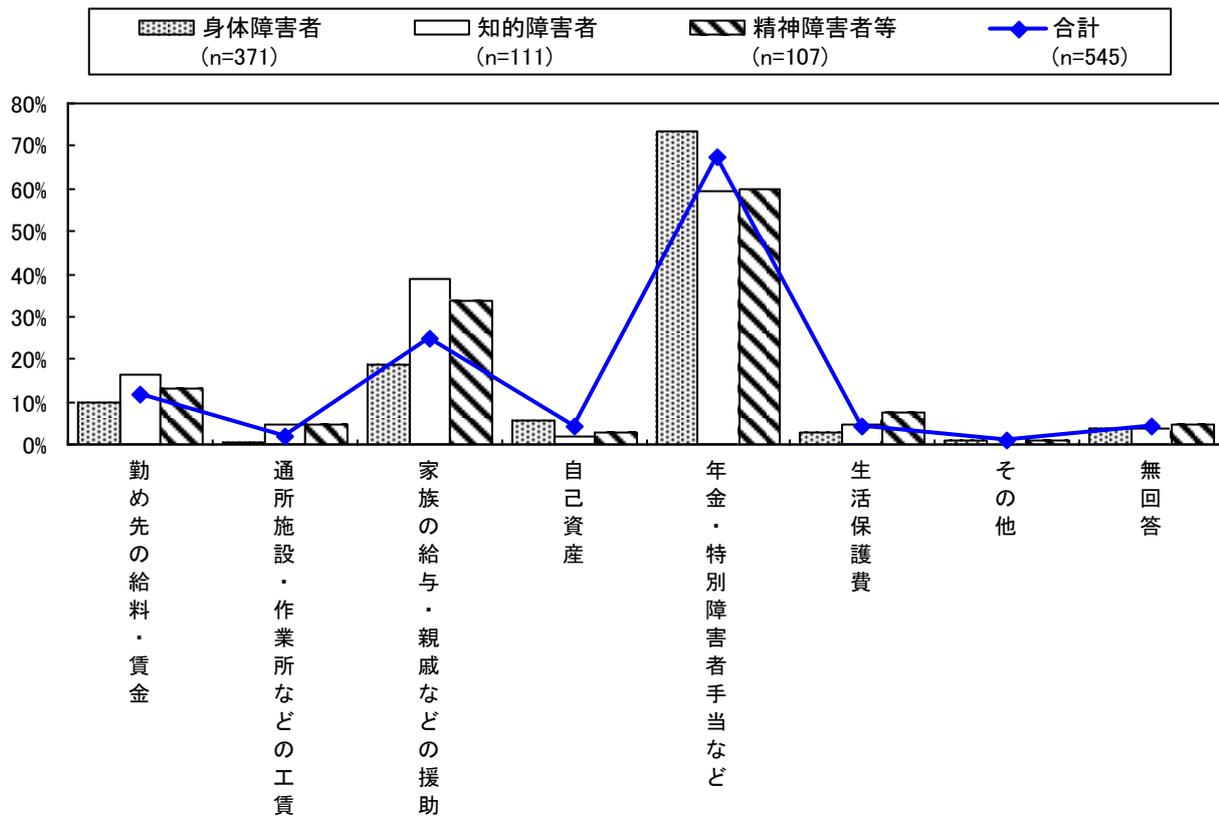


・全体では、「持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）」が76.9%と最も多くなっている。
 ・身体障害者、知的障害者、精神障害者等でも「持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）」（順に81.4%、77.5%、68.2%）がそれぞれ最も多くなっている。

◇生活を支える収入（問 14）

問：あなたの生活を支えている収入は何ですか。

	全体	勤め先の給料・賃金	通所施設・作業所などの工賃	家族の給与・親戚などの援助	自己資産	年金・特別障害者手当など	生活保護費	その他	無回答
合計	545	63	10	134	23	367	22	5	24
	100.0	11.6	1.8	24.6	4.2	67.3	4.0	0.9	4.4
身体障害者	371	36	1	70	20	272	10	4	14
	100.0	9.7	0.3	18.9	5.4	73.3	2.7	1.1	3.8
知的障害者	111	18	5	43	2	66	5	0	4
	100.0	16.2	4.5	38.7	1.8	59.5	4.5	0.0	3.6
精神障害者等	107	14	5	36	3	64	8	1	5
	100.0	13.1	4.7	33.6	2.8	59.8	7.5	0.9	4.7



- ・全体では、「年金・特別障害者手当など」が 67.3%と最も多くなっている。
- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者等でも「年金・特別障害者手当など」（順に 73.3%、59.5%、59.8%）がそれぞれ最も多くなっている。

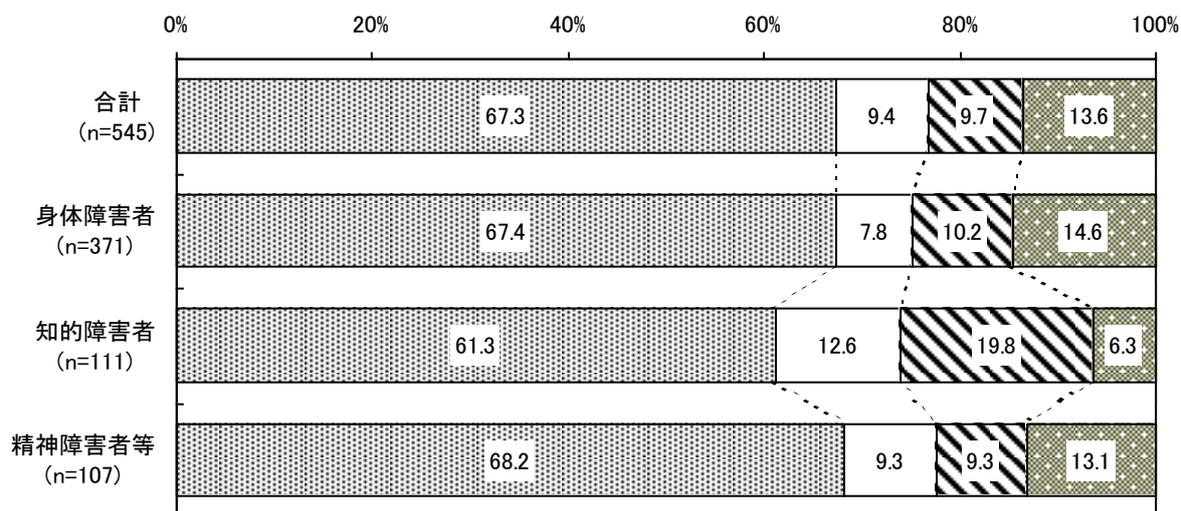
◇必要な手助け（問 15）

問：あなたは、どんなとき、どなたの手助けが必要ですか。（1）手助けが必要と思うのは、どのようなときですか。（①～⑩、それぞれ1つに○印をつけてください）

<①食事をするとき>

	全体	自分で できる	ときどき 介助が 必要	つねに 介助が 必要	無回答
合計	545	367	51	53	74
	100.0	67.3	9.4	9.7	13.6
身体障害者	371	250	29	38	54
	100.0	67.4	7.8	10.2	14.6
知的障害者	111	68	14	22	7
	100.0	61.3	12.6	19.8	6.3
精神障害者等	107	73	10	10	14
	100.0	68.2	9.3	9.3	13.1

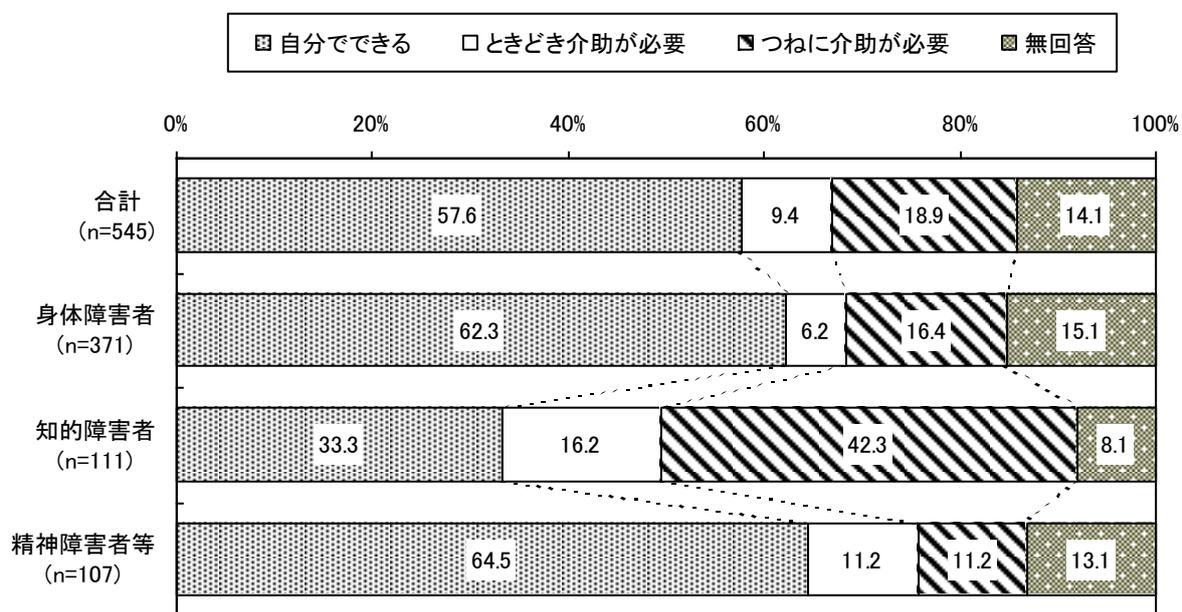
■ 自分でできる □ ときどき介助が必要 ▨ つねに介助が必要 ▩ 無回答



- ・全体では、「自分でできる」が67.3%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「自分でできる」が67.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「自分でできる」が61.3%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「自分でできる」が68.2%と最も多くなっている。

<②薬を飲んだり保管するとき>

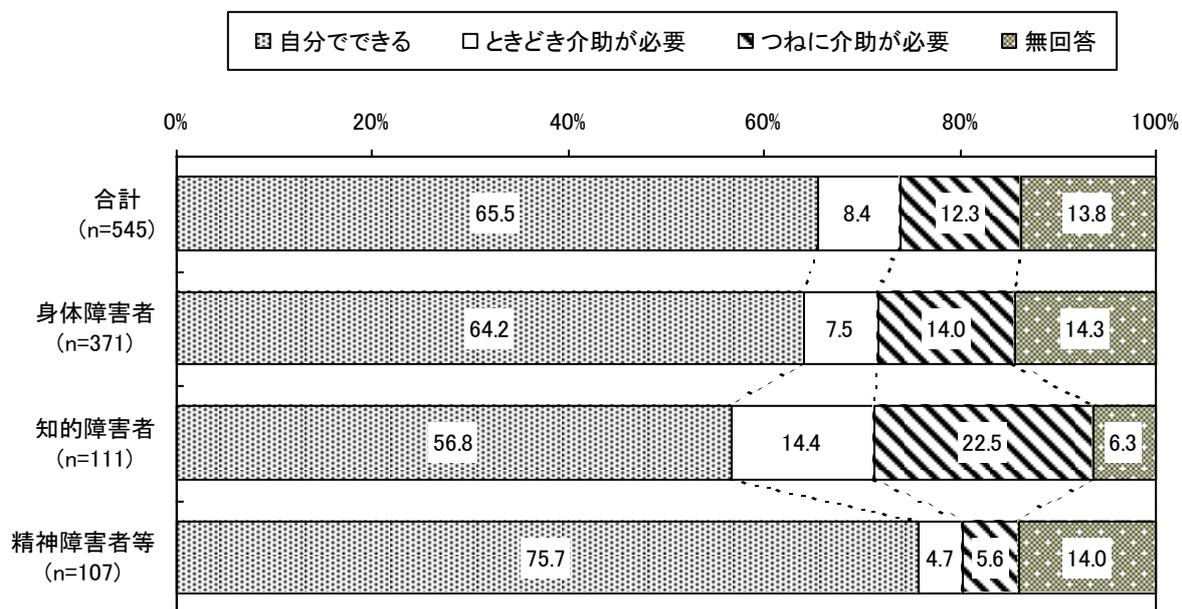
	全体	自分で できる	ときどき 介助が 必要	つねに 介助が 必要	無回答
合計	545	314	51	103	77
	100.0	57.6	9.4	18.9	14.1
身体障害者	371	231	23	61	56
	100.0	62.3	6.2	16.4	15.1
知的障害者	111	37	18	47	9
	100.0	33.3	16.2	42.3	8.1
精神障害者等	107	69	12	12	14
	100.0	64.5	11.2	11.2	13.1



- 全体では、「自分でできる」が 57.6%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 62.3%と最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が 42.3%と最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が 64.5%と最も多くなっている。

<③トイレを利用するとき>

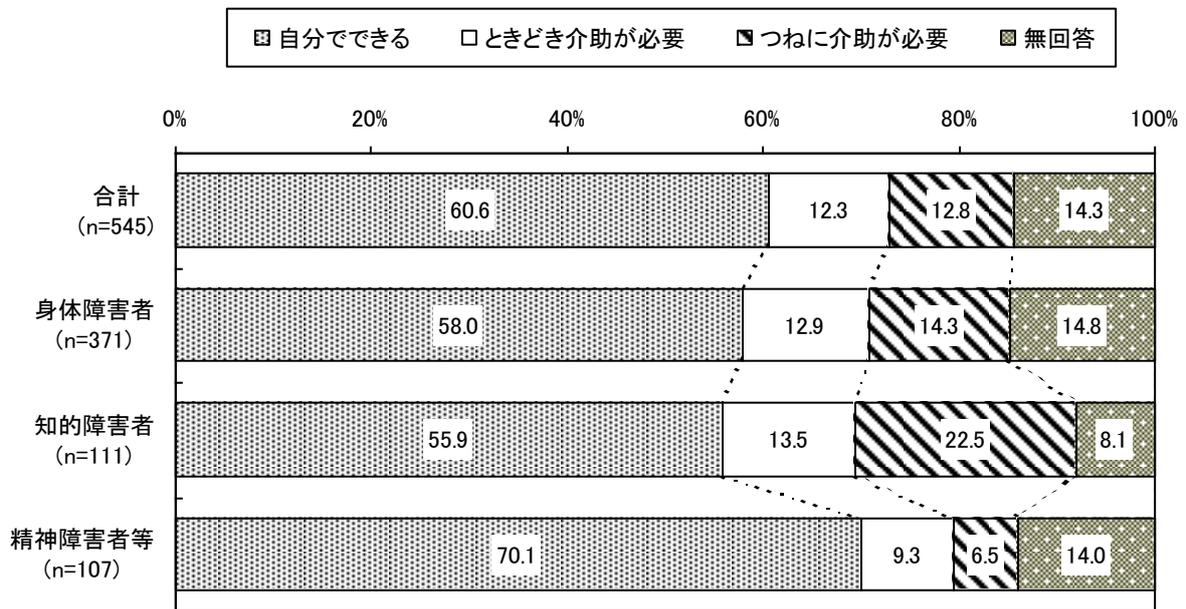
	全体	自分で できる	ときどき 介助が 必要	つねに 介助が 必要	無回答
合計	545	357	46	67	75
	100.0	65.5	8.4	12.3	13.8
身体障害者	371	238	28	52	53
	100.0	64.2	7.5	14.0	14.3
知的障害者	111	63	16	25	7
	100.0	56.8	14.4	22.5	6.3
精神障害者等	107	81	5	6	15
	100.0	75.7	4.7	5.6	14.0



- 全体では、「自分でできる」が 65.5%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 64.2%と最も多くなっている。
- 知的障害者でも「自分でできる」が 56.8%と最も多くなっている。
- 精神障害者等でも「自分でできる」が 75.7%と最も多くなっている。

<④着替えをするとき>

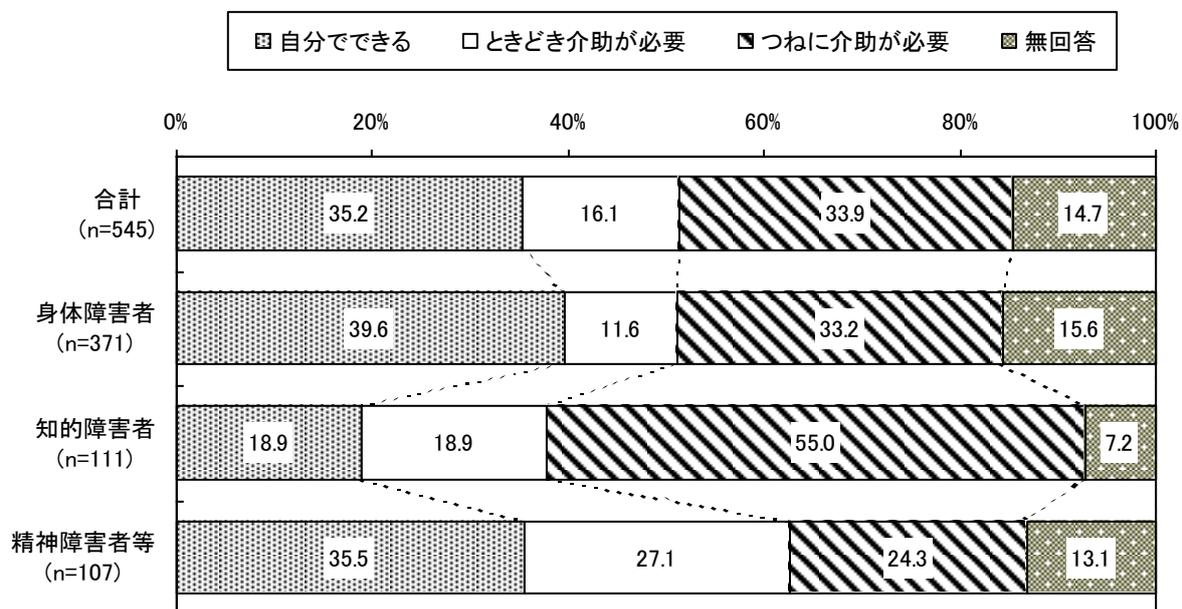
	全体	自分で できる	ときどき 介助が 必要	つねに 介助が 必要	無回答
合計	545	330	67	70	78
	100.0	60.6	12.3	12.8	14.3
身体障害者	371	215	48	53	55
	100.0	58.0	12.9	14.3	14.8
知的障害者	111	62	15	25	9
	100.0	55.9	13.5	22.5	8.1
精神障害者等	107	75	10	7	15
	100.0	70.1	9.3	6.5	14.0



- 全体では、「自分でできる」が 60.6%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 58.0%と最も多くなっている。
- 知的障害者でも「自分でできる」が 55.9%と最も多くなっている。
- 精神障害者等でも「自分でできる」が 70.1%と最も多くなっている。

<⑤料理・掃除・洗濯をするとき>

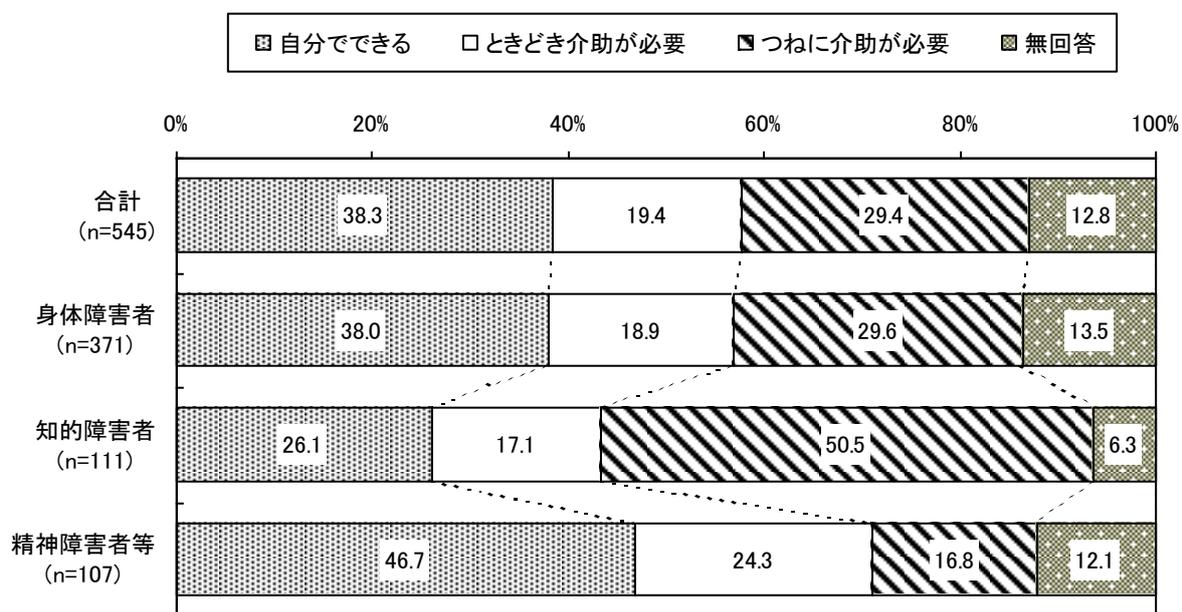
	全体	自分でできる	ときどき介助が必要	つねに介助が必要	無回答
合計	545	192	88	185	80
	100.0	35.2	16.1	33.9	14.7
身体障害者	371	147	43	123	58
	100.0	39.6	11.6	33.2	15.6
知的障害者	111	21	21	61	8
	100.0	18.9	18.9	55.0	7.2
精神障害者等	107	38	29	26	14
	100.0	35.5	27.1	24.3	13.1



- 全体では、「自分でできる」が 35.2%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 39.6%と最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が 55.0%と最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が 35.5%と最も多くなっている。

<⑥外出するとき>

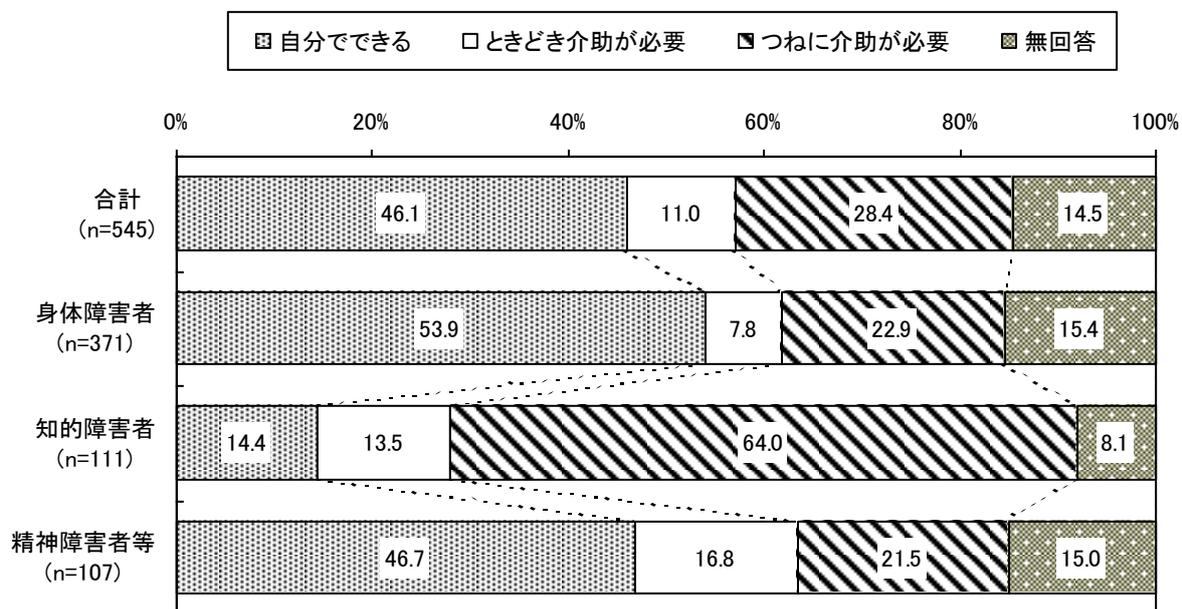
	全体	自分で できる	ときどき 介助が 必要	つねに 介助が 必要	無回答
合計	545	209	106	160	70
	100.0	38.3	19.4	29.4	12.8
身体障害者	371	141	70	110	50
	100.0	38.0	18.9	29.6	13.5
知的障害者	111	29	19	56	7
	100.0	26.1	17.1	50.5	6.3
精神障害者等	107	50	26	18	13
	100.0	46.7	24.3	16.8	12.1



- 全体では、「自分でできる」が 38.3% と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 38.0% と最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が 50.5% と過半数を占め、最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が 46.7% と最も多くなっている。

<⑦お金を管理するとき>

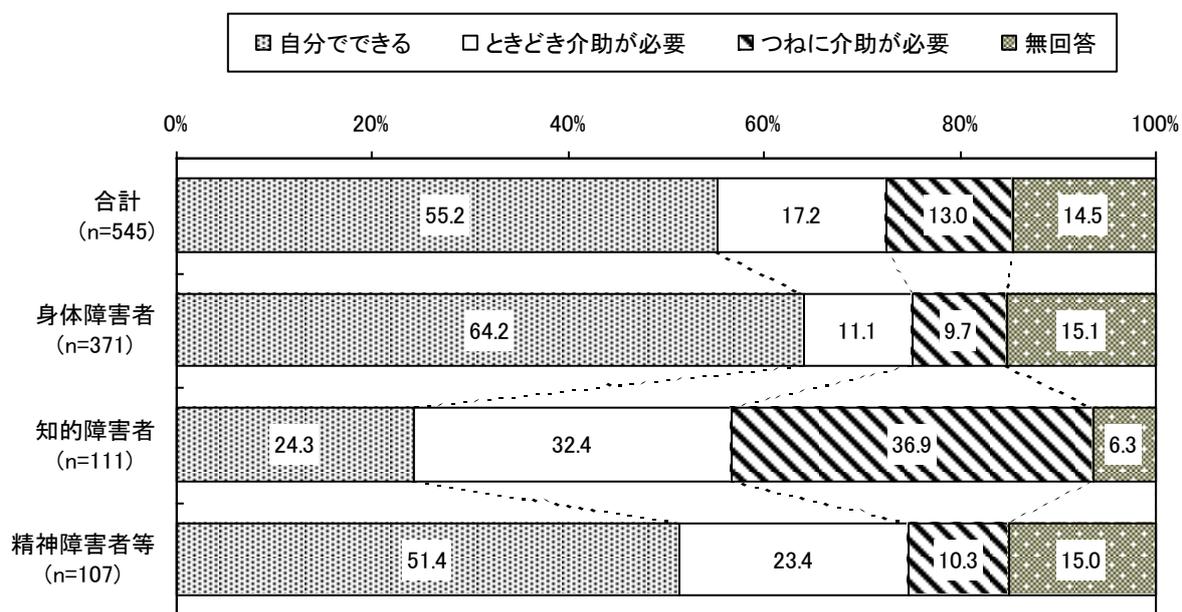
	全体	自分でできる	ときどき介助が必要	つねに介助が必要	無回答
合計	545	251	60	155	79
	100.0	46.1	11.0	28.4	14.5
身体障害者	371	200	29	85	57
	100.0	53.9	7.8	22.9	15.4
知的障害者	111	16	15	71	9
	100.0	14.4	13.5	64.0	8.1
精神障害者等	107	50	18	23	16
	100.0	46.7	16.8	21.5	15.0



- 全体では、「自分でできる」が46.1%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が53.9%と過半数を占め、最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が64.0%と最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が46.7%と最も多くなっている。

<⑧自分の考えを伝えたいとき>

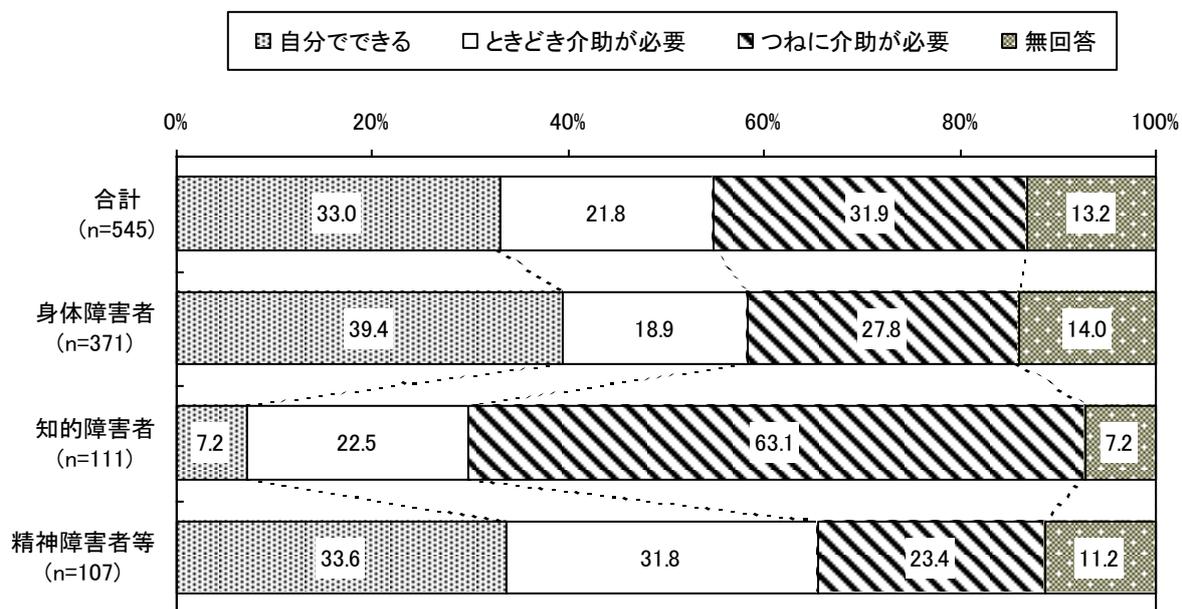
	全体	自分でできる	ときどき介助が必要	つねに介助が必要	無回答
合計	545	301	94	71	79
	100.0	55.2	17.2	13.0	14.5
身体障害者	371	238	41	36	56
	100.0	64.2	11.1	9.7	15.1
知的障害者	111	27	36	41	7
	100.0	24.3	32.4	36.9	6.3
精神障害者等	107	55	25	11	16
	100.0	51.4	23.4	10.3	15.0



- 全体では、「自分でできる」が55.2%と過半数を占め、最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が64.2%と最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が36.9%と最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が51.4%と最も多くなっている。

<⑨日常生活に必要な事務手続き>

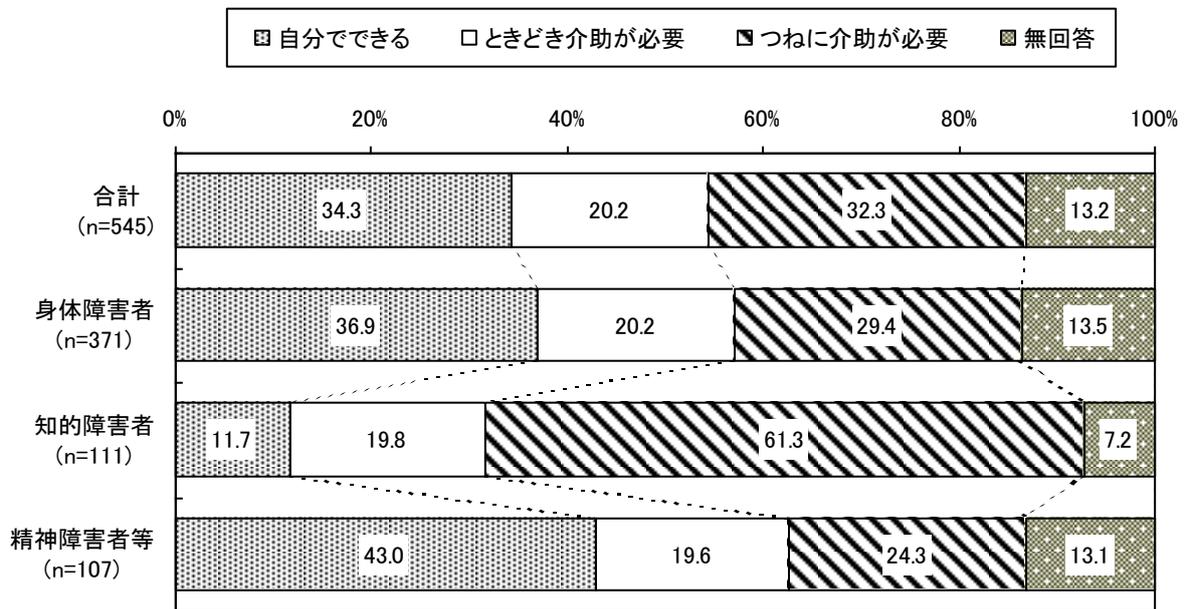
	全体	自分でできる	ときどき介助が必要	つねに介助が必要	無回答
合計	545	180	119	174	72
	100.0	33.0	21.8	31.9	13.2
身体障害者	371	146	70	103	52
	100.0	39.4	18.9	27.8	14.0
知的障害者	111	8	25	70	8
	100.0	7.2	22.5	63.1	7.2
精神障害者等	107	36	34	25	12
	100.0	33.6	31.8	23.4	11.2



- 全体では、「自分でできる」が 33.0%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 39.4%と最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が 63.1%と最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が 33.6%と最も多くなっている。

<⑩緊急時に避難・連絡したいとき>

	全体	自分で できる	ときどき 介助が 必要	つねに 介助が 必要	無回答
合計	545	187 100.0	110 20.2	176 32.3	72 13.2
身体障害者	371	137 100.0	75 20.2	109 29.4	50 13.5
知的障害者	111	13 100.0	22 19.8	68 61.3	8 7.2
精神障害者等	107	46 100.0	21 19.6	26 24.3	14 13.1

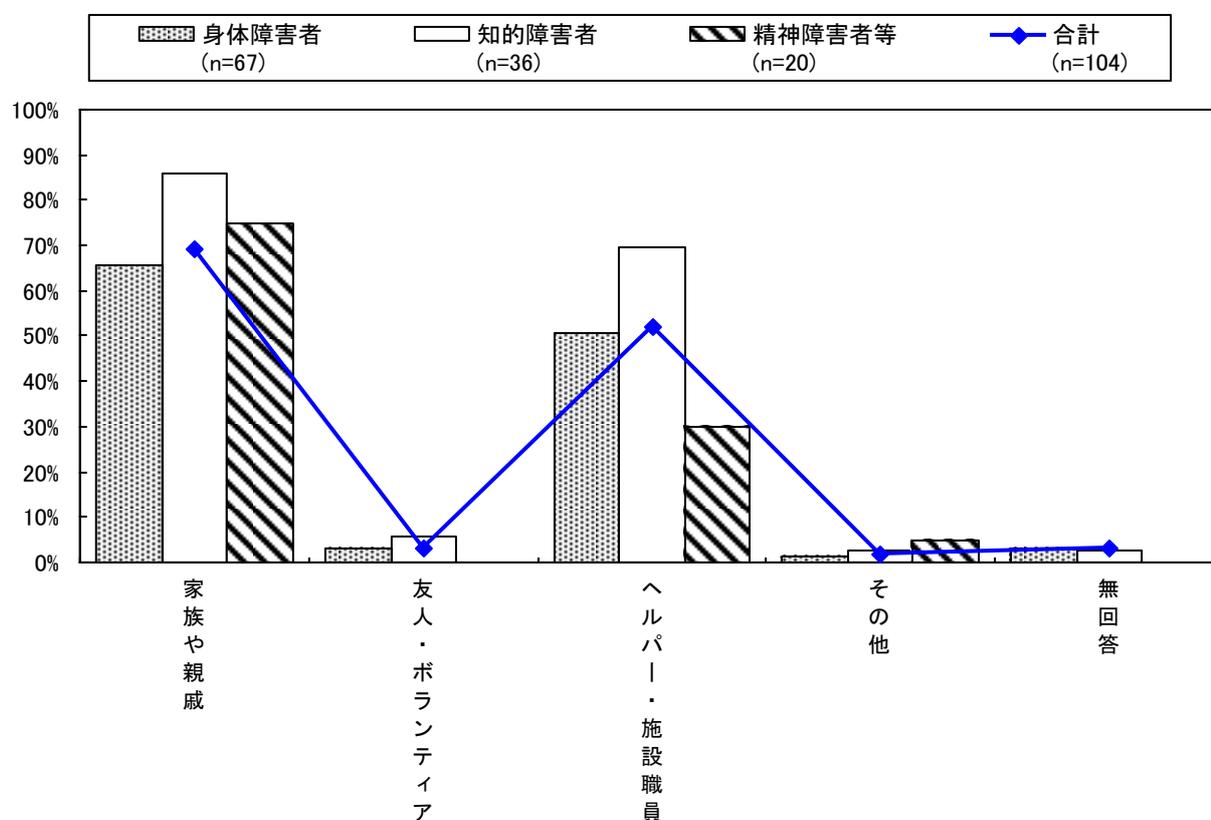


- 全体では、「自分でできる」が 34.3%と最も多くなっている。
- 身体障害者では「自分でできる」が 36.9%と最も多くなっている。
- 知的障害者では「つねに介助が必要」が 61.3%と最も多くなっている。
- 精神障害者等では「自分でできる」が 43.0%と最も多くなっている。

(2) (1)で「2」か「3」に○印をつけた方におききします。手助けをお願いするのはどなたですか。
(あてはまるものすべてに○印)

<①食事をするとき>

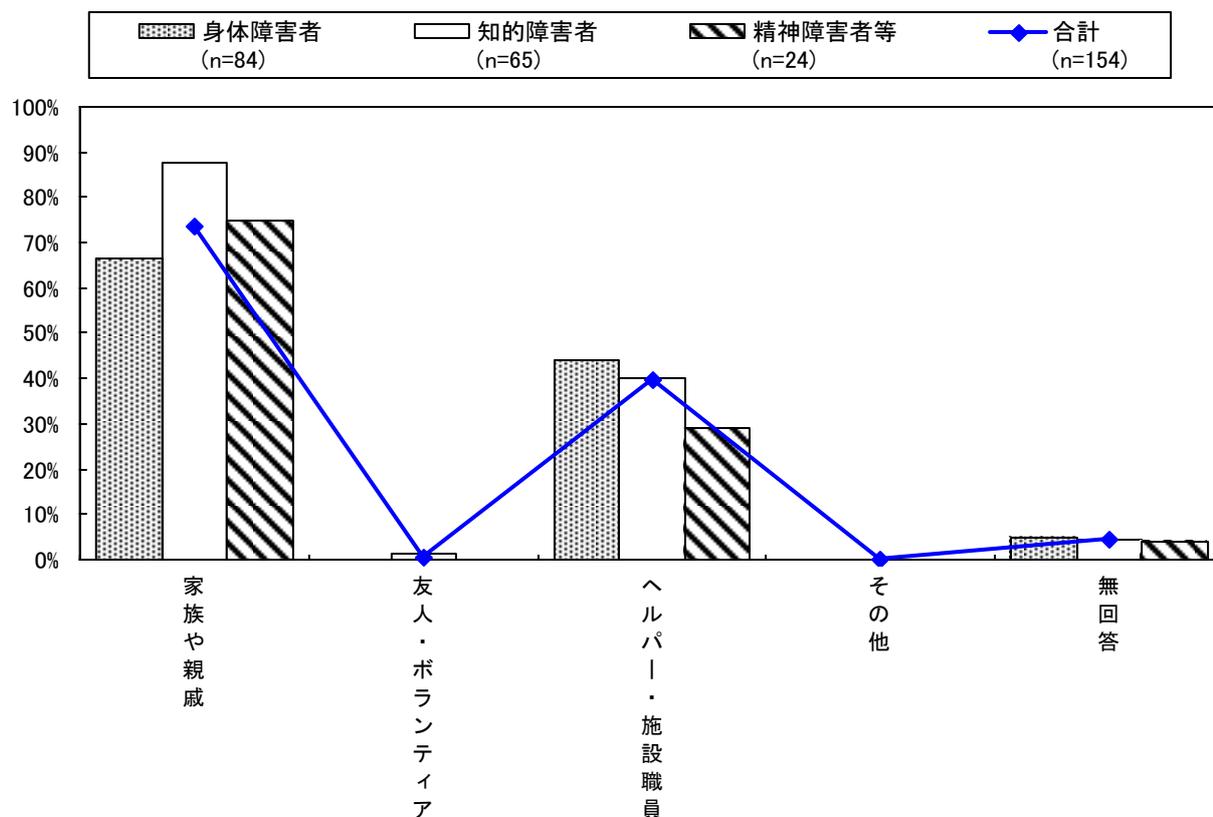
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	104	72	3	54	2	3
	100.0	69.2	2.9	51.9	1.9	2.9
身体障害者	67	44	2	34	1	2
	100.0	65.7	3.0	50.7	1.5	3.0
知的障害者	36	31	2	25	1	1
	100.0	86.1	5.6	69.4	2.8	2.8
精神障害者等	20	15	0	6	1	0
	100.0	75.0	0.0	30.0	5.0	0.0



- ・全体では、「家族や親戚」が69.2%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が65.7%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が86.1%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が75.0%と最も多くなっている。

<②薬を飲んだり保管するとき>

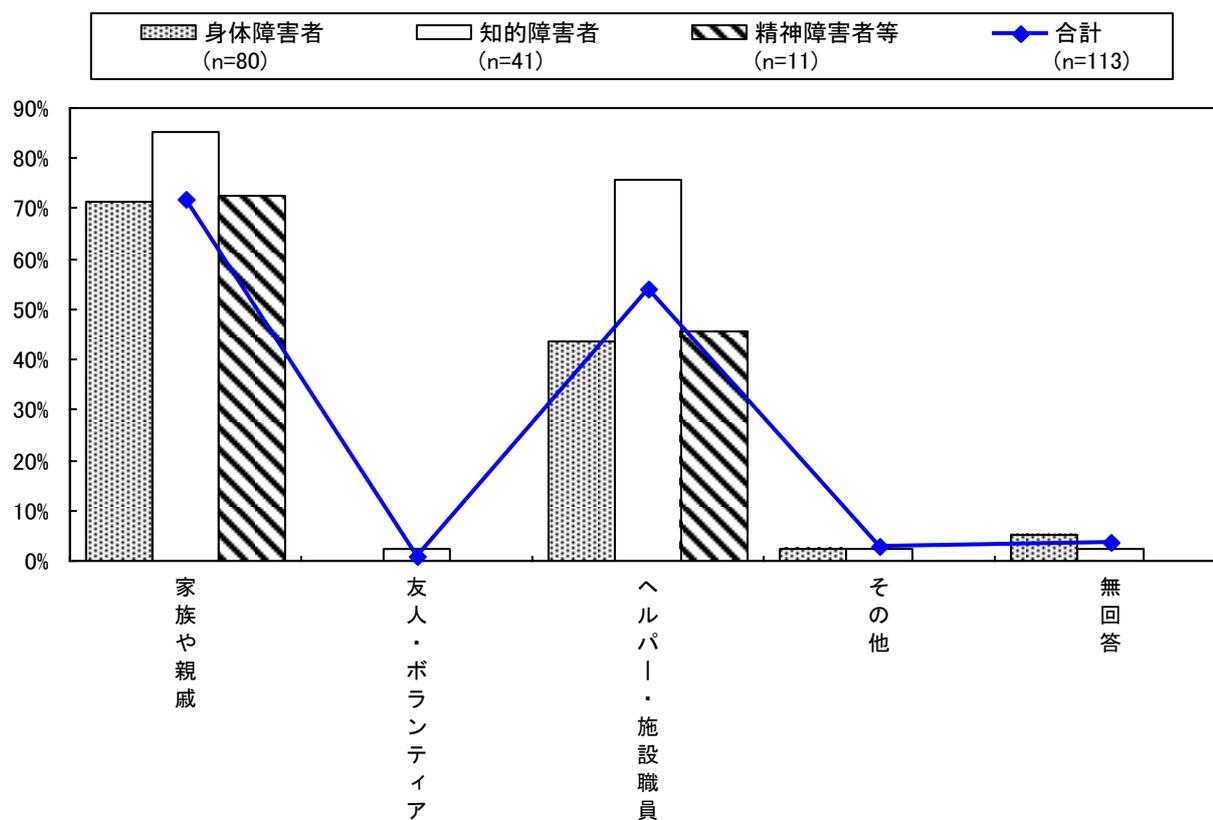
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	154	113	1	61	0	7
	100.0	73.4	0.6	39.6	0.0	4.5
身体障害者	84	56	0	37	0	4
	100.0	66.7	0.0	44.0	0.0	4.8
知的障害者	65	57	1	26	0	3
	100.0	87.7	1.5	40.0	0.0	4.6
精神障害者等	24	18	0	7	0	1
	100.0	75.0	0.0	29.2	0.0	4.2



- ・全体では、「家族や親戚」が73.4%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が66.7%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が87.7%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が75.0%と最も多くなっている。

<③トイレを利用するとき>

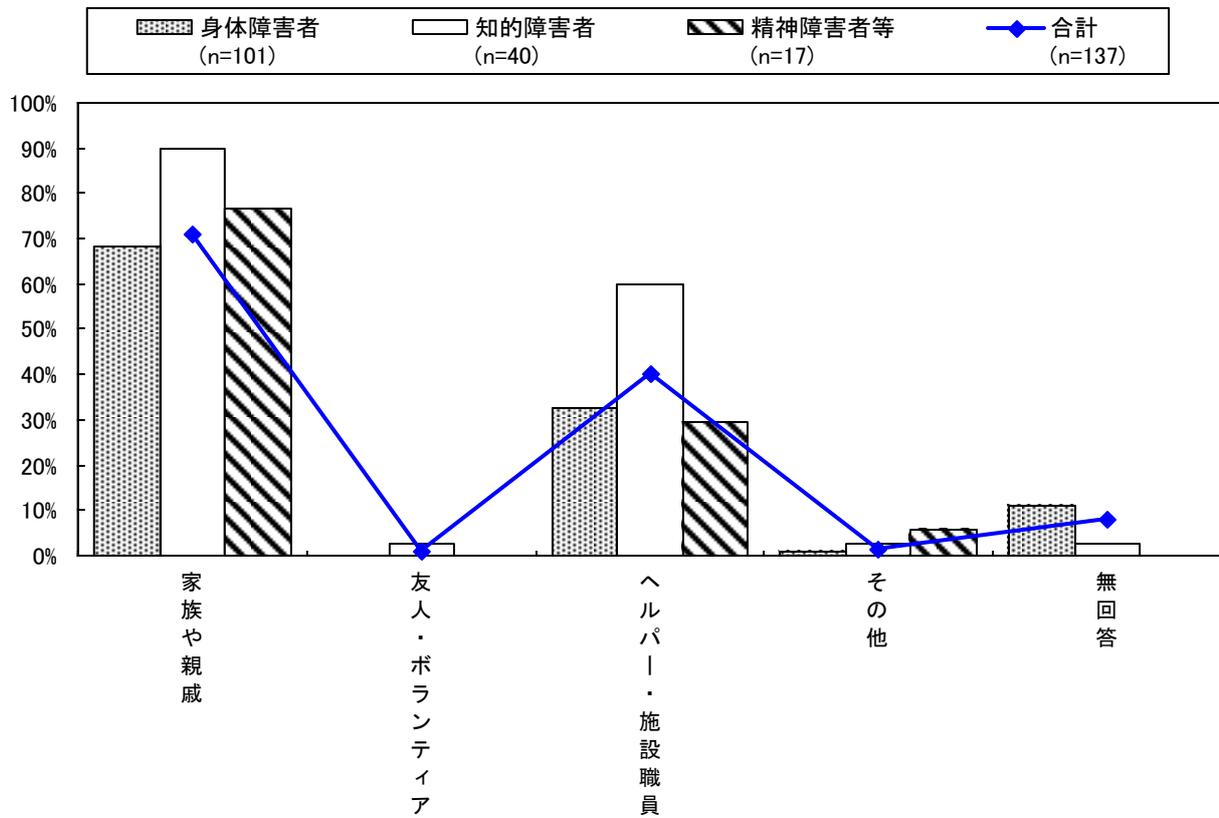
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	113	81	1	61	3	4
	100.0	71.7	0.9	54.0	2.7	3.5
身体障害者	80	57	0	35	2	4
	100.0	71.3	0.0	43.8	2.5	5.0
知的障害者	41	35	1	31	1	1
	100.0	85.4	2.4	75.6	2.4	2.4
精神障害者等	11	8	0	5	0	0
	100.0	72.7	0.0	45.5	0.0	0.0



- ・全体では、「家族や親戚」が71.7%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が71.3%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が85.4%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が72.7%と最も多くなっている。

<④着替えをするとき>

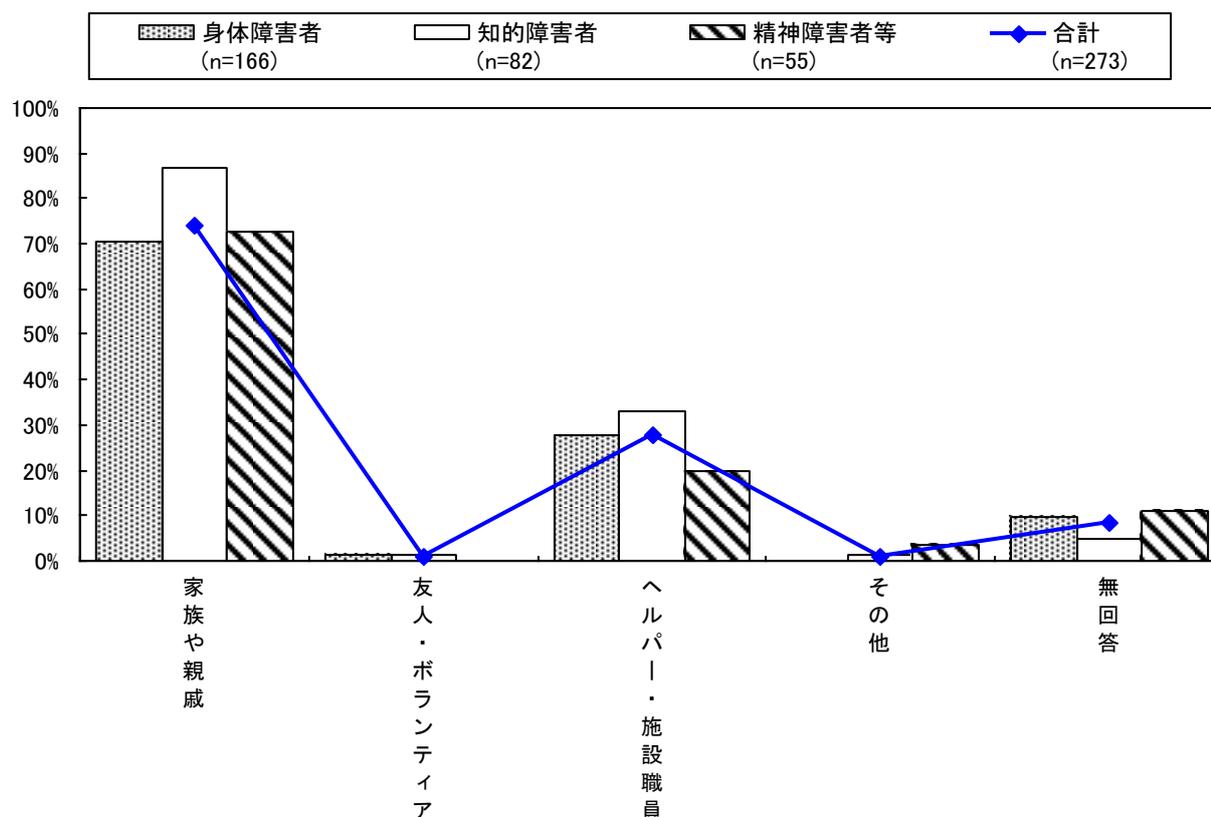
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	137	97	1	55	2	11
	100.0	70.8	0.7	40.1	1.5	8.0
身体障害者	101	69	0	33	1	11
	100.0	68.3	0.0	32.7	1.0	10.9
知的障害者	40	36	1	24	1	1
	100.0	90.0	2.5	60.0	2.5	2.5
精神障害者等	17	13	0	5	1	0
	100.0	76.5	0.0	29.4	5.9	0.0



- ・全体では、「家族や親戚」が70.8%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が68.3%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が90.0%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が76.5%と最も多くなっている。

<⑤料理・掃除・洗濯をするとき>

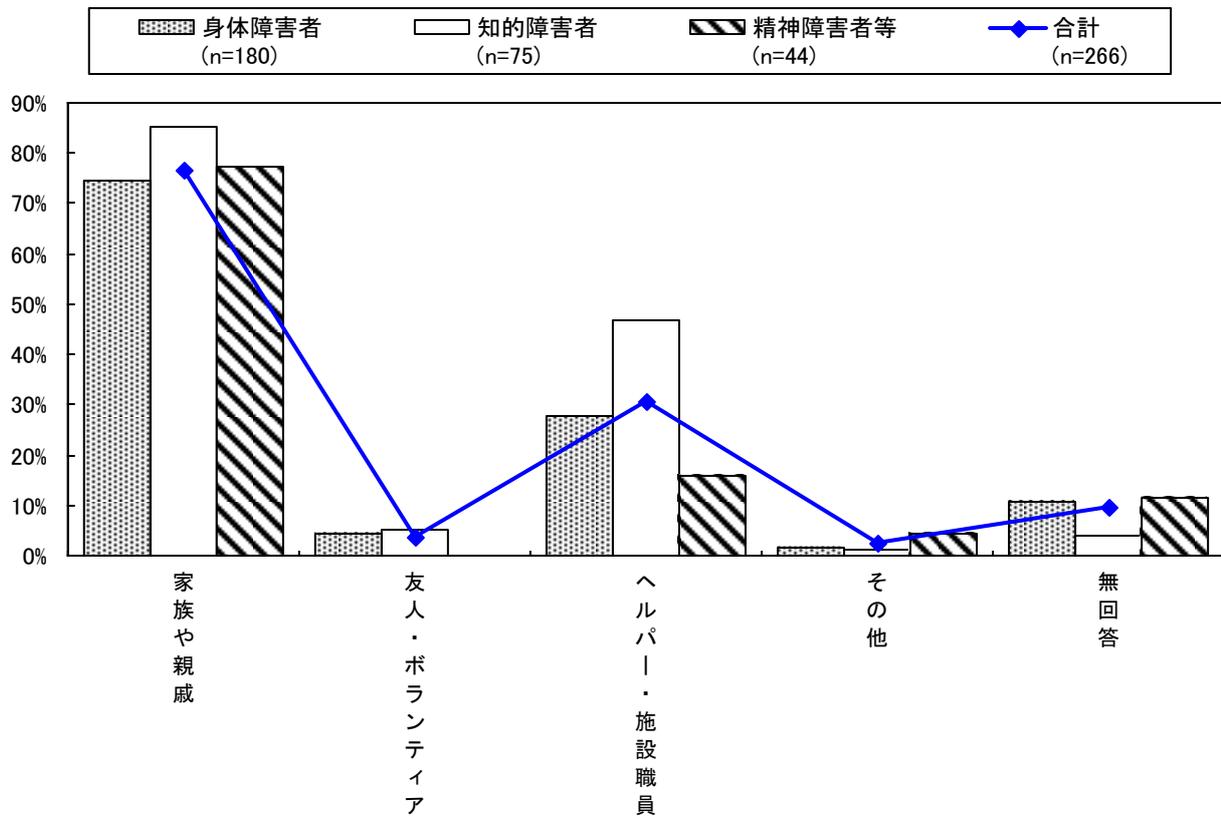
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	273	202	3	76	3	23
	100.0	74.0	1.1	27.8	1.1	8.4
身体障害者	166	117	2	46	0	16
	100.0	70.5	1.2	27.7	0.0	9.6
知的障害者	82	71	1	27	1	4
	100.0	86.6	1.2	32.9	1.2	4.9
精神障害者等	55	40	0	11	2	6
	100.0	72.7	0.0	20.0	3.6	10.9



- ・全体では、「家族や親戚」が74.0%とほぼ4分の3に達し、最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が70.5%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が86.6%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が72.7%と最も多くなっている。

<⑥外出するとき>

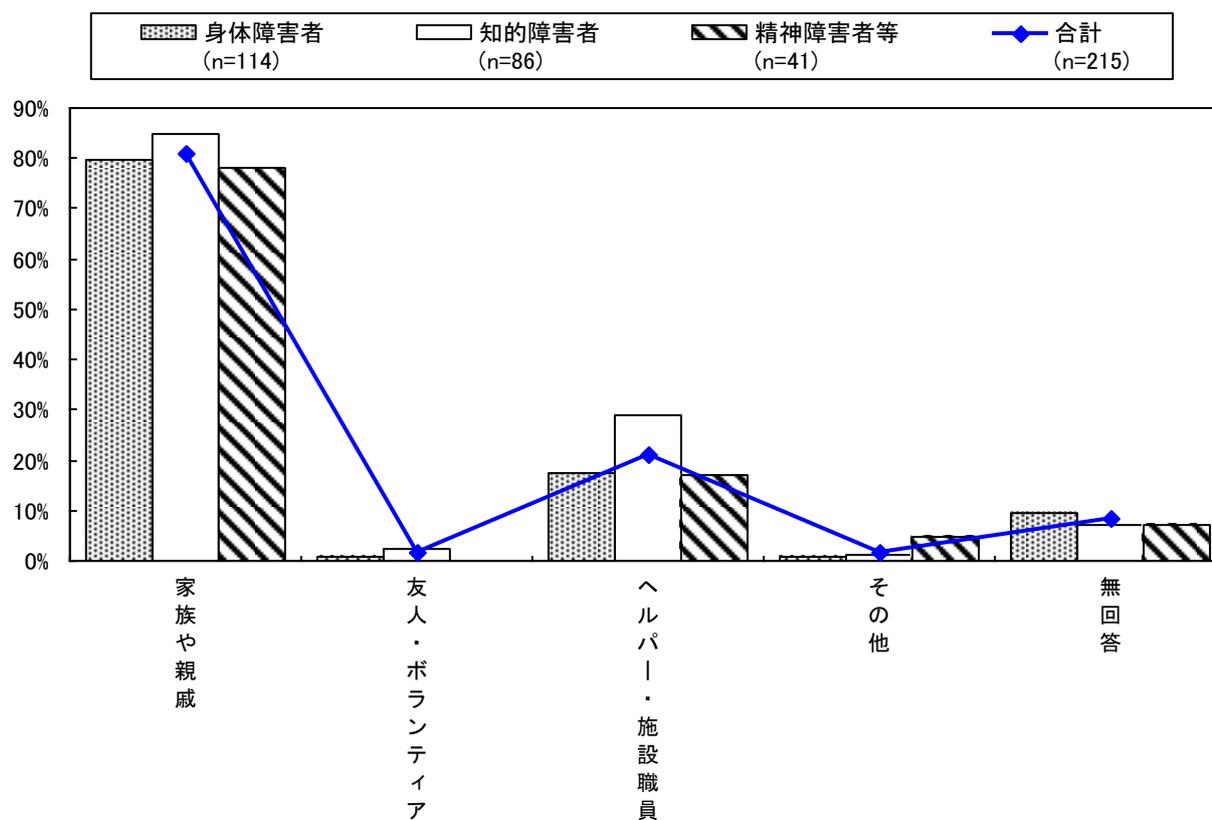
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	266	204	10	81	6	25
	100.0	76.7	3.8	30.5	2.3	9.4
身体障害者	180	134	8	50	3	19
	100.0	74.4	4.4	27.8	1.7	10.6
知的障害者	75	64	4	35	1	3
	100.0	85.3	5.3	46.7	1.3	4.0
精神障害者等	44	34	0	7	2	5
	100.0	77.3	0.0	15.9	4.5	11.4



- ・全体では、「家族や親戚」が76.7%と4分の3強に達し、最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が74.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が85.3%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が77.3%と最も多くなっている。

<⑦お金を管理するとき>

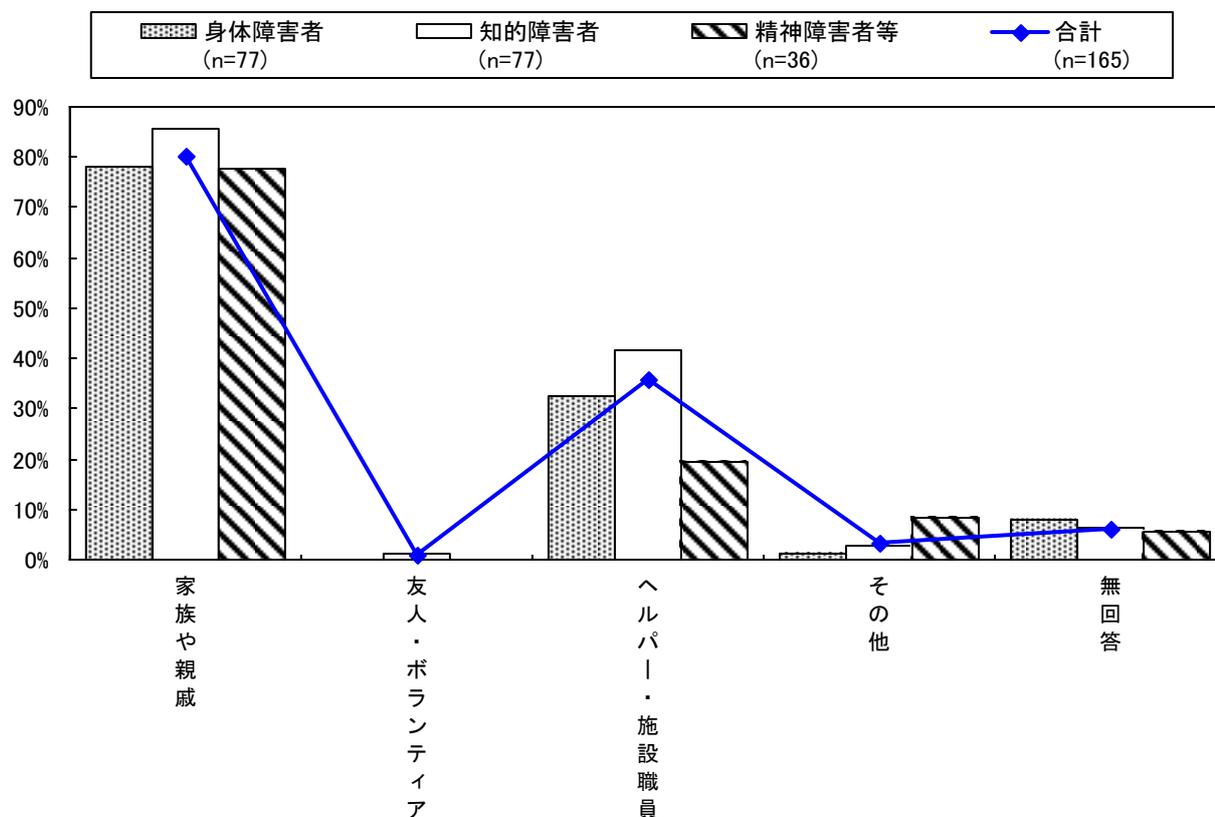
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	215 100.0	174 80.9	3 1.4	45 20.9	3 1.4	18 8.4
身体障害者	114 100.0	91 79.8	1 0.9	20 17.5	1 0.9	11 9.6
知的障害者	86 100.0	73 84.9	2 2.3	25 29.1	1 1.2	6 7.0
精神障害者等	41 100.0	32 78.0	0 0.0	7 17.1	2 4.9	3 7.3



- ・全体では、「家族や親戚」が 80.9%と約8割で最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が 79.8%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が 84.9%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が 78.0%と最も多くなっている。

<⑧自分の考えを伝えたいとき>

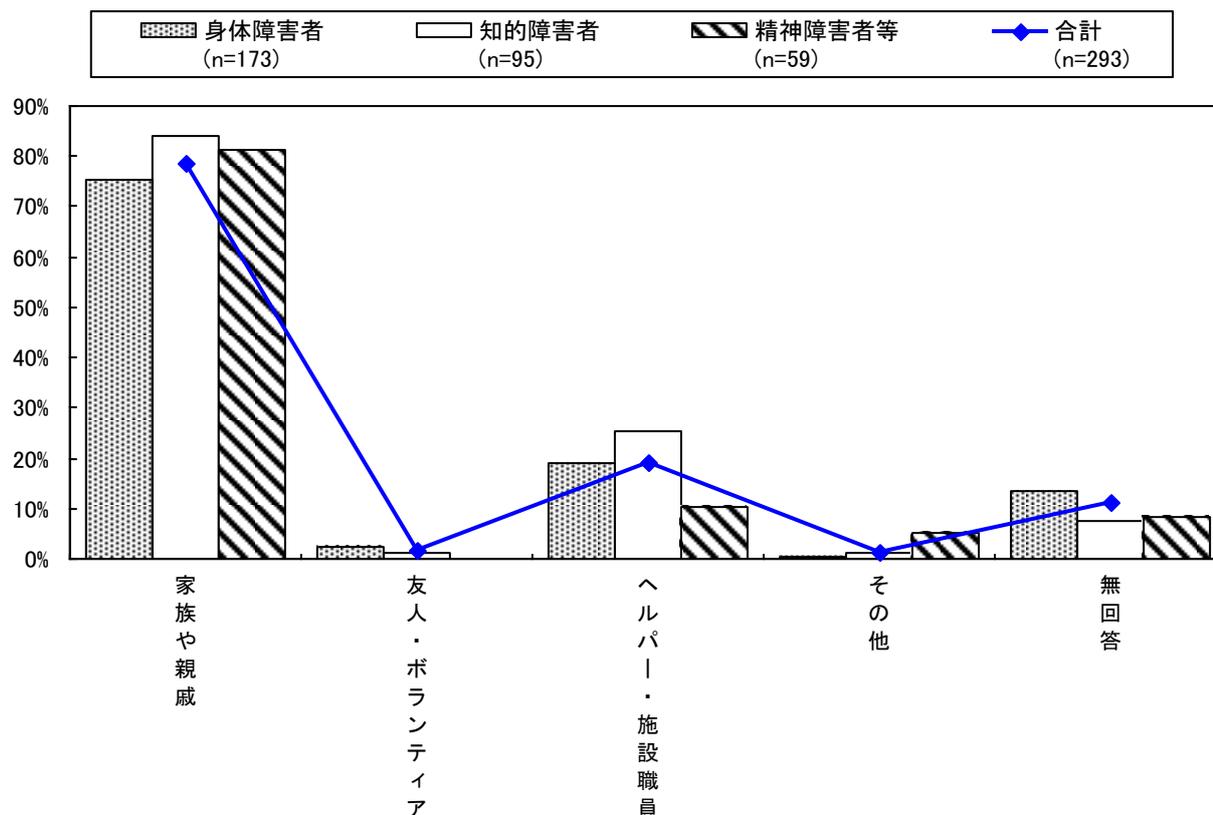
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	165	132	1	59	5	10
	100.0	80.0	0.6	35.8	3.0	6.1
身体障害者	77	60	0	25	1	6
	100.0	77.9	0.0	32.5	1.3	7.8
知的障害者	77	66	1	32	2	5
	100.0	85.7	1.3	41.6	2.6	6.5
精神障害者等	36	28	0	7	3	2
	100.0	77.8	0.0	19.4	8.3	5.6



- ・全体では、「家族や親戚」(80.0%)がちょうど8割で最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が77.9%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が85.7%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が77.8%と最も多くなっている。

<⑨日常生活に必要な事務手続き>

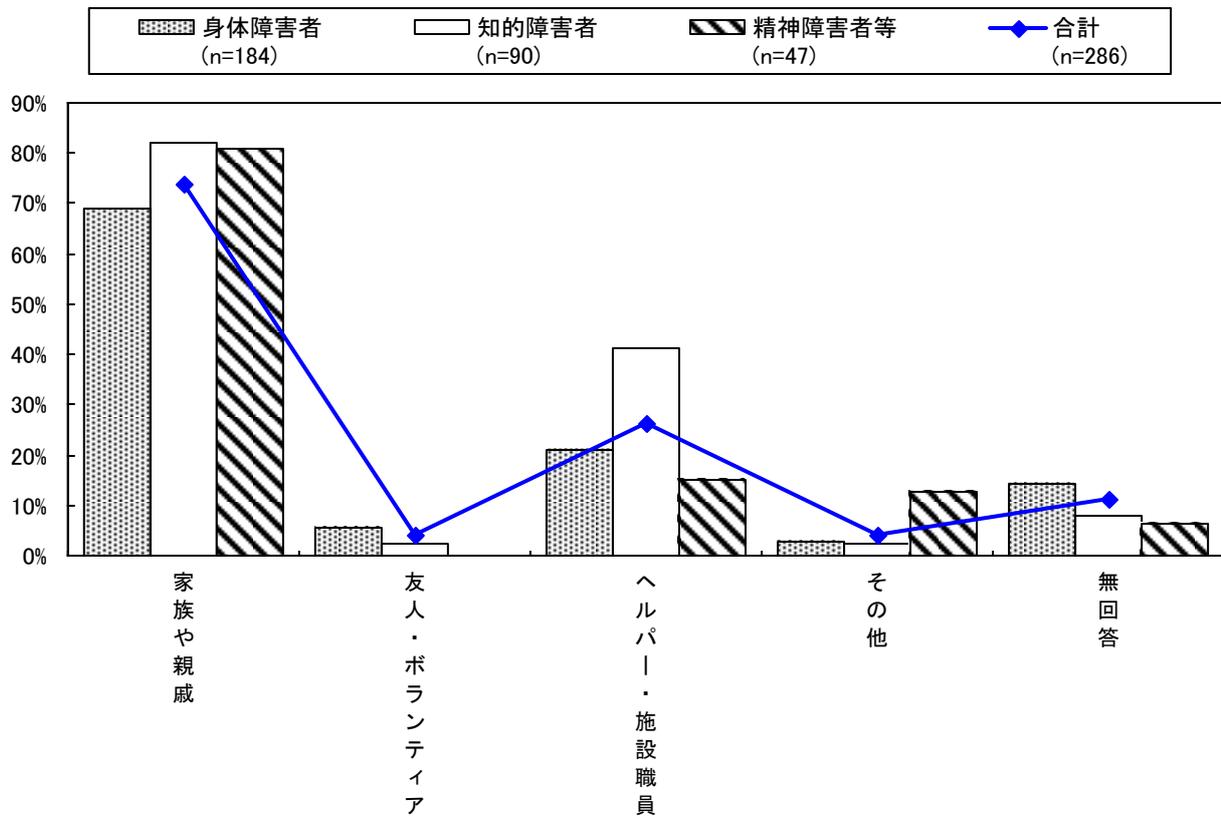
	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	293	230	5	56	4	32
	100.0	78.5	1.7	19.1	1.4	10.9
身体障害者	173	130	4	33	1	23
	100.0	75.1	2.3	19.1	0.6	13.3
知的障害者	95	80	1	24	1	7
	100.0	84.2	1.1	25.3	1.1	7.4
精神障害者等	59	48	0	6	3	5
	100.0	81.4	0.0	10.2	5.1	8.5



- ・全体では、「家族や親戚」が78.5%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が75.1%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が84.2%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が81.4%と最も多くなっている。

<⑩緊急時に避難・連絡したいとき>

	全体	家族や 親戚	友人・ボ ランティ ア	ヘル パー・施 設職員	その他	無回答
合計	286	211	11	75	11	32
	100.0	73.8	3.8	26.2	3.8	11.2
身体障害者	184	127	10	39	5	26
	100.0	69.0	5.4	21.2	2.7	14.1
知的障害者	90	74	2	37	2	7
	100.0	82.2	2.2	41.1	2.2	7.8
精神障害者等	47	38	0	7	6	3
	100.0	80.9	0.0	14.9	12.8	6.4



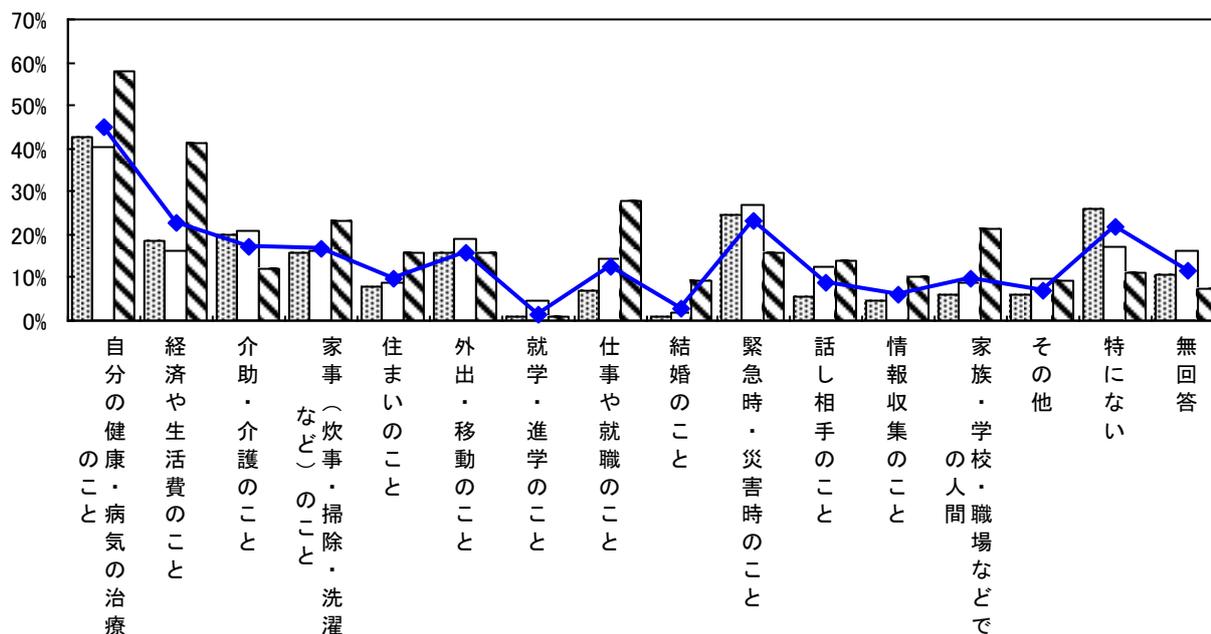
- ・全体では、「家族や親戚」が73.8%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族や親戚」が69.0%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族や親戚」が82.2%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族や親戚」が80.9%と最も多くなっている。

◇悩んでいることや相談したいこと（問16）

問：現在、あなたは、悩んでいることや、誰かに相談したいことがありますか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	自分の健康・病気の治療のこと	経済や生活費のこと	介助・介護のこと	家事(炊事・掃除・洗濯など)のこと	住まいのこと	外出・移動のこと	就学・進学のこと	仕事や就職のこと	結婚のこと	緊急時・災害時のこと	話し相手のこと
合計	545 100.0	245 45.0	123 22.6	93 17.1	91 16.7	53 9.7	87 16.0	8 1.5	67 12.3	15 2.8	126 23.1	48 8.8
身体障害者	371 100.0	158 42.6	68 18.3	74 19.9	59 15.9	29 7.8	58 15.6	3 0.8	25 6.7	4 1.1	91 24.5	21 5.7
知的障害者	111 100.0	45 40.5	18 16.2	23 20.7	18 16.2	10 9.0	21 18.9	5 4.5	16 14.4	2 1.8	30 27.0	14 12.6
精神障害者等	107 100.0	62 57.9	44 41.1	13 12.1	25 23.4	17 15.9	17 15.9	1 0.9	30 28.0	10 9.3	17 15.9	15 14.0
	全体	情報収集のこと	家族・学校・職場などで人間	その他	特にな	無回答						
合計	545 100.0	32 5.9	52 9.5	37 6.8	120 22.0	64 11.7						
身体障害者	371 100.0	17 4.6	22 5.9	23 6.2	97 26.1	39 10.5						
知的障害者	111 100.0	7 6.3	10 9.0	11 9.9	19 17.1	18 16.2						
精神障害者等	107 100.0	11 10.3	23 21.5	10 9.3	12 11.2	8 7.5						

身体障害者 (n=371)
 知的障害者 (n=111)
 精神障害者等 (n=107)
 合計 (n=545)

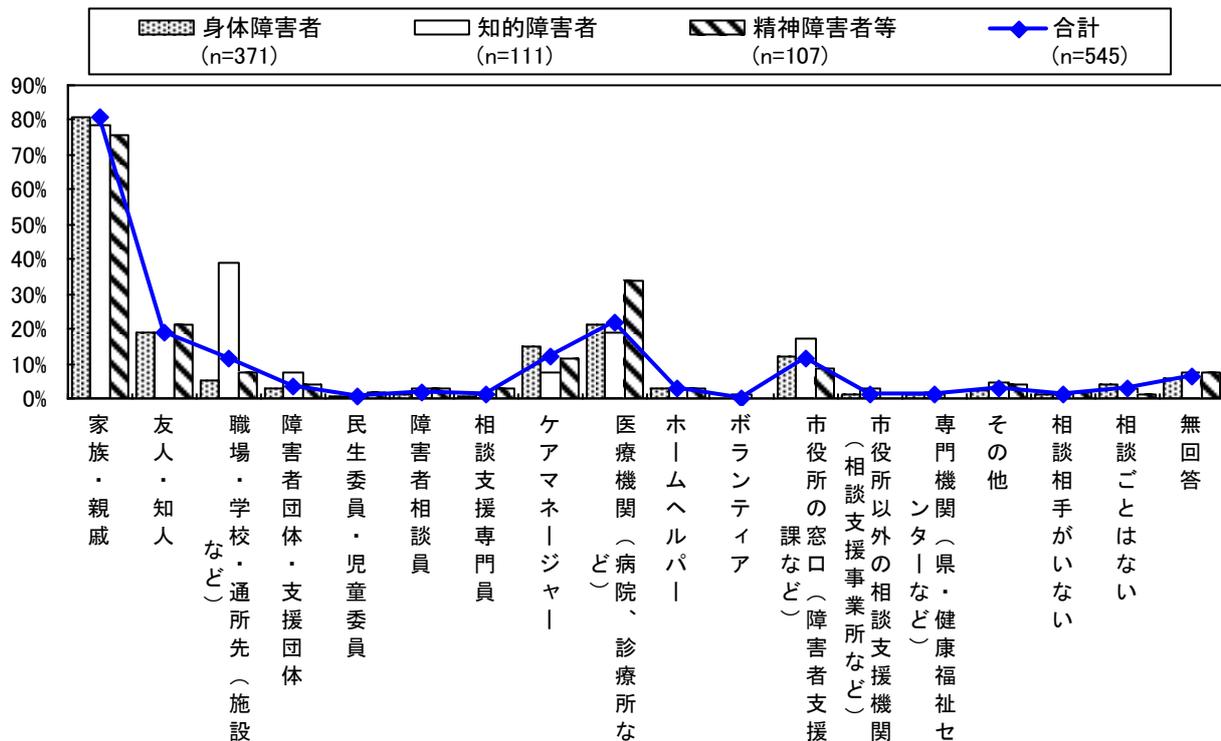


- ・全体では、「自分の健康・病気の治療のこと」が45.0%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「自分の健康・病気の治療のこと」が42.6%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「自分の健康・病気の治療のこと」が40.5%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「自分の健康・病気の治療のこと」が57.9%と最も多くなっている。

◇主に相談する人（問 17）

問：あなたが主に相談する人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	家族・親戚	友人・知人	職場・学校・通所先（施設など）	障害者団体・支援団体	民生委員・児童委員	障害者相談員	相談支援専門員	ケアマネジャー	医療機関（病院、診療所など）	ホームヘルパー	ボランティア
合計	545	442	104	62	20	4	9	6	67	120	15	1
	100.0	81.1	19.1	11.4	3.7	0.7	1.7	1.1	12.3	22.0	2.8	0.2
身体障害者	371	300	70	20	11	3	5	3	56	78	11	1
	100.0	80.9	18.9	5.4	3.0	0.8	1.3	0.8	15.1	21.0	3.0	0.3
知的障害者	111	87	21	43	8	1	3	1	8	21	3	1
	100.0	78.4	18.9	38.7	7.2	0.9	2.7	0.9	7.2	18.9	2.7	0.9
精神障害者等	107	81	23	8	4	2	3	3	12	36	3	0
	100.0	75.7	21.5	7.5	3.7	1.9	2.8	2.8	11.2	33.6	2.8	0.0
	全体	市役所の窓口（障害者支援課など）	市役所以外の相談支援機関（相談支援事業所など）	専門機関（県・健康福祉センターなど）	その他	相談相手がいない	相談ことはない	無回答				
合計	545	62	7	7	15	7	15	33				
	100.0	11.4	1.3	1.3	2.8	1.3	2.8	6.1				
身体障害者	371	45	4	5	9	5	14	22				
	100.0	12.1	1.1	1.3	2.4	1.3	3.8	5.9				
知的障害者	111	19	3	2	5	1	3	8				
	100.0	17.1	2.7	1.8	4.5	0.9	2.7	7.2				
精神障害者等	107	9	0	0	4	2	1	8				
	100.0	8.4	0.0	0.0	3.7	1.9	0.9	7.5				



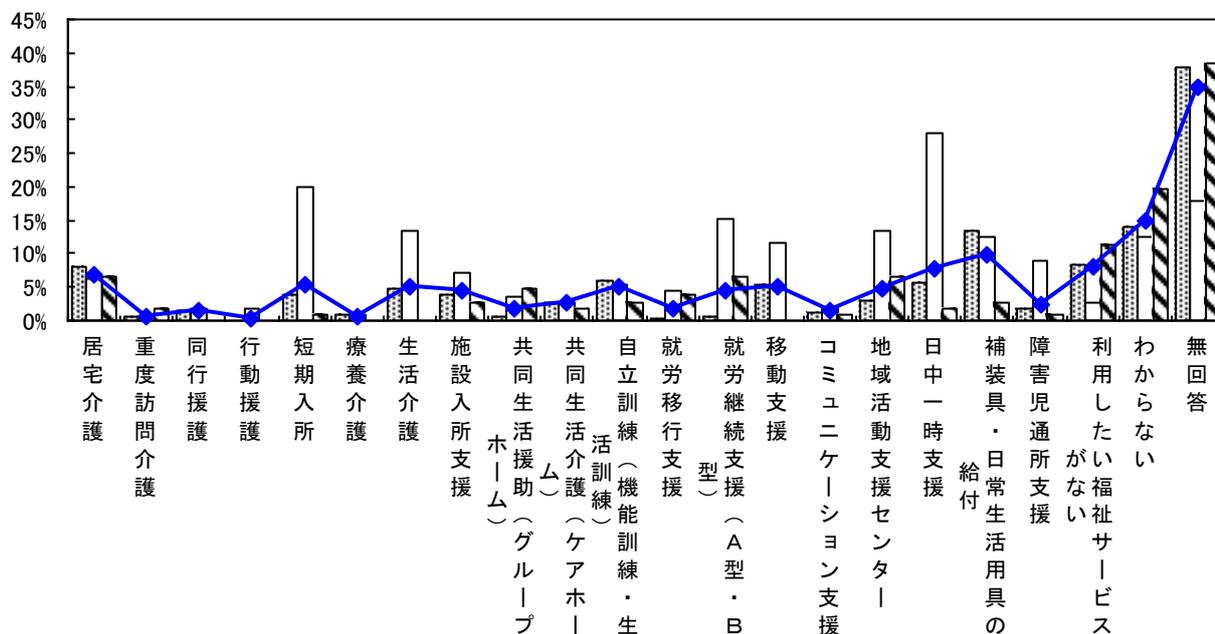
- ・全体では、「家族・親戚」が81.1%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族・親戚」が80.9%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族・親戚」が78.4%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族・親戚」が75.7%と最も多くなっている。

◇現在利用している福祉サービス（問 18）

問：現在、どのような福祉サービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	居宅介護	重度訪問介護	同行支援	行動支援	短期入所	療養介護	生活介護	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	共同生活介護（ケアホーム）	自立訓練（機能訓練・生活訓練）
合計	545 100.0	37 6.8	3 0.6	8 1.5	2 0.4	30 5.5	4 0.7	27 5.0	25 4.6	10 1.8	14 2.6	27 5.0
身体障害者	371 100.0	30 8.1	2 0.5	6 1.6	0 0.0	14 3.8	3 0.8	18 4.9	14 3.8	2 0.5	10 2.7	22 5.9
知的障害者	111 100.0	7 6.3	0 0.0	2 1.8	2 1.8	22 19.8	1 0.9	15 13.5	8 7.2	4 3.6	3 2.7	6 5.4
精神障害者等	107 100.0	7 6.5	2 1.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	3 2.8	5 4.7	2 1.9	3 2.8
	全体	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	移動支援	コミュニケーション支援	地域活動支援センター	日中一時支援	補装具・日常生活用具の給付	障害児通所支援	利用したい福祉サービスがない	わからない	無回答
合計	545 100.0	9 1.7	24 4.4	28 5.1	8 1.5	26 4.8	43 7.9	54 9.9	13 2.4	44 8.1	81 14.9	190 34.9
身体障害者	371 100.0	1 0.3	2 0.5	20 5.4	4 1.1	11 3.0	21 5.7	50 13.5	7 1.9	31 8.4	52 14.0	140 37.7
知的障害者	111 100.0	5 4.5	17 15.3	13 11.7	2 1.8	15 13.5	31 27.9	14 12.6	10 9.0	3 2.7	14 12.6	20 18.0
精神障害者等	107 100.0	4 3.7	7 6.5	0 0.0	1 0.9	7 6.5	2 1.9	3 2.8	1 0.9	12 11.2	21 19.6	41 38.3

身体障害者 (n=371)
 知的障害者 (n=111)
 精神障害者等 (n=107)
 合計 (n=545)

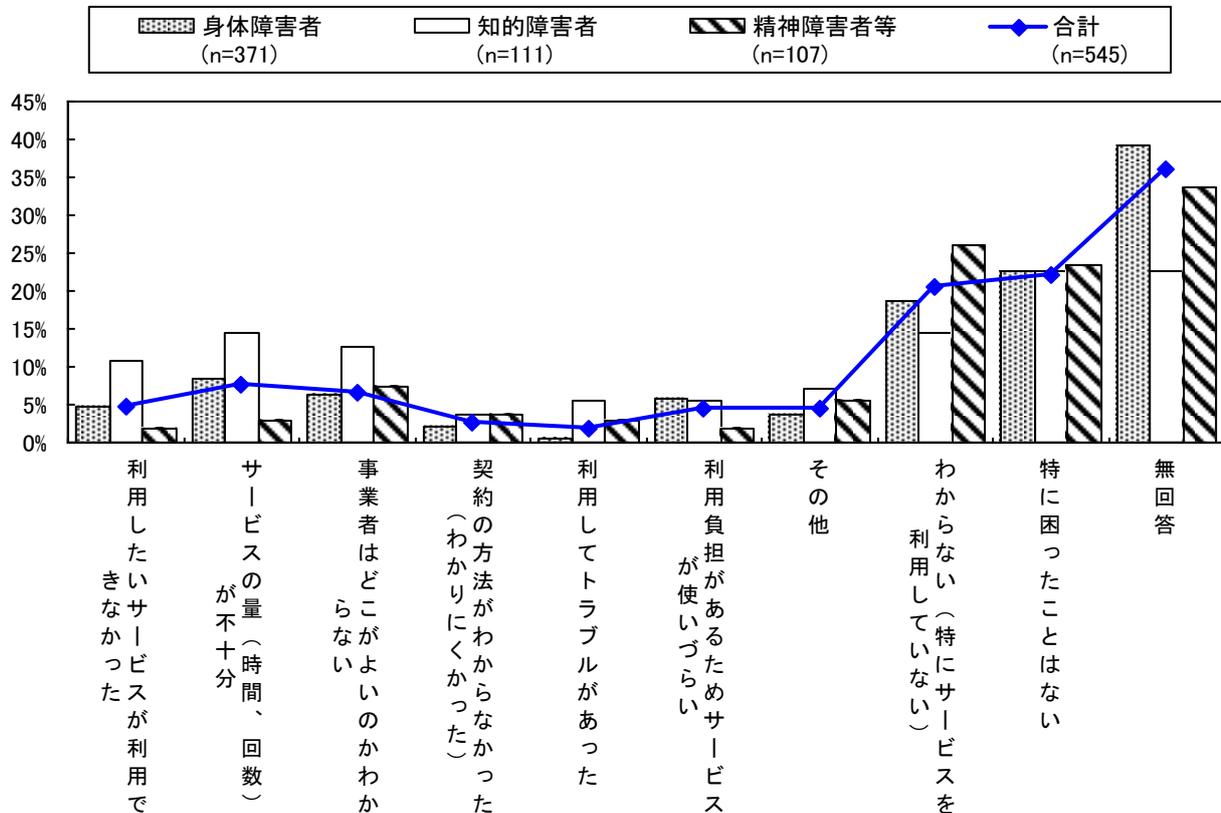


- ・全体では、「わからない」（14.9%）という回答が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「わからない」（14.0%）が最も多くなっている。
- ・知的障害者では「日中一時支援」（27.9%）が最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「わからない」（19.6%）が最も多くなっている。

◇福祉サービスを利用して不便なことや困ったこと（問 19）

問：福祉サービスを利用して、何か不便なことや困ったことはありましたか。（3つまで〇印）

	全体	利用したいサービスが利用できなかった	サービスの量（時間、回数）が不十分	事業者はどこがよいかわからない	契約の方法がわからなかった（わかりにくかった）	利用してトラブルがあった	利用負担があるためサービスが使いづらい	その他	わからない（特にサービスを利用していない）	特に困ったことはない	無回答
合計	545	26	41	36	14	10	25	24	112	121	196
	100.0	4.8	7.5	6.6	2.6	1.8	4.6	4.4	20.6	22.2	36.0
身体障害者	371	18	31	23	8	2	21	14	69	84	145
	100.0	4.9	8.4	6.2	2.2	0.5	5.7	3.8	18.6	22.6	39.1
知的障害者	111	12	16	14	4	6	6	8	16	25	25
	100.0	10.8	14.4	12.6	3.6	5.4	5.4	7.2	14.4	22.5	22.5
精神障害者等	107	2	3	8	4	3	2	6	28	25	36
	100.0	1.9	2.8	7.5	3.7	2.8	1.9	5.6	26.2	23.4	33.6



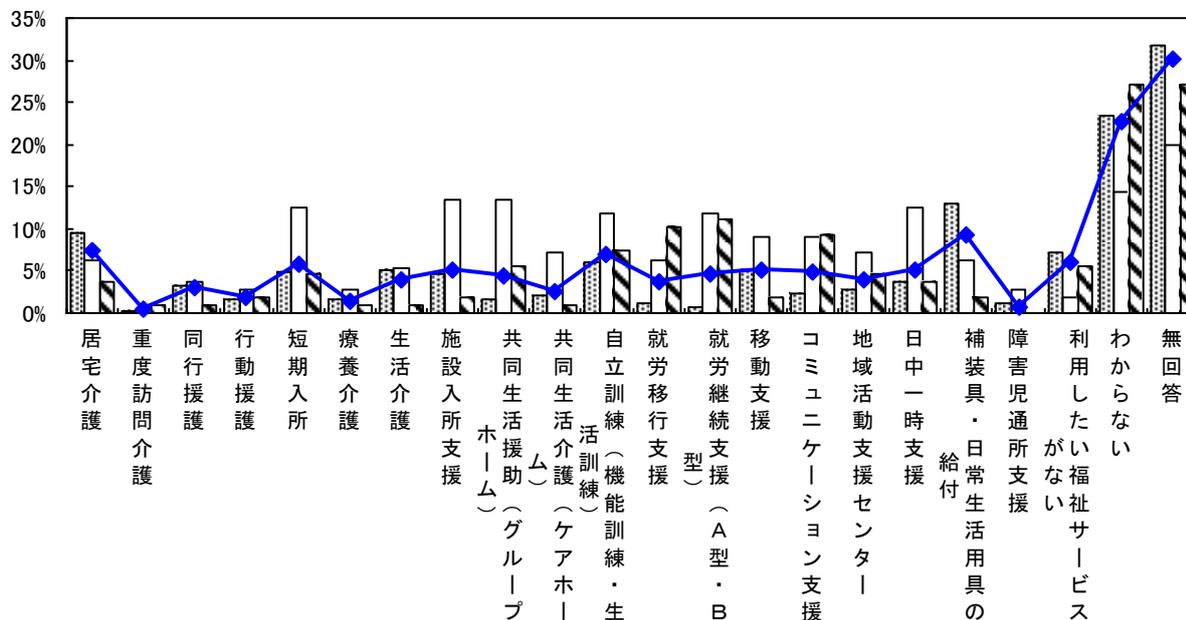
- ・全体では「特に困ったことはない」が最も多く、22.2%となっている。
- ・身体障害者では「特に困ったことはない」（22.6%）が最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「特に困ったことはない」（22.5%）が最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「わからない（特にサービスを利用していない）」（26.2%）が最も多くなっている。

◇今後利用したい福祉サービス（問 20）

問：今後、利用したい福祉サービスはありますか。（3つまで〇印）

	全体	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	短期入所	療養介護	生活介護	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	共同生活介護（ケアホーム）	自立訓練（機能訓練・生活訓練）
合計	545	40	3	16	10	31	7	22	28	24	14	38
	100.0	7.3	0.6	2.9	1.8	5.7	1.3	4.0	5.1	4.4	2.6	7.0
身体障害者	371	35	1	12	6	18	6	19	17	6	8	22
	100.0	9.4	0.3	3.2	1.6	4.9	1.6	5.1	4.6	1.6	2.2	5.9
知的障害者	111	7	0	4	3	14	3	6	15	15	8	13
	100.0	6.3	0.0	3.6	2.7	12.6	2.7	5.4	13.5	13.5	7.2	11.7
精神障害者等	107	4	1	1	2	5	1	1	2	6	1	8
	100.0	3.7	0.9	0.9	1.9	4.7	0.9	0.9	1.9	5.6	0.9	7.5
	全体	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	移動支援	コミュニケーション支援	地域活動支援センター	日中一時支援	補装具・日常生活用具の給付	障害児通所支援	利用したい福祉サービスがない	わからない	無回答
合計	545	20	25	28	26	21	28	51	4	33	124	164
	100.0	3.7	4.6	5.1	4.8	3.9	5.1	9.4	0.7	6.1	22.8	30.1
身体障害者	371	4	3	19	9	10	14	48	4	27	87	118
	100.0	1.1	0.8	5.1	2.4	2.7	3.8	12.9	1.1	7.3	23.5	31.8
知的障害者	111	7	13	10	10	8	14	7	3	2	16	22
	100.0	6.3	11.7	9.0	9.0	7.2	12.6	6.3	2.7	1.8	14.4	19.8
精神障害者等	107	11	12	2	10	5	4	2	0	6	29	29
	100.0	10.3	11.2	1.9	9.3	4.7	3.7	1.9	0.0	5.6	27.1	27.1

身体障害者 (n=371)
 知的障害者 (n=111)
 精神障害者等 (n=107)
 合計 (n=545)



- ・全体では、「わからない」が22.8%と最も多くなっている。
- ・「わからない」以外では、身体障害者では「補装具・日常生活用具の給付」（12.9%）が、知的障害者では「施設入所支援」と「共同生活援助（グループホーム）」（ともに13.5%）が、精神障害者等では「就労継続支援（A型・B型）」が、それぞれ最も多くなっている。

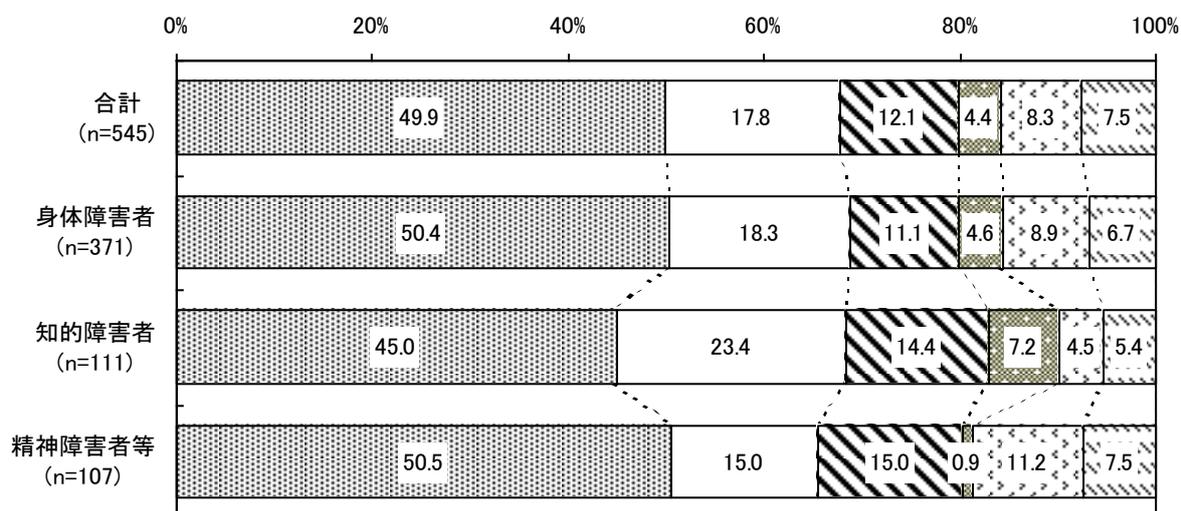
【3 外出・移動支援】

◇外出の頻度（問 21）

問：あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。

	全体	週に3回以上	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど外出しない	無回答
合計	545	272	97	66	24	45	41
	100.0	49.9	17.8	12.1	4.4	8.3	7.5
身体障害者	371	187	68	41	17	33	25
	100.0	50.4	18.3	11.1	4.6	8.9	6.7
知的障害者	111	50	26	16	8	5	6
	100.0	45.0	23.4	14.4	7.2	4.5	5.4
精神障害者等	107	54	16	16	1	12	8
	100.0	50.5	15.0	15.0	0.9	11.2	7.5

週に3回以上
 週に1回以上
 月に数回程度
 年に数回程度
 ほとんど外出しない
 無回答

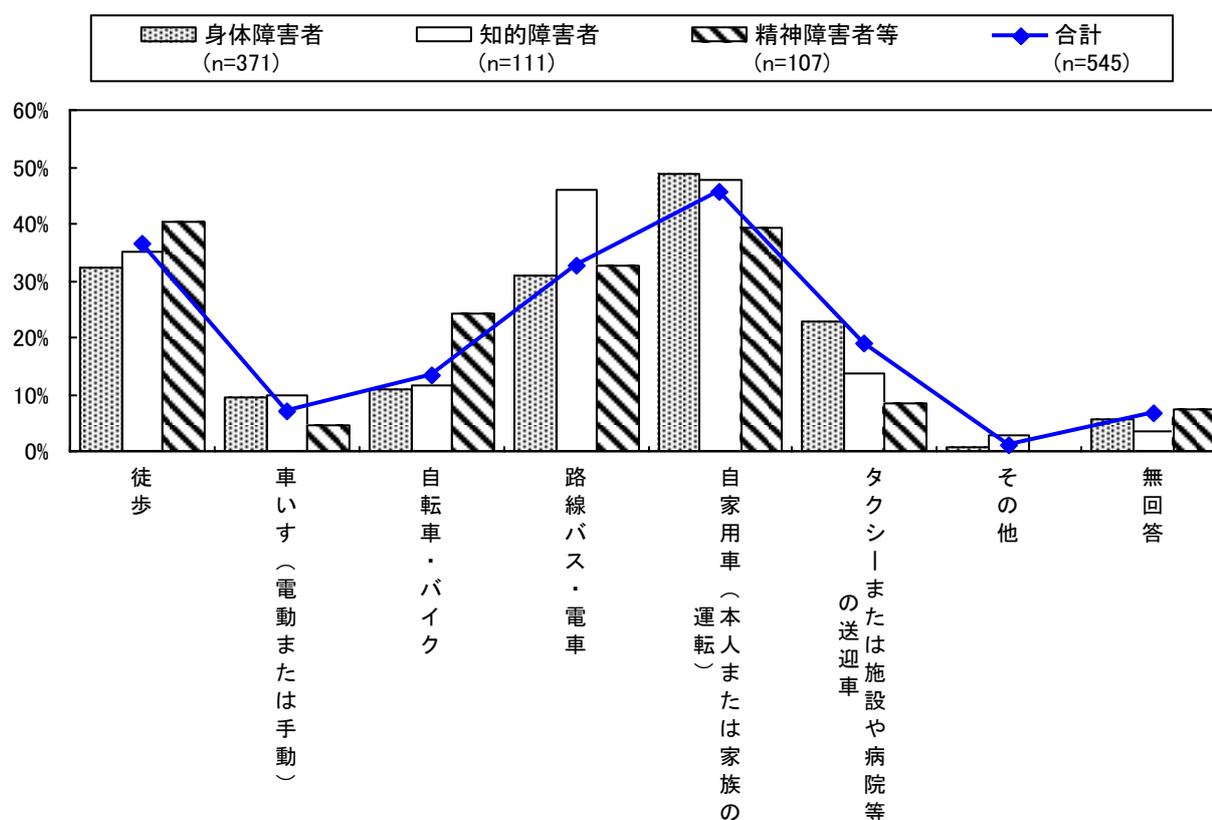


- ・全体では、「週に3回以上」が49.9%とほぼ半数を占め最も多くなっている。
- ・身体障害者では「週に3回以上」が50.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「週に3回以上」が45.0%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「週に3回以上」が50.5%と最も多くなっている。

◇外出時の主な交通手段（問 22）

問：あなたが外出するときの主な交通手段は、何ですか。（2つまで○印）

	全体	徒歩	車いす (電動ま たは手 動)	自転車・ バイク	路線バ ス・電車	自家用 車(本人 または 家族の 運転)	タクシー または 施設や 病院等 の送迎 車	その他	無回答
合計	545	198	39	72	178	249	104	5	37
	100.0	36.3	7.2	13.2	32.7	45.7	19.1	0.9	6.8
身体障害者	371	120	35	40	114	181	85	2	21
	100.0	32.3	9.4	10.8	30.7	48.8	22.9	0.5	5.7
知的障害者	111	39	11	13	51	53	15	3	4
	100.0	35.1	9.9	11.7	45.9	47.7	13.5	2.7	3.6
精神障害者等	107	43	5	26	35	42	9	0	8
	100.0	40.2	4.7	24.3	32.7	39.3	8.4	0.0	7.5

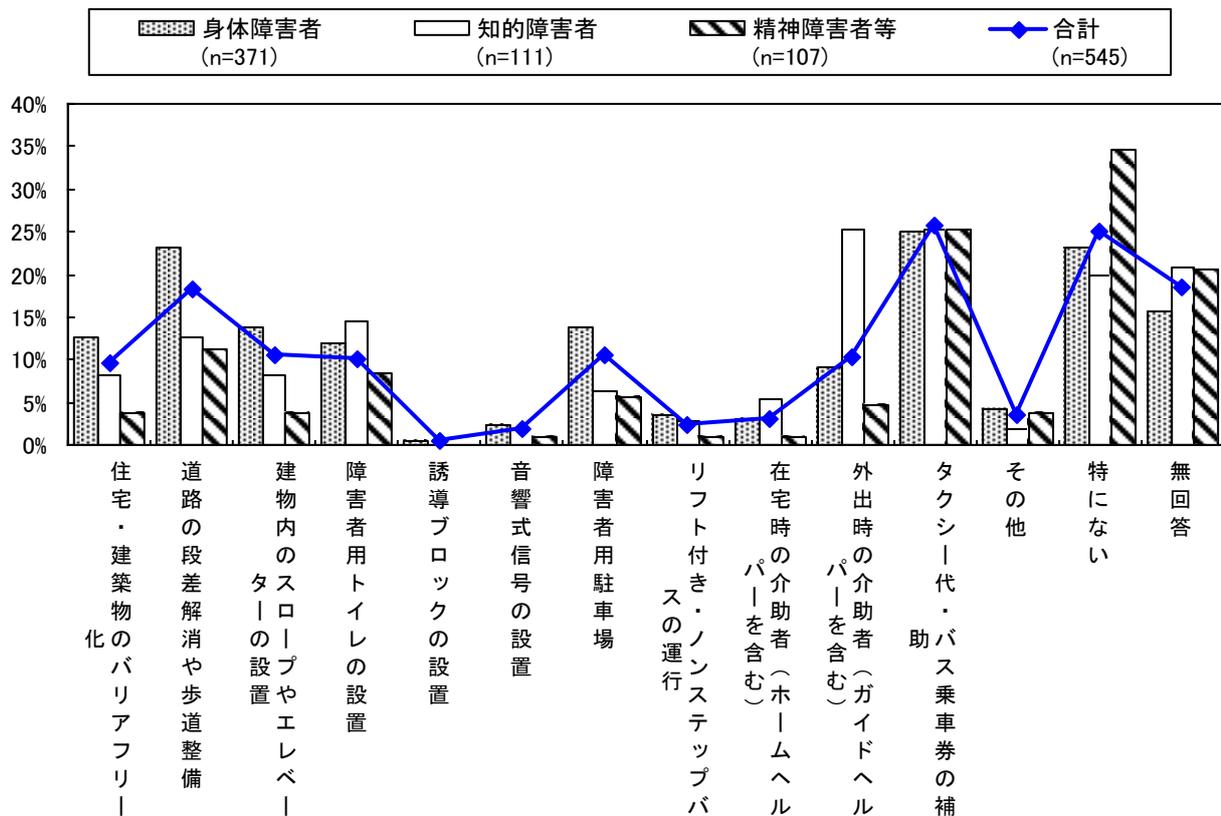


- ・全体では、「自家用車（本人または家族の運転）」が最も多く、45.7%となっている。
- ・身体障害者では「自家用車（本人または家族の運転）」(48.8%) が最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「自家用車（本人または家族の運転）」(47.7%) が最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「徒歩」(40.2%) が最も多くなっている。

◇外出するために必要な整備、援助（問 23）

問：あなたが外出するために、整備または援助を必要とするものは、何ですか。（3つまで○印）

	全体	住宅・建築物のバリアフリー化	道路の段差解消や歩道整備	建物内のスロープやエレベーターの設置	障害者用トイレの設置	誘導ブロックの設置	音響式信号の設置	障害者用駐車場	リフト付き・ノンステップバスの運行	在宅時の介助者（ホームヘルパーを含む）	外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）	タクシー代・バス乗車券の補助	その他	特にない	無回答
合計	545 100.0	52 9.5	100 18.3	57 10.5	55 10.1	2 0.4	10 1.8	57 10.5	13 2.4	16 2.9	56 10.3	140 25.7	19 3.5	137 25.1	101 18.5
身体障害者	371 100.0	47 12.7	86 23.2	51 13.7	44 11.9	2 0.5	9 2.4	51 13.7	13 3.5	11 3.0	34 9.2	93 25.1	16 4.3	86 23.2	58 15.6
知的障害者	111 100.0	9 8.1	14 12.6	9 8.1	16 14.4	0 0.0	0 0.0	7 6.3	3 2.7	6 5.4	28 25.2	28 25.2	2 1.8	22 19.8	23 20.7
精神障害者等	107 100.0	4 3.7	12 11.2	4 3.7	9 8.4	0 0.0	1 0.9	6 5.6	1 0.9	1 0.9	5 4.7	27 25.2	4 3.7	37 34.6	22 20.6



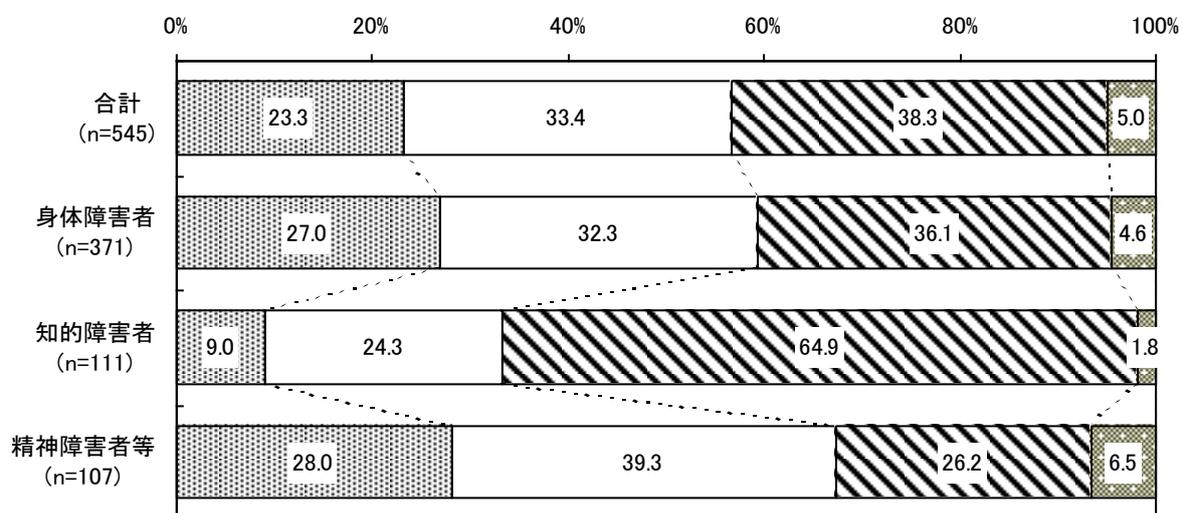
- ・全体では、「タクシー代・バス乗車券の補助」(25.7%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「タクシー代・バス乗車券の補助」が25.1%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）」と「タクシー代・バス乗車券の補助」がともに25.2%と、最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「タクシー代・バス乗車券の補助」が25.2%と最も多くなっている。

◇災害時の単独避難の可否（問 24）

問：あなたは、災害時にひとりで避難できますか。

	全体	できる	できると 思うが、 自信が ない	できない	無回答
合計	545	127	182	209	27
	100.0	23.3	33.4	38.3	5.0
身体障害者	371	100	120	134	17
	100.0	27.0	32.3	36.1	4.6
知的障害者	111	10	27	72	2
	100.0	9.0	24.3	64.9	1.8
精神障害者等	107	30	42	28	7
	100.0	28.0	39.3	26.2	6.5

できる
 できると思うが、自信がない
 できない
 無回答



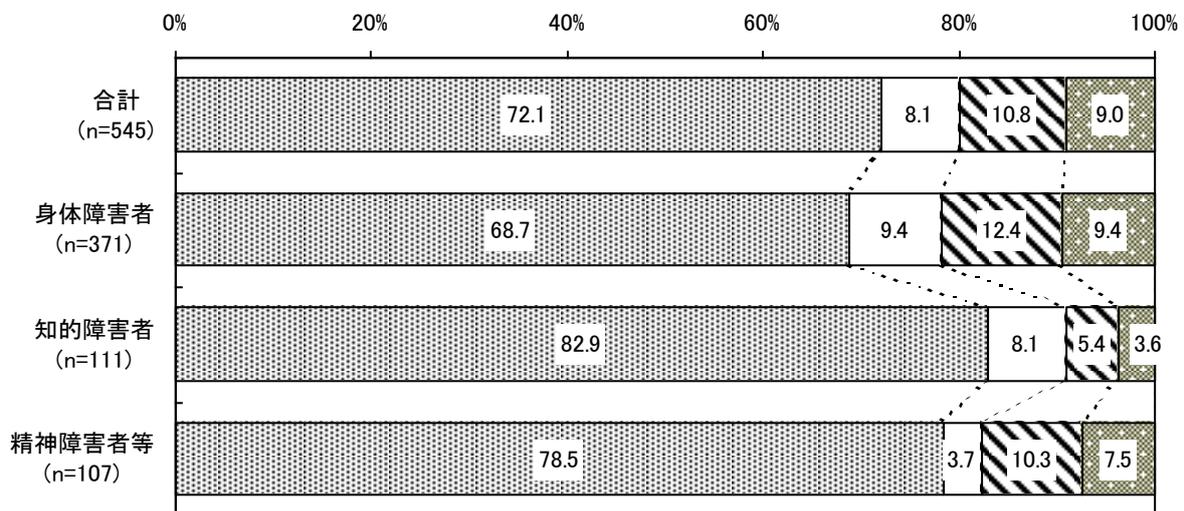
- ・全体では、「できない」が38.3%と、最も多くなっている。
- ・身体障害者では「できない」が36.1%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「できない」が64.9%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「できると思うが、自信がない」が39.3%と最も多くなっている。

◇災害時に助けてくれる人の有無（問 25）

問：あなたは、災害時に助けてくれるひとがいますか。

	全体	家族が いる	近所に 助けてく れる人 がいる	いない	無回答
合計	545	393	44	59	49
	100.0	72.1	8.1	10.8	9.0
身体障害者	371	255	35	46	35
	100.0	68.7	9.4	12.4	9.4
知的障害者	111	92	9	6	4
	100.0	82.9	8.1	5.4	3.6
精神障害者等	107	84	4	11	8
	100.0	78.5	3.7	10.3	7.5

家族がいる
 近所に助けてくれる人がいる
 いない
 無回答



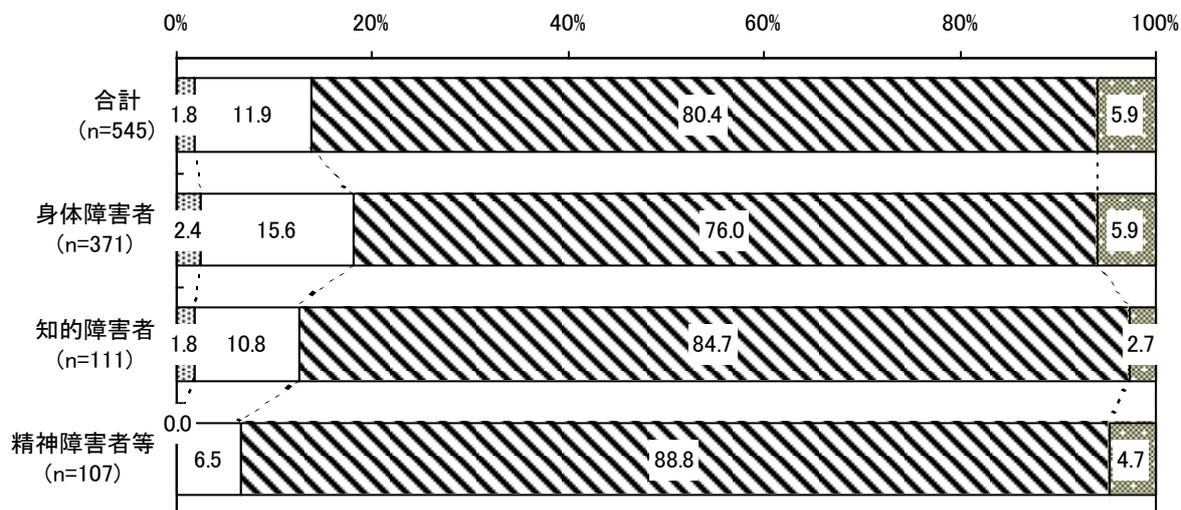
- ・全体では、「家族がいる」が72.1%と7割を超え、最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族がいる」が68.7%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族がいる」が82.9%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族がいる」が78.5%と最も多くなっている。

◇ 「流山市災害時要援護者避難支援計画」について（問 26）

問：あなたは、流山市災害時要援護者避難支援計画を知っていますか。

	全体	知っている、登録している	知っているが、登録していない	知らない	無回答
合計	545	10	65	438	32
	100.0	1.8	11.9	80.4	5.9
身体障害者	371	9	58	282	22
	100.0	2.4	15.6	76.0	5.9
知的障害者	111	2	12	94	3
	100.0	1.8	10.8	84.7	2.7
精神障害者等	107	0	7	95	5
	100.0	0.0	6.5	88.8	4.7

☑ 知っている、登録している □ 知っているが、登録していない ■ 知らない ▨ 無回答



- ・ 全体では、「知らない」が80.4%と約8割を占め、最も多くなっている。
- ・ 身体障害者では「知らない」が76.0%と最も多くなっている。
- ・ 知的障害者でも「知らない」が84.7%と最も多くなっている。
- ・ 精神障害者等でも「知らない」が88.8%とほぼ9割に達して最も多くなっている。

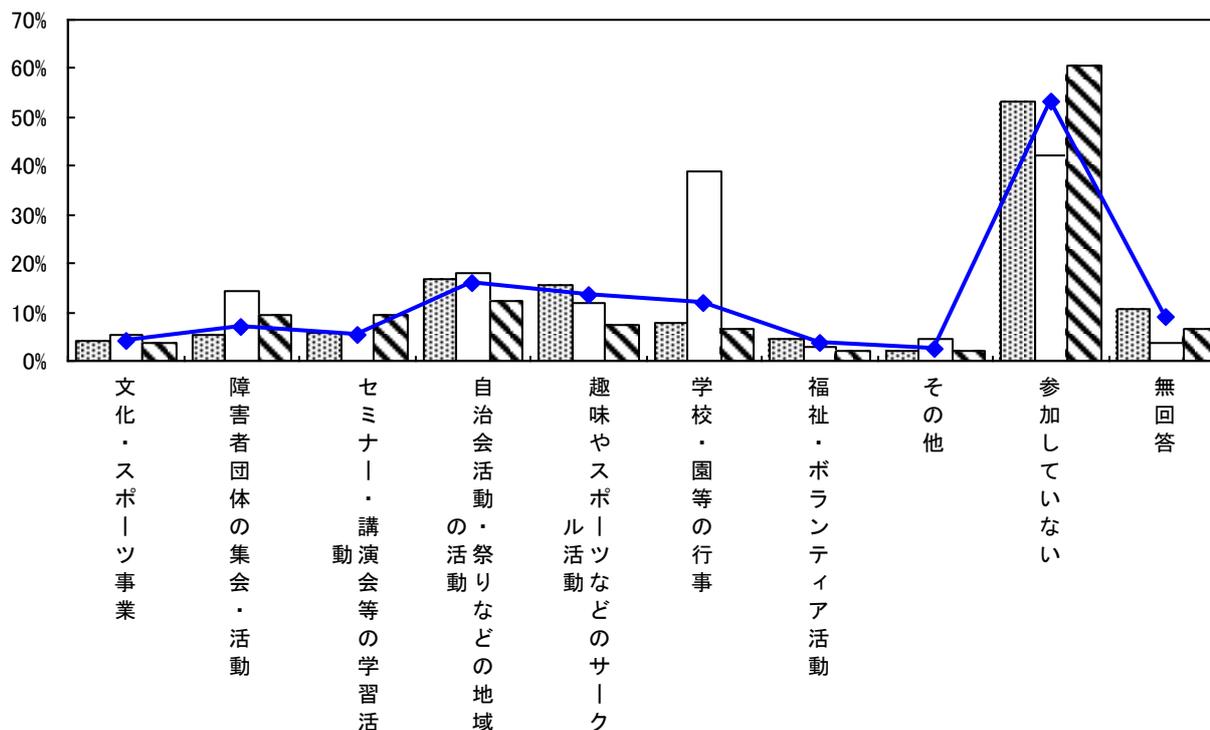
【4 社会参加・地域参加】

◇最近1年間の地域の行事や活動への参加の状況（問27）

問：最近1年間、あなたは、地域の行事や活動に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
合計	545	22	38	29	86	74	65	19	13	291	49
	100.0	4.0	7.0	5.3	15.8	13.6	11.9	3.5	2.4	53.4	9.0
身体障害者	371	15	20	21	63	57	29	17	7	198	40
	100.0	4.0	5.4	5.7	17.0	15.4	7.8	4.6	1.9	53.4	10.8
知的障害者	111	6	16	0	20	13	43	3	5	47	4
	100.0	5.4	14.4	0.0	18.0	11.7	38.7	2.7	4.5	42.3	3.6
精神障害者等	107	4	10	10	13	8	7	2	2	65	7
	100.0	3.7	9.3	9.3	12.1	7.5	6.5	1.9	1.9	60.7	6.5

身体障害者 (n=371)
 知的障害者 (n=111)
 精神障害者等 (n=107)
 合計 (n=545)

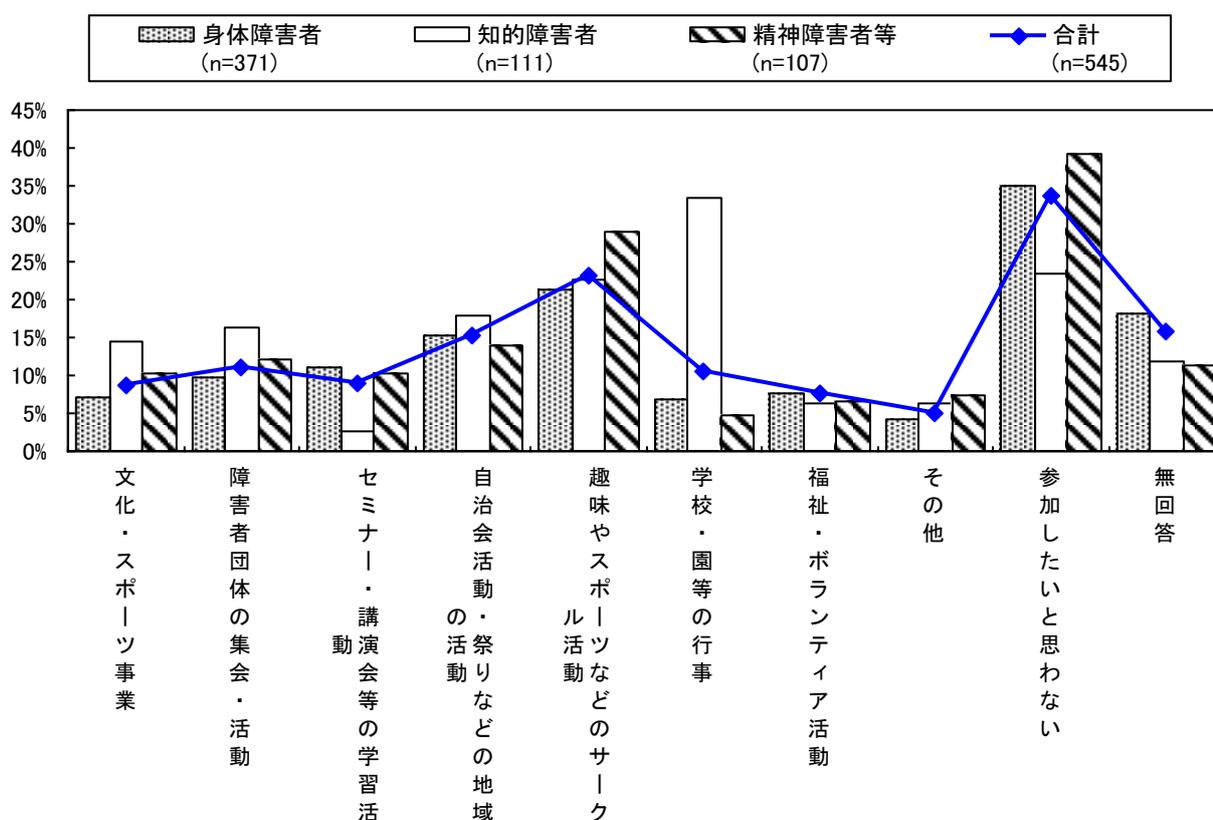


- ・全体では、「参加していない」が53.4%と過半数で最も多くなっている。
- ・身体障害者では「参加していない」が53.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「参加していない」が42.3%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「参加していない」が60.7%と最も多くなっている。

◇今後の行事や活動への参加（問 28）

問：今後、あなたは、どのような行事や活動に参加したいですか。（3つまで〇印）

	全体	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加したいと思わない	無回答
合計	545	47	60	49	83	126	57	41	27	184	86
	100.0	8.6	11.0	9.0	15.2	23.1	10.5	7.5	5.0	33.8	15.8
身体障害者	371	26	36	41	57	79	25	28	16	130	67
	100.0	7.0	9.7	11.1	15.4	21.3	6.7	7.5	4.3	35.0	18.1
知的障害者	111	16	18	3	20	25	37	7	7	26	13
	100.0	14.4	16.2	2.7	18.0	22.5	33.3	6.3	6.3	23.4	11.7
精神障害者等	107	11	13	11	15	31	5	7	8	42	12
	100.0	10.3	12.1	10.3	14.0	29.0	4.7	6.5	7.5	39.3	11.2

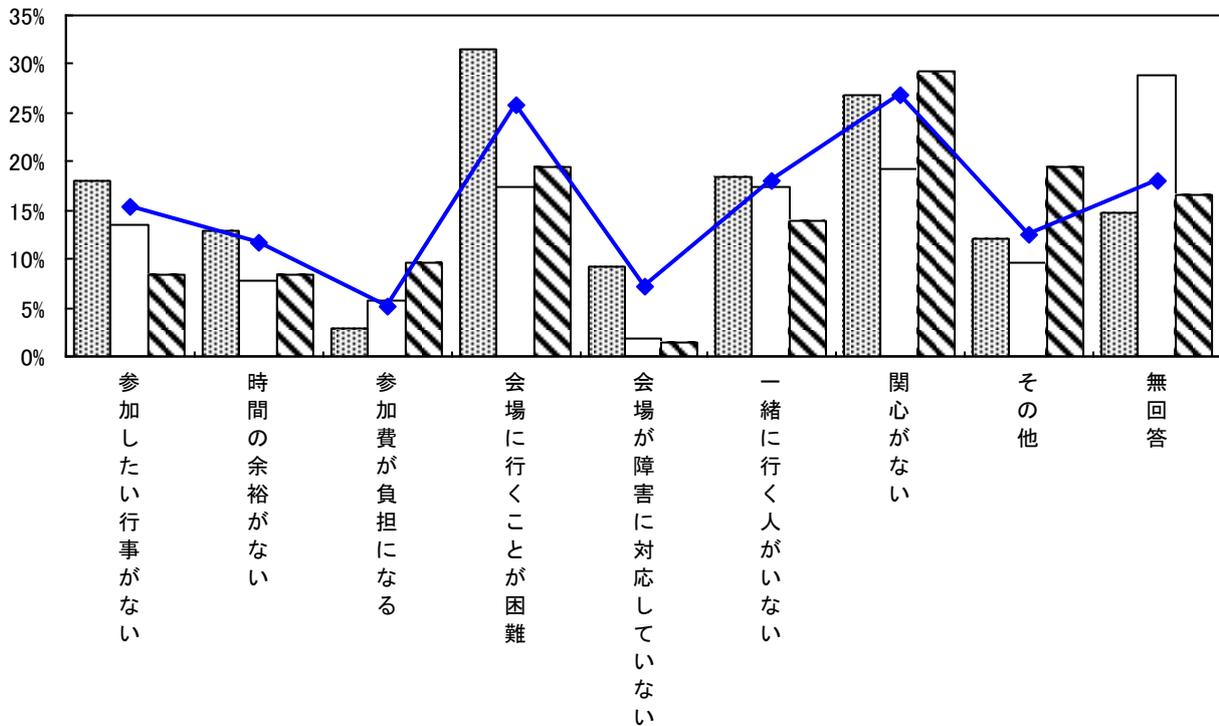


- ・全体では、「参加したいと思わない」が 33.8%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「参加したいと思わない」が 35.0%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「学校・園等の行事」が 33.3%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「参加したいと思わない」が 39.3%と最も多くなっている。

◇参加していない、参加したいと思わない理由（問 29）

問：参加していない、参加したいと思わない方は、なぜですか。（3つまで○印）

	全体	参加したい行事がない	時間の余裕がない	参加費が負担になる	会場に行くことが困難	会場が障害に対応していない	一緒に行く人がいない	関心がない	その他	無回答
合計	318	49	37	16	82	23	57	85	40	57
	100.0	15.4	11.6	5.0	25.8	7.2	17.9	26.7	12.6	17.9
身体障害者	216	39	28	6	68	20	40	58	26	32
	100.0	18.1	13.0	2.8	31.5	9.3	18.5	26.9	12.0	14.8
知的障害者	52	7	4	3	9	1	9	10	5	15
	100.0	13.5	7.7	5.8	17.3	1.9	17.3	19.2	9.6	28.8
精神障害者等	72	6	6	7	14	1	10	21	14	12
	100.0	8.3	8.3	9.7	19.4	1.4	13.9	29.2	19.4	16.7



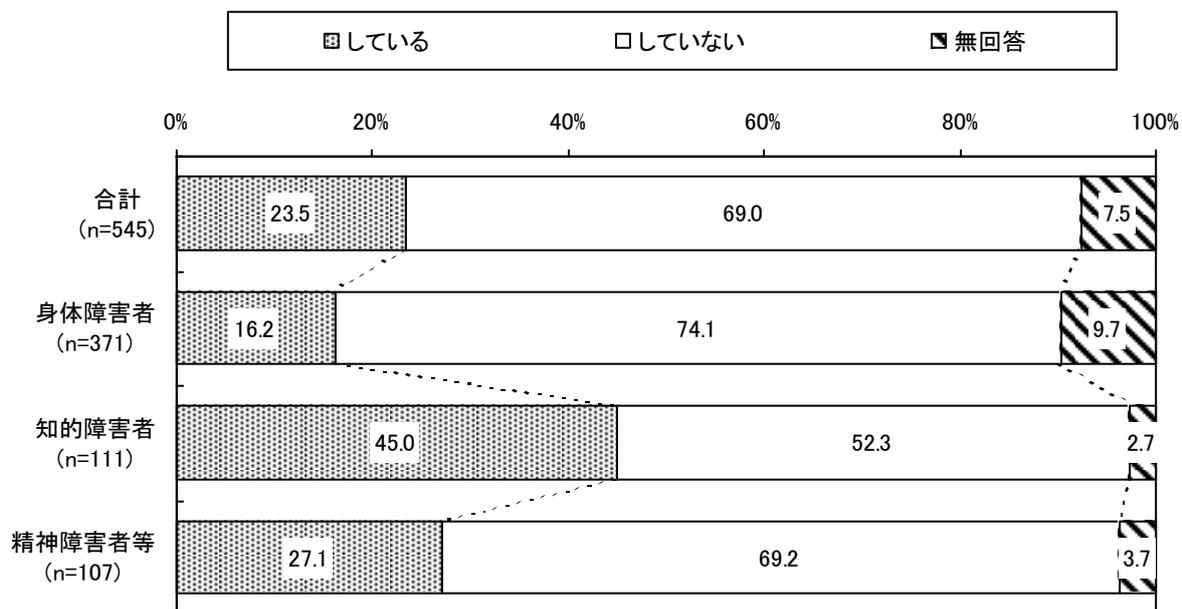
- ・全体では、「関心がない」が26.7%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「会場に行くことが困難」が31.5%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「関心がない」が19.2%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「関心がない」が29.2%と最も多くなっている。

【5 雇用・就業】

◇就労の有無（問 30）

問：あなたは仕事をしていますか。（福祉施設・作業所などでの就労も含む）

	全体	している	していない	無回答
合計	545	128	376	41
	100.0	23.5	69.0	7.5
身体障害者	371	60	275	36
	100.0	16.2	74.1	9.7
知的障害者	111	50	58	3
	100.0	45.0	52.3	2.7
精神障害者等	107	29	74	4
	100.0	27.1	69.2	3.7

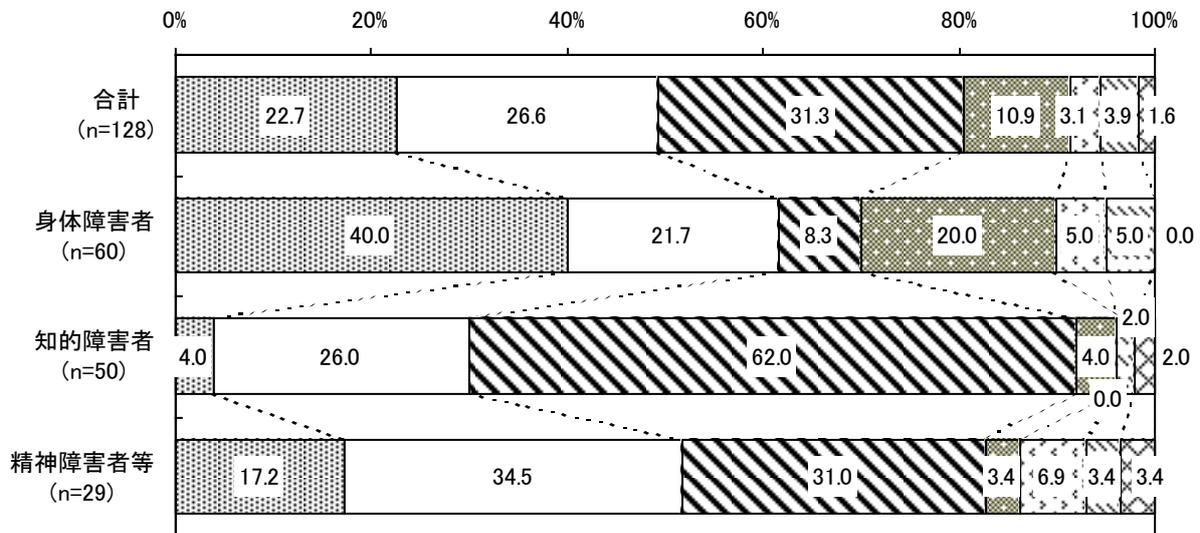
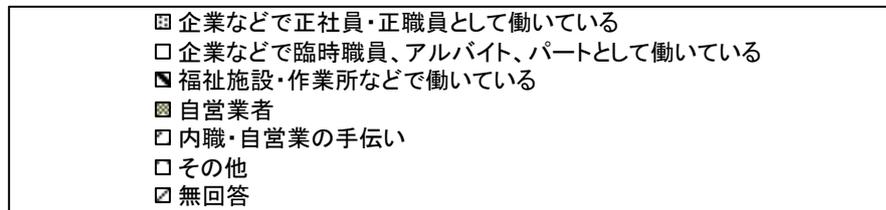


- ・全体では、「していない」が69.0%とほぼ7割を占め、多くなっている。
- ・身体障害者では「していない」が74.1%と多くなっている。
- ・知的障害者でも「していない」が52.3%と多くなっている。
- ・精神障害者等でも「していない」が69.2%と多くなっている。

◇仕事場所（問 31）

問：問 30 で「1.している」と回答した方にお聞きします。どこで働いていますか。

	全体	企業などで正社員・正職員として働いている	企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている	福祉施設・作業所などで働いている	自営業者	内職・自営業の手伝い	その他	無回答
合計	128 100.0	29 22.7	34 26.6	40 31.3	14 10.9	4 3.1	5 3.9	2 1.6
身体障害者	60 100.0	24 40.0	13 21.7	5 8.3	12 20.0	3 5.0	3 5.0	0 0.0
知的障害者	50 100.0	2 4.0	13 26.0	31 62.0	2 4.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0
精神障害者等	29 100.0	5 17.2	10 34.5	9 31.0	1 3.4	2 6.9	1 3.4	1 3.4



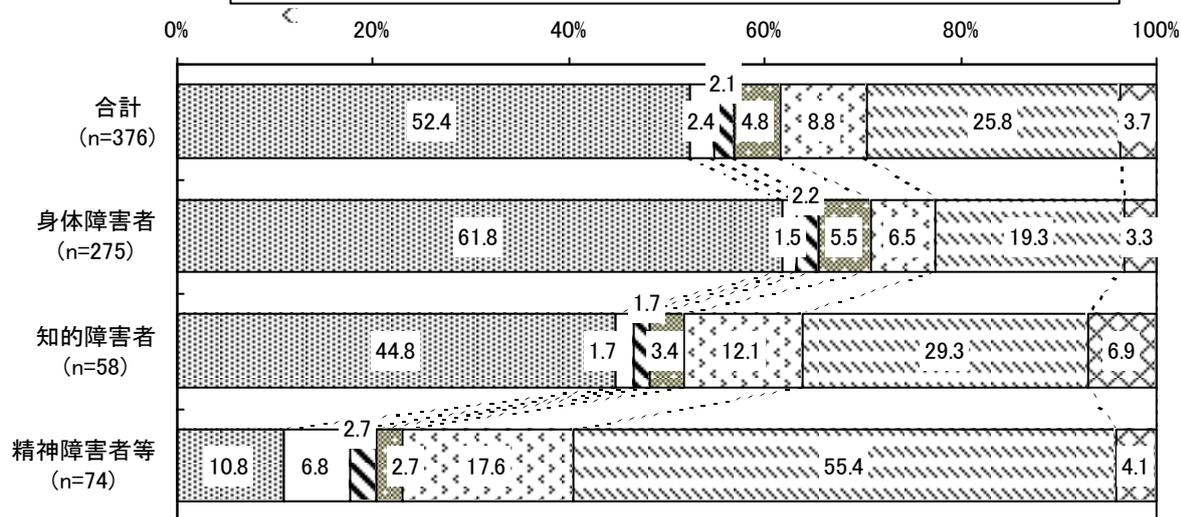
- ・全体では「福祉施設・作業所などで働いている」が最も多く、31.3%となっている。
- ・身体障害者では「企業などで正社員・正職員として働いている」が40.0%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「福祉施設・作業所などで働いている」が62.0%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」が34.5%と最も多くなっている。

◇仕事をしていない主な理由（問 32）

問：問 30 で「2.していない」と回答した方は、主にどのような理由になりますか。

	全体	年齢のため(学生・高齢)	休職中または職業訓練中である	相談先がわからない	仕事をする必要がない	その他	働けない・働きたくない	無回答
合計	376	197	9	8	18	33	97	14
	100.0	52.4	2.4	2.1	4.8	8.8	25.8	3.7
身体障害者	275	170	4	6	15	18	53	9
	100.0	61.8	1.5	2.2	5.5	6.5	19.3	3.3
知的障害者	58	26	1	1	2	7	17	4
	100.0	44.8	1.7	1.7	3.4	12.1	29.3	6.9
精神障害者等	74	8	5	2	2	13	41	3
	100.0	10.8	6.8	2.7	2.7	17.6	55.4	4.1

年齢のため(学生・高齢) 休職中または職業訓練中である
 相談先がわからない 仕事をする必要がない
 その他 働けない・働きたくない

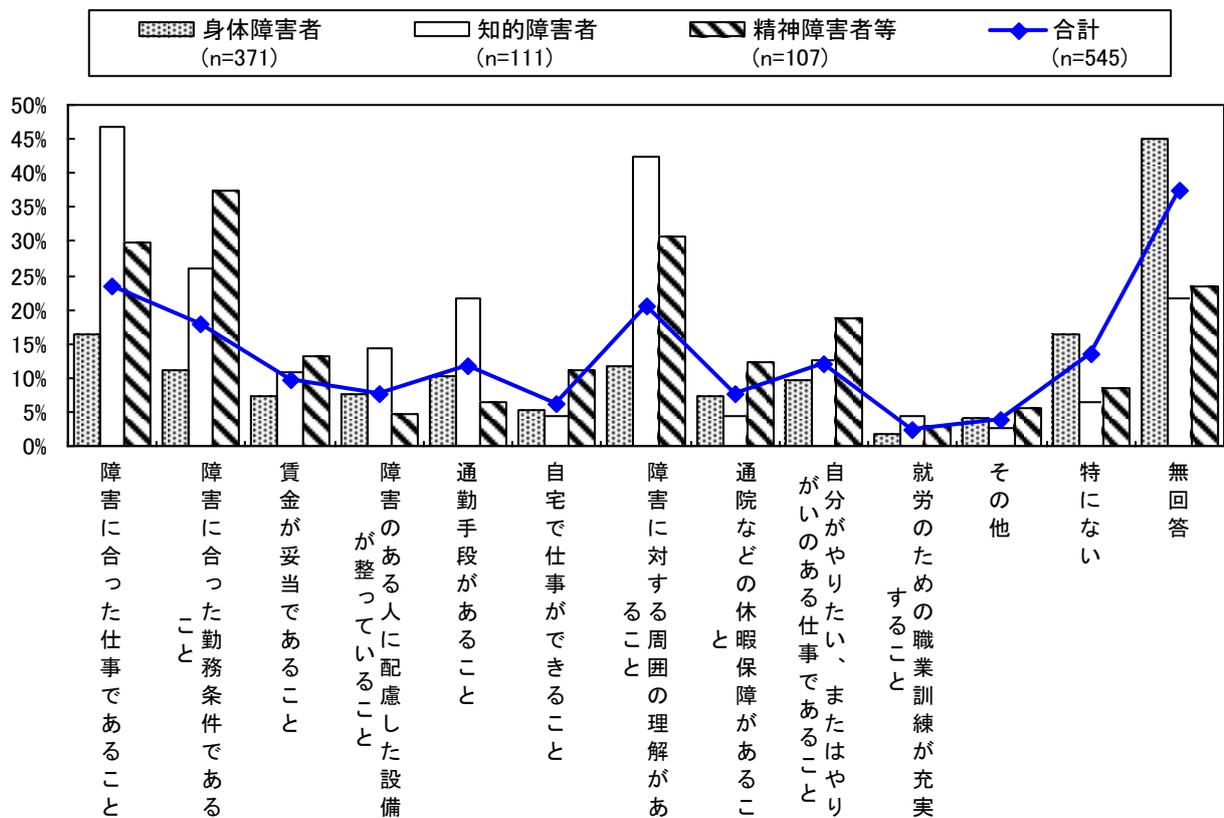


- ・全体では、「年齢のため（学生・高齢）」が 52.4% と過半数を占め、最も多くなっている。
- ・身体障害者では「年齢のため（学生・高齢）」が 61.8% と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「年齢のため（学生・高齢）」が 44.8% と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「働けない・働きたくない」が 55.4% と最も多くなっている。

◇働くうえで必要な条件（問 33）

問：あなたは、働くうえで、どのような条件が必要ですか。（3つまで〇印）

	全体	障害に合った仕事であること	障害に合った勤務条件であること	賃金が妥当であること	障害のある人に配慮した設備が整っていること	通勤手段があること	自宅で仕事ができること	障害に対する周囲の理解があること	通院などの休暇保障があること	自分がやりたい、またはやりがいのある仕事であること	就労のための職業訓練が充実すること	その他	特にない	無回答
合計	545	128	98	53	41	63	34	112	41	66	12	21	74	204
	100.0	23.5	18.0	9.7	7.5	11.6	6.2	20.6	7.5	12.1	2.2	3.9	13.6	37.4
身体障害者	371	61	41	27	28	38	20	43	27	36	6	15	61	167
	100.0	16.4	11.1	7.3	7.5	10.2	5.4	11.6	7.3	9.7	1.6	4.0	16.4	45.0
知的障害者	111	52	29	12	16	24	5	47	5	14	5	3	7	24
	100.0	46.8	26.1	10.8	14.4	21.6	4.5	42.3	4.5	12.6	4.5	2.7	6.3	21.6
精神障害者等	107	32	40	14	5	7	12	33	13	20	3	6	9	25
	100.0	29.9	37.4	13.1	4.7	6.5	11.2	30.8	12.1	18.7	2.8	5.6	8.4	23.4



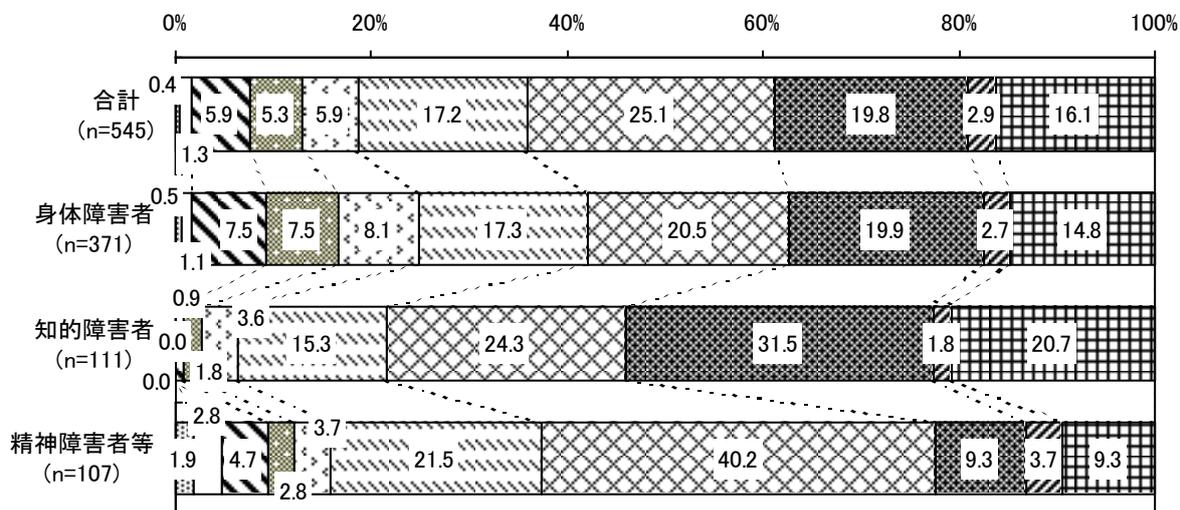
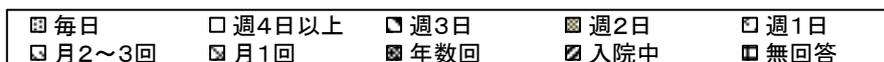
- ・全体では、「障害に合った仕事であること」（23.5%）が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「障害に合った仕事であること」と「特にない」がともに16.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「障害に合った仕事であること」が46.8%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「障害に合った勤務条件であること」が37.4%と最も多くなっている。

【6 保健・医療】

◇現在の通院状況（問 34）

問：あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。

	全体	毎日	週4日 以上	週3日	週2日	週1日	月2～3 回	月1回	年数回	入院中	無回答
合計	545	2	7	32	29	32	94	137	108	16	88
	100.0	0.4	1.3	5.9	5.3	5.9	17.2	25.1	19.8	2.9	16.1
身体障害者	371	2	4	28	28	30	64	76	74	10	55
	100.0	0.5	1.1	7.5	7.5	8.1	17.3	20.5	19.9	2.7	14.8
知的障害者	111	0	0	1	2	4	17	27	35	2	23
	100.0	0.0	0.0	0.9	1.8	3.6	15.3	24.3	31.5	1.8	20.7
精神障害者等	107	2	3	5	3	4	23	43	10	4	10
	100.0	1.9	2.8	4.7	2.8	3.7	21.5	40.2	9.3	3.7	9.3

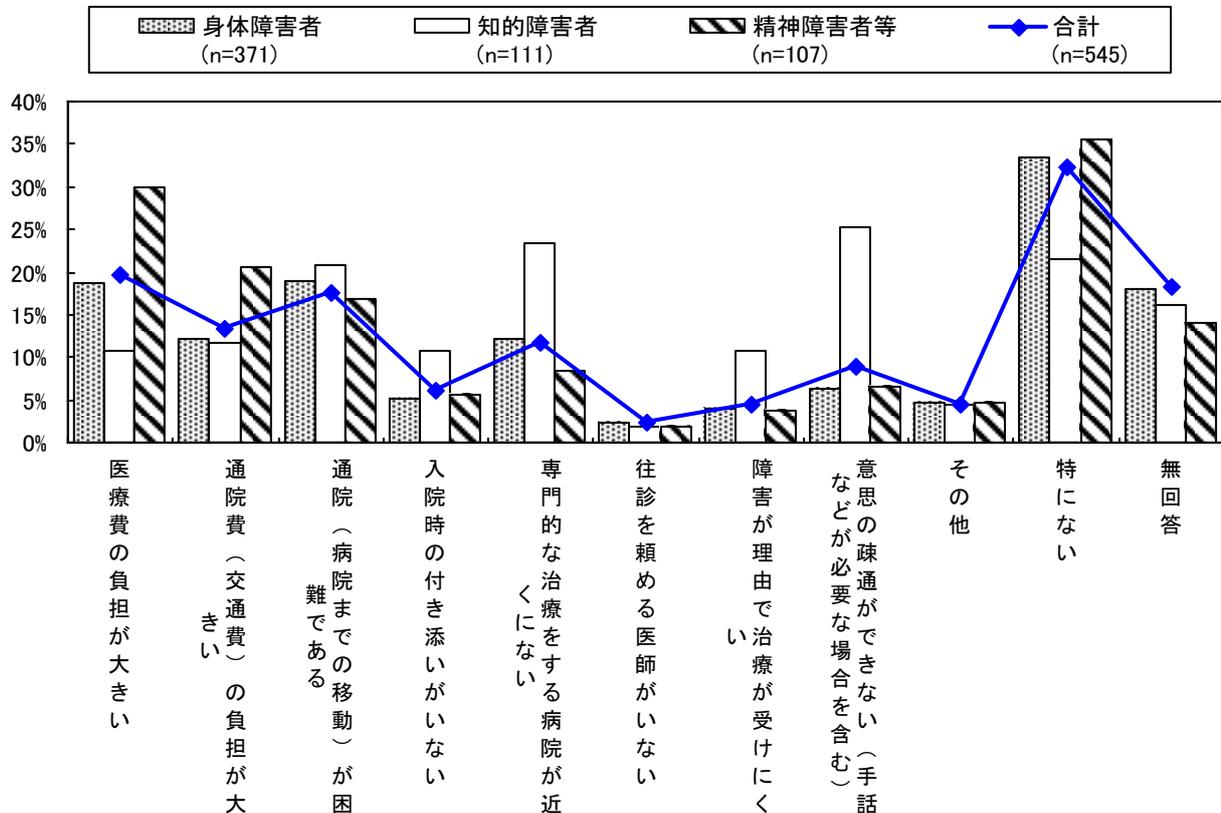


- ・全体では、「月1回」(25.1%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「月1回」が20.5%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「年数回」が31.5%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「月1回」が40.2%と最も多くなっている。

◇医療を受けるうえで困っていること（問 35）

問：医療を受けるうえで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	医療費の負担が大きい	通院費（交通費）の負担が大きい	通院（病院までの移動）が困難である	入院時の付き添いがいない	専門的な治療をする病院が近くにない	往診を頼める医師がいない	障害が理由で治療が受けにくい	意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）	その他	特にない	無回答
合計	545	107	73	96	33	64	13	24	48	24	176	99
	100.0	19.6	13.4	17.6	6.1	11.7	2.4	4.4	8.8	4.4	32.3	18.2
身体障害者	371	69	45	70	19	45	9	15	23	17	124	67
	100.0	18.6	12.1	18.9	5.1	12.1	2.4	4.0	6.2	4.6	33.4	18.1
知的障害者	111	12	13	23	12	26	2	12	28	5	24	18
	100.0	10.8	11.7	20.7	10.8	23.4	1.8	10.8	25.2	4.5	21.6	16.2
精神障害者等	107	32	22	18	6	9	2	4	7	5	38	15
	100.0	29.9	20.6	16.8	5.6	8.4	1.9	3.7	6.5	4.7	35.5	14.0



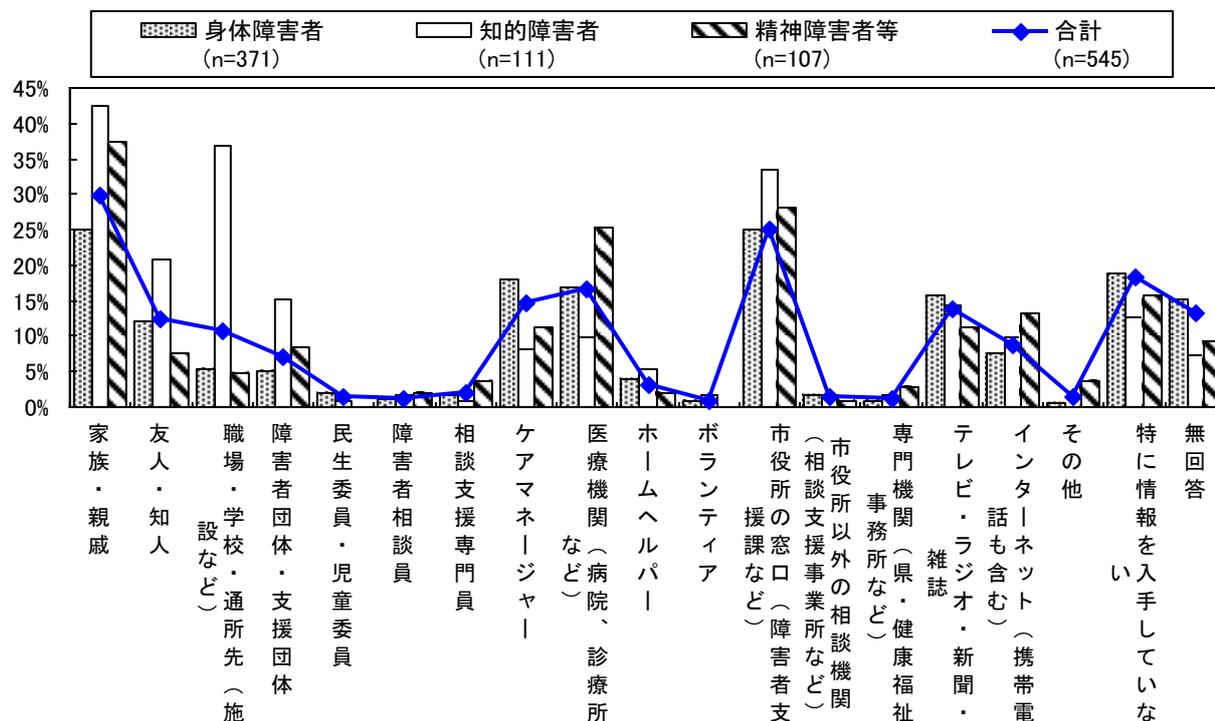
- ・全体では、「特にない」(32.3%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「特にない」が33.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）」が25.2%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「特にない」が35.5%と最も多くなっている。

【7 情報・コミュニケーション】

◇福祉サービス情報の入手元（問 36）

問：あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	家族・親戚	友人・知人	職場・学校・通所先(施設など)	障害者団体・支援団体	民生委員・児童委員	障害者相談員	相談支援専門員	ケアマネジャー	医療機関(病院、診療所など)	ホームヘルパー	ボランティア
合計	545	163	68	58	39	8	6	10	80	90	17	4
	100.0	29.9	12.5	10.6	7.2	1.5	1.1	1.8	14.7	16.5	3.1	0.7
身体障害者	371	93	45	20	19	7	4	6	67	63	15	3
	100.0	25.1	12.1	5.4	5.1	1.9	1.1	1.6	18.1	17.0	4.0	0.8
知的障害者	111	47	23	41	17	1	2	1	9	11	6	2
	100.0	42.3	20.7	36.9	15.3	0.9	1.8	0.9	8.1	9.9	5.4	1.8
精神障害者等	107	40	8	5	9	0	2	4	12	27	2	0
	100.0	37.4	7.5	4.7	8.4	0.0	1.9	3.7	11.2	25.2	1.9	0.0
	全体	市役所の窓口(障害者支援課など)	市役所以外の相談機関(相談支援事業所など)	専門機関(県・健康福祉事務所など)	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	インターネット(携帯電話も含む)	その他	特に情報を入手していない	無回答			
合計	545	136	7	6	75	47	7	100	72			
	100.0	25.0	1.3	1.1	13.8	8.6	1.3	18.3	13.2			
身体障害者	371	93	6	3	58	28	2	70	56			
	100.0	25.1	1.6	0.8	15.6	7.5	0.5	18.9	15.1			
知的障害者	111	37	2	2	16	11	0	14	8			
	100.0	33.3	1.8	1.8	14.4	9.9	0.0	12.6	7.2			
精神障害者等	107	30	1	3	12	14	4	17	10			
	100.0	28.0	0.9	2.8	11.2	13.1	3.7	15.9	9.3			

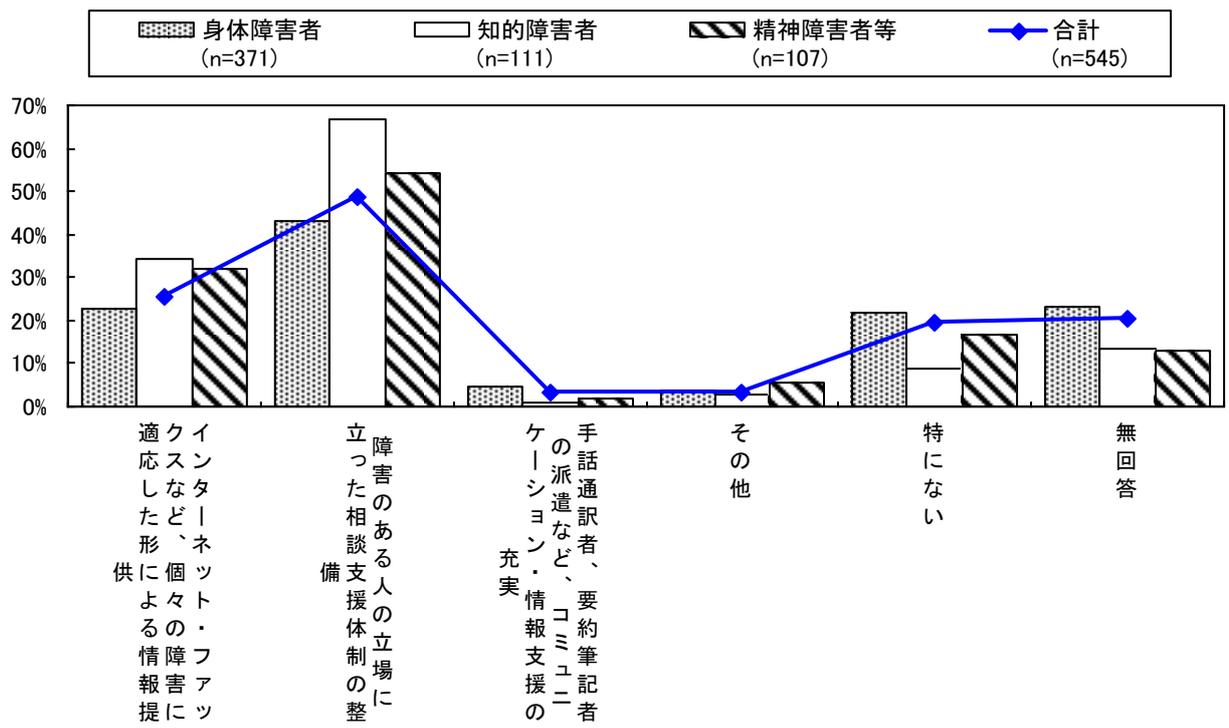


- ・全体では、「家族・親戚」(29.9%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「家族・親戚」と「市役所の窓口(障害者支援課など)」がともに25.1%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「家族・親戚」が42.3%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「家族・親戚」が37.4%と最も多くなっている。

◇障害のある人の情報収集・コミュニケーションに必要なこと（問 37）

問：あなたは、障害のある人の情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで〇印）

	全体	インターネット・ファックスなど、個々の障害に適應した形による情報提供	障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備	手話通訳者、要約筆記者の派遣など、コミュニケーション・情報支援の充実	その他	特にな	無回答
合計	545 100.0	139 25.5	266 48.8	18 3.3	18 3.3	106 19.4	110 20.2
身体障害者	371 100.0	85 22.9	160 43.1	18 4.9	13 3.5	81 21.8	86 23.2
知的障害者	111 100.0	38 34.2	74 66.7	1 0.9	3 2.7	10 9.0	15 13.5
精神障害者等	107 100.0	34 31.8	58 54.2	2 1.9	6 5.6	18 16.8	14 13.1



- ・全体では、「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」(48.8%) が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が 43.1%と最も多くなっている。
- ・知的障害者でも「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が 66.7%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が 54.2%と最も多くなっている。

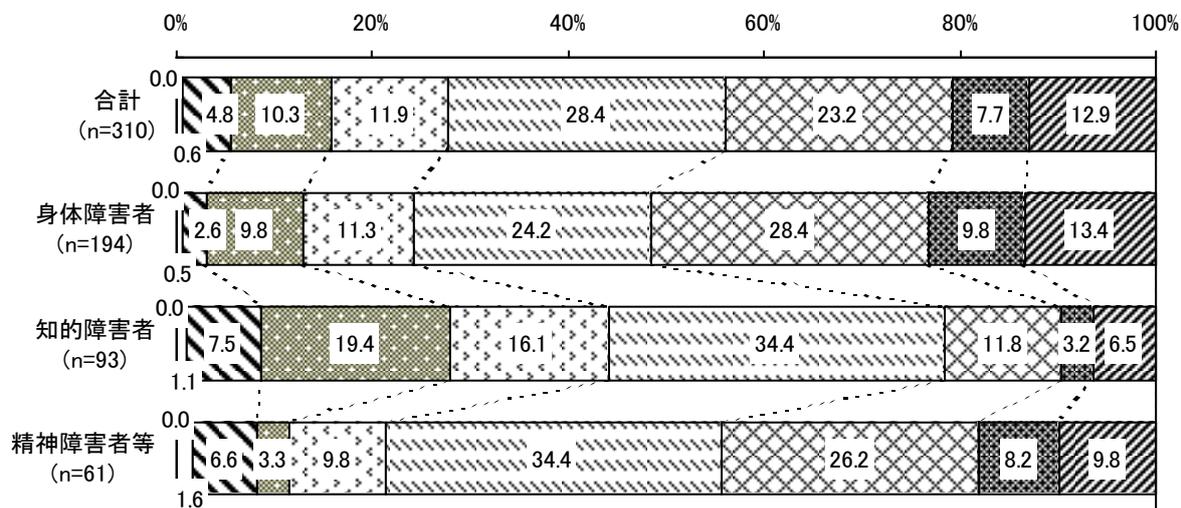
【8 介助者の状況】

◇介助者の年齢（問38）

問：あなたの介助者の年齢は、何歳ですか。

	全体	20歳未満	20～30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～70歳未満	70～80歳未満	80歳以上	無回答	平均値(歳)
合計	310	0	2	15	32	37	88	72	24	40	62.7
	100.0	0.0	0.6	4.8	10.3	11.9	28.4	23.2	7.7	12.9	
身体障害者	194	0	1	5	19	22	47	55	19	26	64.5
	100.0	0.0	0.5	2.6	9.8	11.3	24.2	28.4	9.8	13.4	
知的障害者	93	0	1	7	18	15	32	11	3	6	57.3
	100.0	0.0	1.1	7.5	19.4	16.1	34.4	11.8	3.2	6.5	
精神障害者等	61	0	1	4	2	6	21	16	5	6	64.1
	100.0	0.0	1.6	6.6	3.3	9.8	34.4	26.2	8.2	9.8	

20歳未満
 20～30歳未満
 30～40歳未満
 40～50歳未満
 50～60歳未満
 60～70歳未満
 70～80歳未満
 80歳以上
 無回答



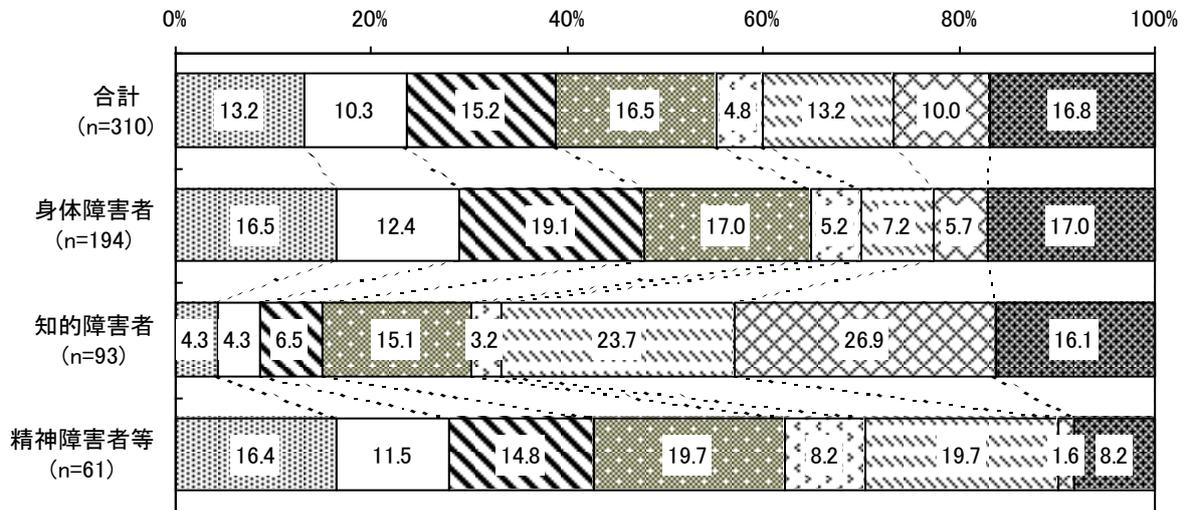
- ・全体では、「60～70歳未満」(28.4%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「70～80歳未満」が28.4%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「60～70歳未満」が34.4%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「60～70歳未満」が34.4%と最も多くなっている。

◇介助期間（問 39）

問：あなたの介助者は、あなたの介助を始めてどれくらいですか。

	全体	3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答	平均値(年)
合計	310	41	32	47	51	15	41	31	52	13.5
	100.0	13.2	10.3	15.2	16.5	4.8	13.2	10.0	16.8	
身体障害者	194	32	24	37	33	10	14	11	33	10.0
	100.0	16.5	12.4	19.1	17.0	5.2	7.2	5.7	17.0	
知的障害者	93	4	4	6	14	3	22	25	15	23.1
	100.0	4.3	4.3	6.5	15.1	3.2	23.7	26.9	16.1	
精神障害者等	61	10	7	9	12	5	12	1	5	11.4
	100.0	16.4	11.5	14.8	19.7	8.2	19.7	1.6	8.2	

■ 3年未満	□ 3～5年未満	■ 5～10年未満	■ 10～15年未満
□ 15～20年未満	□ 20～30年未満	□ 30年以上	■ 無回答

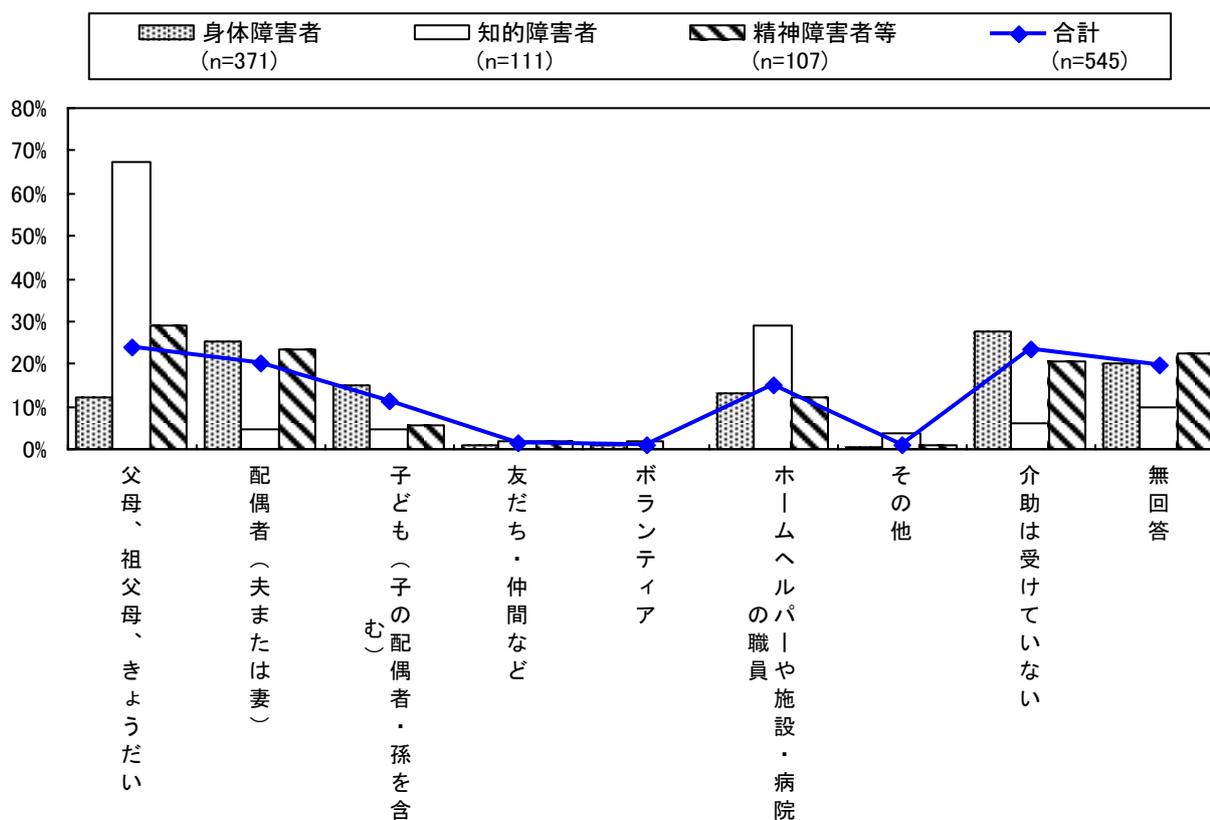


- ・ 全体では、「10～15年未満」（16.5%）が最も多くなっている。
- ・ 身体障害者では「5～10年未満」が19.1%と最も多くなっている。
- ・ 知的障害者では「30年以上」が26.9%と最も多くなっている。
- ・ 精神障害者等では「10～15年未満」と「20～30年未満」がともに19.7%と最も多くなっている。

◇普段の介助者（問40）

問：普段、あなたを介助しているのは、どなたですか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	父母、祖父母、きょうだい	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	友だち・仲間など	ボランティア	ホームヘルパーや施設・病院の職員	その他	介助は受けていない	無回答
合計	545	129	109	62	7	4	81	6	127	108
	100.0	23.7	20.0	11.4	1.3	0.7	14.9	1.1	23.3	19.8
身体障害者	371	45	93	56	3	4	49	2	102	75
	100.0	12.1	25.1	15.1	0.8	1.1	13.2	0.5	27.5	20.2
知的障害者	111	75	5	5	2	2	32	4	7	11
	100.0	67.6	4.5	4.5	1.8	1.8	28.8	3.6	6.3	9.9
精神障害者等	107	31	25	6	2	0	13	1	22	24
	100.0	29.0	23.4	5.6	1.9	0.0	12.1	0.9	20.6	22.4

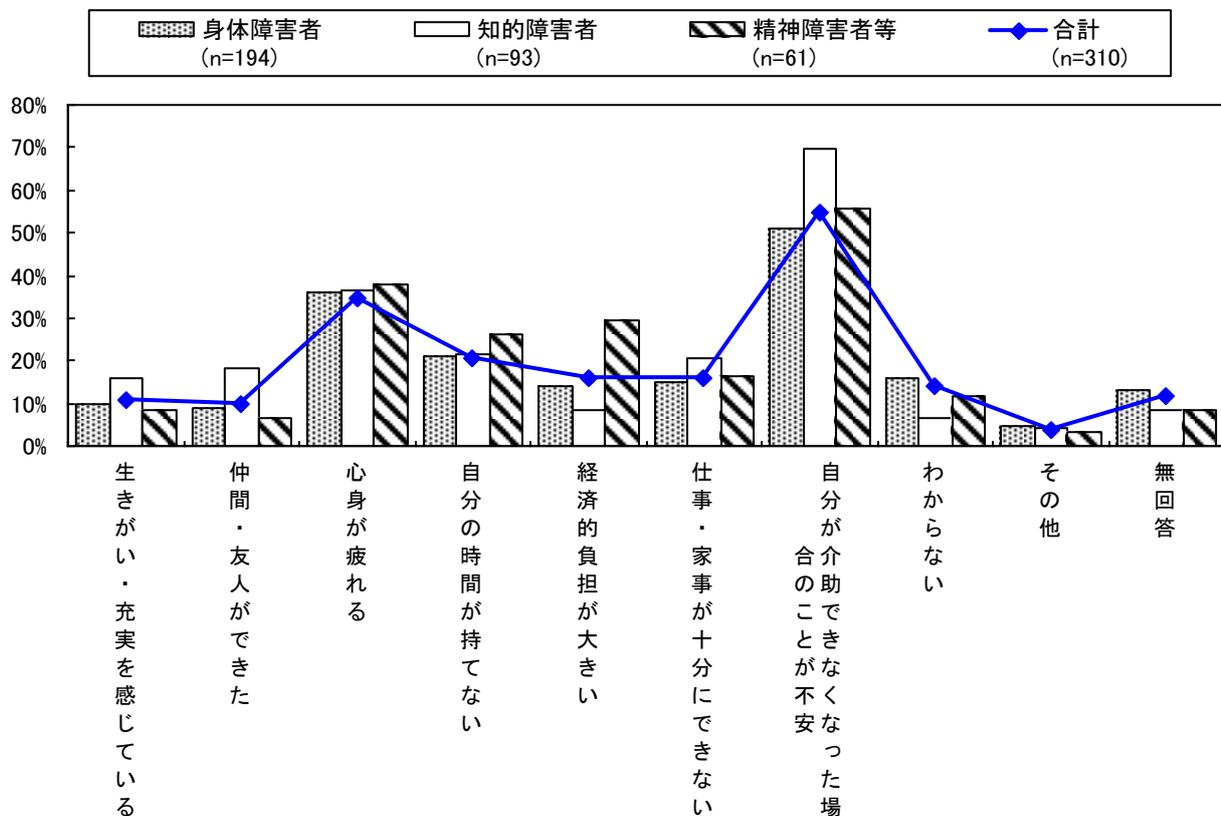


- ・全体では、「父母、祖父母、きょうだい」が23.7%と最も多くなっている。
- ・身体障害者では「介助は受けていない」が27.5%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「父母、祖父母、きょうだい」が67.6%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等でも「父母、祖父母、きょうだい」が29.0%と最も多くなっている。

◇介助者が介助について感じていること（問 41）

問：あなたの介助者は、介助についてどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○印）

	全体	生きがい・充実を感じている	仲間・友人ができた	心身が疲れる	自分の時間が持てない	経済的負担が大きい	仕事・家事が十分にできない	自分が介助できなくなった場合のことが不安	わからない	その他	無回答
合計	310 100.0	33 10.6	30 9.7	108 34.8	64 20.6	50 16.1	49 15.8	170 54.8	43 13.9	12 3.9	36 11.6
身体障害者	194 100.0	19 9.8	17 8.8	70 36.1	41 21.1	27 13.9	29 14.9	99 51.0	31 16.0	9 4.6	25 12.9
知的障害者	93 100.0	15 16.1	17 18.3	34 36.6	20 21.5	8 8.6	19 20.4	65 69.9	6 6.5	4 4.3	8 8.6
精神障害者等	61 100.0	5 8.2	4 6.6	23 37.7	16 26.2	18 29.5	10 16.4	34 55.7	7 11.5	2 3.3	5 8.2

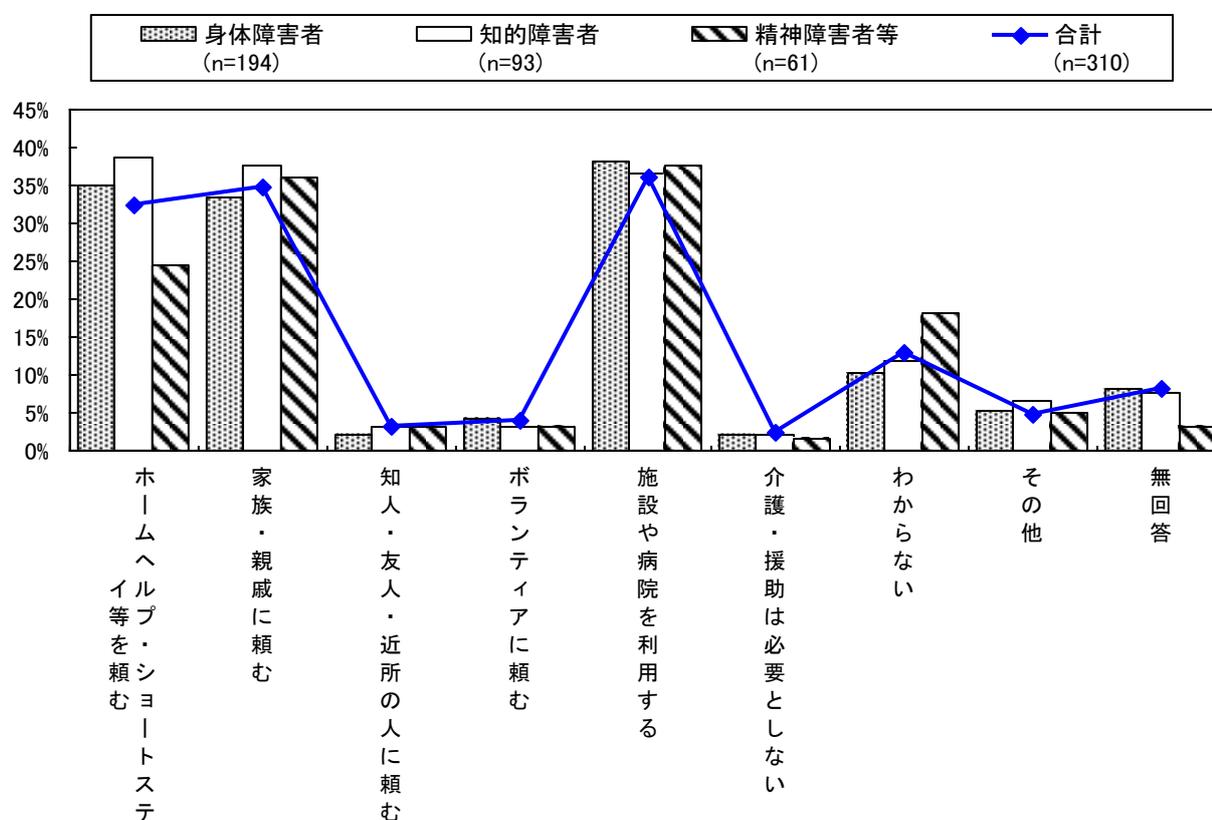


- ・全体では、「自分が介助できなくなった場合のことが不安」が54.8%と最も多くなっている。
- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者等のいずれでも「自分が介助できなくなった場合のことが不安」（順に51.0%、69.9%、55.7%）が最も多くなっている。

◇一時的に介助できなくなった場合の希望 (問 42)

問：あなたの介助者が、一時的にあなたの介助をできなくなった場合、どのようにしたいですか。(2つまで○印)

	全体	ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む	家族・親戚に頼む	知人・友人・近所の人に頼む	ボランティアに頼む	施設や病院を利用する	介護・援助は必要としない	わからない	その他	無回答
合計	310	100	108	10	12	112	7	40	15	25
	100.0	32.3	34.8	3.2	3.9	36.1	2.3	12.9	4.8	8.1
身体障害者	194	68	65	4	8	74	4	20	10	16
	100.0	35.1	33.5	2.1	4.1	38.1	2.1	10.3	5.2	8.2
知的障害者	93	36	35	3	3	34	2	11	6	7
	100.0	38.7	37.6	3.2	3.2	36.6	2.2	11.8	6.5	7.5
精神障害者等	61	15	22	2	2	23	1	11	3	2
	100.0	24.6	36.1	3.3	3.3	37.7	1.6	18.0	4.9	3.3



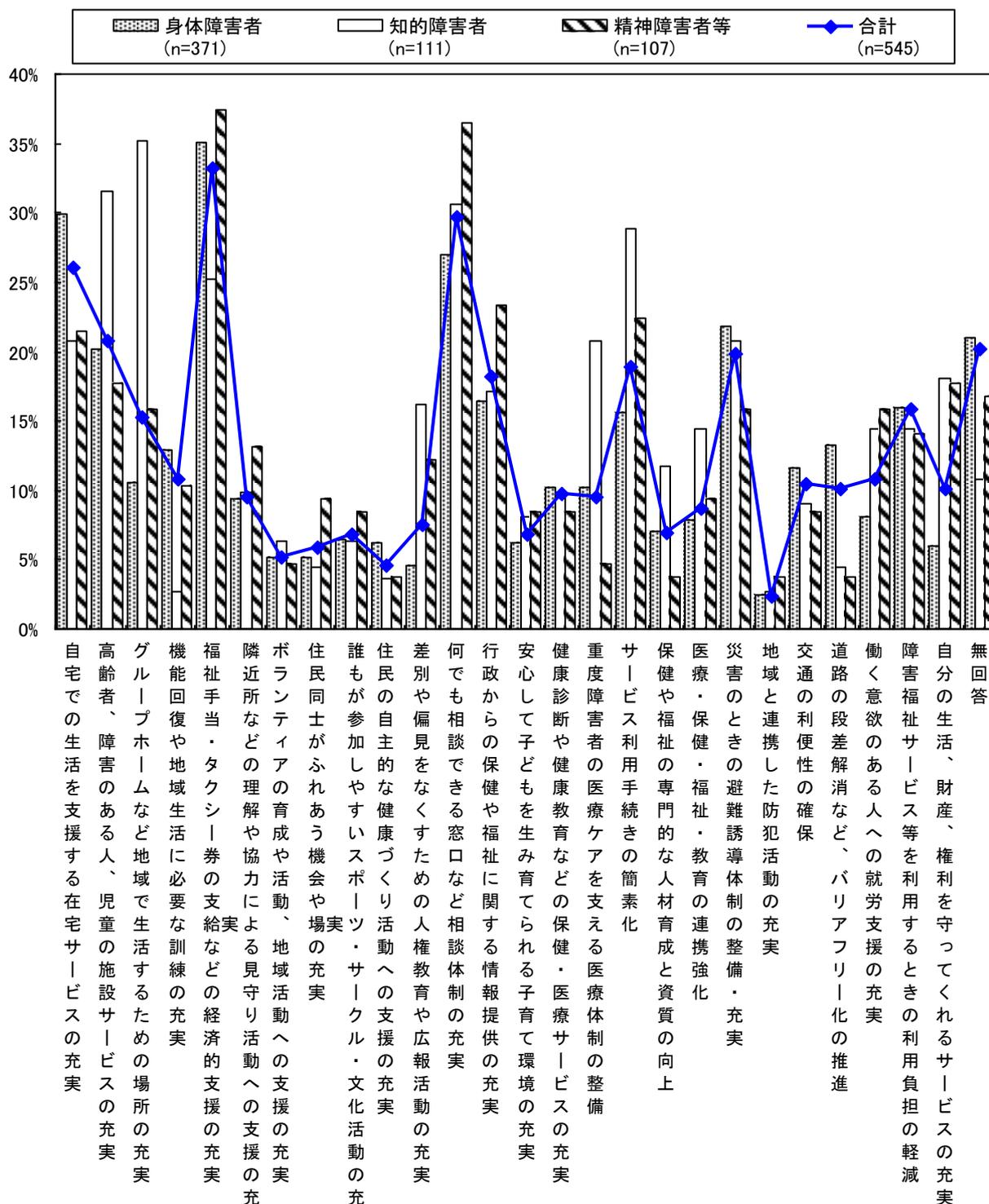
- ・全体では、「施設や病院を利用する」(36.1%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「施設や病院を利用する」が38.1%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む」が38.7%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「施設や病院を利用する」が37.7%と最も多くなっている。

【9 今後の施策の重要度】

◇重要と思う福祉施策（問43）

問：流山市の福祉施策について、あなたが重要と思う施策はどれですか。以下の項目から、あなたが重要と思うものに5つまで○印をつけてください。

	全体	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実	グループホームなど地域で生活するための場所の充実	機能回復や地域生活に必要な訓練の充実	福祉手当・タクシー券などの支給などの経済的支援の充実	隣近所などの理解や協力による見守り活動への支援の充実	ボランティアの育成や活動、地域活動への支援の充実	住民同士がふれあう機会や場の充実	誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	住民の自主的な健康づくり活動への支援の充実	差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実
合計	545 100.0	142 26.1	113 20.7	83 15.2	59 10.8	181 33.2	52 9.5	28 5.1	32 5.9	37 6.8	25 4.6	41 7.5
身体障害者	371 100.0	111 29.9	75 20.2	39 10.5	48 12.9	130 35.0	35 9.4	19 5.1	19 5.1	24 6.5	23 6.2	17 4.6
知的障害者	111 100.0	23 20.7	35 31.5	39 35.1	3 2.7	28 25.2	11 9.9	7 6.3	5 4.5	7 6.3	4 3.6	18 16.2
精神障害者等	107 100.0	23 21.5	19 17.8	17 15.9	11 10.3	40 37.4	14 13.1	5 4.7	10 9.3	9 8.4	4 3.7	13 12.1
	全体	何でも相談できる窓口など相談体制の充実	行政からの保健や福祉に関する情報提供の充実	安心して子どもを生育てられる子育て環境の充実	健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実	重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備	サービス利用手続きの簡素化	保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上	医療・保健・福祉・教育の連携強化	災害のときの避難誘導体制の整備・充実	地域と連携した防犯活動の充実	交通の利便性の確保
合計	545 100.0	162 29.7	99 18.2	37 6.8	53 9.7	52 9.5	103 18.9	38 7.0	47 8.6	108 19.8	13 2.4	57 10.5
身体障害者	371 100.0	100 27.0	61 16.4	23 6.2	38 10.2	38 10.2	58 15.6	26 7.0	29 7.8	81 21.8	9 2.4	43 11.6
知的障害者	111 100.0	34 30.6	19 17.1	9 8.1	11 9.9	23 20.7	32 28.8	13 11.7	16 14.4	23 20.7	3 2.7	10 9.0
精神障害者等	107 100.0	39 36.4	25 23.4	9 8.4	9 8.4	5 4.7	24 22.4	4 3.7	10 9.3	17 15.9	4 3.7	9 8.4
	全体	道路の段差解消など、バリアフリー化の推進	働く意欲のある人への就労支援の充実	障害福祉サービス等を利用するときの利用負担の軽減	自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実	無回答						
合計	545 100.0	55 10.1	59 10.8	86 15.8	55 10.1	110 20.2						
身体障害者	371 100.0	49 13.2	30 8.1	59 15.9	22 5.9	78 21.0						
知的障害者	111 100.0	5 4.5	16 14.4	16 14.4	20 18.0	12 10.8						
精神障害者等	107 100.0	4 3.7	17 15.9	15 14.0	19 17.8	18 16.8						



- ・全体では、「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」(33.2%)が最も多くなっている。
- ・身体障害者では「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」が35.0%と最も多くなっている。
- ・知的障害者では「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」が35.1%と最も多くなっている。
- ・精神障害者等では「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」が37.4%と最も多くなっている。

【10 自由意見】

◇障害者（児）施策全般への意見・要望（問 44）

問：障害者（児）施策全般について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

注1：以下の内容は、明らかな誤字・脱字等と思われる箇所を修正したこと以外は、基本的に、上記自由記入式質問への回答内容をそのまま再現してあります。

注2：各意見等直後の（ ）内は、順に（障害種別・年齢）を表記しています。

< 1 生活支援 >

- ・今後の問題としてもっと多くのホームヘルパーを増やしてほしいと思います。（身体・知的障害者・78歳）
- ・障害者のための福祉手当の増額、生活支援として充実の為。（身体・知的障害者・62歳）
- ・親亡き後の生活の場の充実をお願いしたいです。（知的障害者・27歳）
- ・障害者本人が記入できませんので代わりに親が記入しました。障害者がちゃんとした生活を送っていただけるようになってもらいたいと思います。（知的障害者・37歳）
- ・障害者が地域で生活が出来るようになるには、見守りと困った時すぐ対応してもらえるサービスが不可欠だと思います。重複障害者の場合は個々の障害ではなく、全体から見て判断してほしいと思います（無理な事ですが手帳を一冊にまとめる等）（身体障害者・42歳）
- ・今のところ私自身の生活全体に不自由はありませんので特別な希望はありませんが、皆年を取っていくのですから障害者を常にこれからも見守って頂きたいです。（障害種別・年齢不明）
- ・ご両親が逝去され、年3回ある「帰省」で、本人が希望される帰宅ができない環境にあり、一時帰宅中は本学園で過ごされています。ただ、年に数度義理の兄の協力の下、一時帰宅（日帰り）や面会日に来園され、親族のつき合いを繋ぎ止めてくれています。施設入所、生活介護を受けており、帰宅時の移動支援等活用が出来ず帰宅支援の幅を広げていくことができません。このようなケースが、入所系の施設ではどんどん増えて「帰省時」の支援の課題が大きくなっている現状です。（知的障害者・60歳）

< 2 外出・移動支援 >

- ・今は家族がいるので家族にみてもらっているが、家族がダメな時は一人では外出できずどこに頼めばいいのかもわかりません。どこに頼めばいいのか分かればいいと思う。すぐ助けてもらえるかもわかりません。（身体障害者・84歳）
- ・東葛病院に通院しておりますが、（自宅は）名都借です。病院には送迎バスが沢山ありますが、松ヶ丘、名都借方面がありません。行政からの要望を出してお話をさせて頂ければ有難いのですが、今のところは長男、長女が送ってくれておりますが、そう長くは続きません。車がない時は市内巡回バスで南柏駅迄行き電車にて新松戸駅下車、病院の送迎バスで行くことが幾度かありますが、丁度通勤者と一緒で大変です。転院を考えなければなりませんのでどうぞ一考をお願い致します。（身体障害者・84歳）
- ・障害者本人は肢体不自由児ですが、肢体不自由児受け入れのデイサービスの数は少なく、選べる（内容により）という域に達しておりません。移動介護など知的障害に比べ料金も割高で、利用できたら

良いなあ…と思いつつも思い切って利用という感じで利用しにくい現状です。(身体・知的障害者・14歳)

- ・社会性を確保して一人で外出できるようにしたいです。(精神障害者等・36歳)

< 3 社会参加・地域参加 >

- ・現在は勤め先もあり、身体もまあ動き、普通の生活をしているが、仕事を辞め定期的な外出の機会がなくなると自宅に引きこもり外に出る気力も失せるような気がして、今の内に地域や行政との窓口をつくりたいのですが、チャンスが無く、不安です。(身体障害者・65歳)
- ・各家庭、温度差があるとは思いますが、知らないことは知らないままになってしまうことが多いです。「手をつなぐ会」ではありませんが、障害週間などにタウンミーティングのような会合があれば近隣で知恵や手助けの機会もあるかと思えます。また、これとは別に、“協力隊”のような、少しでも市役所に近い位置で現場を伝えられる形があれば、自分はぜひ参加させていただきたいです。いろいろと高齢化も進み、障害のある方も増えているので、たくさんの仕事を市役所の方が負われるとは思いますが、どこぞのドラマのように「事件は現場で起きている」と思えます。改めて、市役所の門を叩くのは勇気がいることなので、ぜひ協力隊で少しでも間口を広げていただき、声を生かさせていただいたり知恵を出しあえたらと願っています。よろしくお願ひします。(知的障害者・14歳)
- ・福祉行政の事をもっと勉強して私も障害者ですが、協力できるようにしていきたいです。よろしくお願ひします。(身体障害者・64歳)

< 4 雇用・就業 >

- ・日中過ごせる場所、在宅でできる仕事の紹介があればありがたいです。行き場所がないので、どうしても閉じこもってしまうため。体調に波があり(どうしても…)、迷惑をかけてしまうのではと、どこかに雇用されての就労に二の足を踏むので。(精神障害者等・33歳)
- ・賃金が低く、年金がカットされたら生活していけない。(精神障害者等・31歳)
- ・働く意欲はとともあるが、障害を理解して雇ってくれる企業に出会えません。民間企業だけでなく、行政(市役所)でも積極的に受入体制を整えてほしい。たくさんの場所で。(精神障害者等・46歳)
- ・障害者でも同じように習い事もさせてあげたいですし、同じように将来は就職してほしいです(支援のある職場ではなく一般企業に)。その為の支援もしてほしいです。(身体障害者・3歳)
- ・学校卒業後の進路も「まほろば」以外選択肢がありません(まほろばでよいのですが、その他が何も無い)。まほろばも定員いっぱいとなった時にはどうしたら良いか分かりません。市は障害児、者の数を把握しているのですから早めに施設増など考えてくださいね。親から要望が出てやっと動き出すなどという時代遅れの動きなどなさないように、介護者は普通の生活だけで手一杯ですよ。(身体・知的障害者・14歳)
- ・現在働いている仕事場の本社と障害者とのつながりが全くありません。仕事場での社員もどのように対応して良いか分からないのかも知れません。本社から障害者と仕事場社員との間に入ってくれる専門の方が欲しいです。この意見は本社に求める意見だと思いますが、読んでくれるだけでありがたいです。また、仕事での休憩時に静かに過ごせる場所が欲しいです。(精神障害者等・38歳)
- ・内部障害者の場合、就業相談はハローワークで仕事を探すしかないのが現実です。その場合、障害者雇用はフルタイムのものしかありません。内部障害者にとり、フルタイムの仕事はハードです(私の場合、年齢的にも…)。内部障害の者にも市で仕事の相談と仕事場所の確保をして下されば本当に助かります。(身体障害者・41歳)

-
- ・重度重複障害のある子供の卒業後の進路として、通所施設を増やして欲しい。又は、「コスモス」の定員を増やしてほしい。(身体・知的障害者・11歳)
 - ・親からの自由意見です。息子は特別支援学校高等部を卒業して8年になり、卒業と同時に就職した会社に勤めています。身分は雇員で時給制です。将来について、会社の業績悪化では一番にリストラ対象、事業所の移転がある場合は通勤ができなくなり、辞めなくてはならない等不安がいっぱいあります。(知的障害者・26歳)
 - ・福祉作業所や施設で働いていらっしゃる方々のお給料を上げて頂きたいです。肉体的にも精神的にも厳しいお仕事であるにもかかわらず、現状では家族を養うには十分とは言えず、熱意はありながらも職場を離れる方が多く、大変残念に思っています。福祉事業を充実させるためにそこに関わる人達の生活をきちんと保証して頂きます様、強く要望いたします。(知的障害者・25歳)
 - ・障害者が社会の中で働く場は極端に少なく、悪意のある雇用主の補助金めあてがほとんどである。(身体・知的障害者・49歳)
 - ・就労先の不足が不安です。(知的障害者・15歳)
 - ・両親がいなくなったら生きていけるのか不安です。経済面の不安や家事、生活保護を受けるかもしれないと考えています。どんな形でもいいので生きていきたいです。仕事に就きたいです。努力して生きていきたいです。(身体・知的障害者・31歳)

< 5 保健・医療 >

- ・当地域の自治会館は狭くてこれから老人が増えます。是非、市のコミュニティで検討して高齢者の健康管理の為に沢山の人が体を動かす場所として確保してほしい。健康管理を自治会で支援すれば医療費も減ってくることでしょう。是非支援をお願いします。高齢者同士助け合ってがんばりたいと思います。西初石五丁目〇△自治会内(70才)(身体・精神障害者・70歳)
- ・重度障害者医療費半額還付制度は続行してください。手続きはすべて出張所等で可能にしてください、市役所まで行くのが不便なので。(精神障害者等・53歳)
- ・成人のIgA腎症も難病認定して欲しい。(精神障害者等・32歳)
- ・障害者に必要な訓練施設や病院関係(装具や健康診断)の複合施設があると便利(現在はそれぞれの異なる場所にいかなければならず、手間ひま(手続き含め)がかかりすぎるため)。(身体・知的障害者・6歳)
- ・現在デイサービスを受けております。身体の機能が少しでも残っている部分を回復又は維持できるような訓練設備があればいいのですが、一日中居眠り状態で過ごしている様です。自分から進んで参加出来ない状態のものはどんどん置いていかれるような状況です。介護する側の人員不足なのではないでしょうか？1日でも現状維持か退化しないことを望みます。(身体障害者・80歳)
- ・施策についてはありませんが、私の難聴は子供の頃歯に詰めたアマルガムという合金と水銀等重金属が原因の1つと診断され、今、水俣病の原因とされている毒素による症状で体調が良い状態ではありません。市としてやることではないかもしれませんが、特に子供でアマルガム等重金属をつめている子供が歯科検診を通して、いることが分かったらセラミック等に変えることをすすめ、その費用の補助を市ですていったら将来の医療費削減につながると思います。今、治療中ですが、1年以上治療しており、痛みを伴うので本当につらいです。私と同じ思いをして頂きたいので、どうぞご一考下さいませ。(身体障害者・41歳)

- ・今後歩行が今以上悪くなると思われる。足に代わる器具等が整備されればと思います。(身体障害者・88歳)
- ・発達障害による療育手帳の交付を受けています。2年に1回の更新時に医師による診断書の提出が求められます。発達障害は経年によって軽快するものでも重症化するものでもありません。更新頻度、診断書提出頻度について一考すべきと考えます。(知的障害者・28歳)
- ・◎項目：市民の健康保持、増進、及び病後のリハビリに温水プールの開設を強く要望します。
◎理由：身心両面に非常に有効であり、ひいては市民の健康増進に大きく寄与し長い目でみれば医療経費の節減にも繋がると思考します。尚、近隣市では従前から実行してるケースがあります。以上。(身体・知的障害者・11歳)
- ・現在埼玉県に、難病施設に入所してます。流山市にも難病施設があれば良いなあとと思います。(身体障害者・73歳)
- ・医療面では子供の発達を支える病院がなく、近隣に頼っている状態で市外の者ということで困っている人が多くいます。うちは作業療法は川口市まで通っています。(知的障害者・14歳)
- ・入院したい時、救急車で運んでいただいた時、なかなか受け入れてもらえず2、3日動けなくて困りました。色々病院にも事情あると思いますが救急の場合に受付されない事が苦しかった。(身体障害者・75歳)
- ・年金生活なので医療費の負担が高いため大変です。(身体障害者・62歳)
- ・金銭的にキツイのと、病気(インフルエンザ、ノロウイルスなど)になったとき看ってくれる人がいない(1人ぐらし)が困る。(精神障害者等・44歳)
- ・精神で障害者ですが、糖尿病、C型肝炎、眼も不自由になりつつあり、今後の通院、生活などの不安があります。まだまだ健康的になりたいです。(精神障害者等・51歳)
- ・流山市は近隣市と比較して福祉、医療の専門スタッフに乏しく不便であると思います。市民にとっての豊かさのあかしは、どんな人にとっても自分の暮らす街が自慢できるかであると思います。訓練士の少なさは県下でも目立っており、公共資源の不足はいずれ問題になると思います。予算不足＝スタッフ不足とならぬよう現存のスタッフで専門的な知識を養い、福祉が他市並みになるよう努力していただきたいです。(身体・知的障害者・12歳)
- ・私は発達障害があり、言葉の聞き取りや理解に失敗が多いです。また、事前に準備して組み立てたことから外れた流れや内容を臨機応変に伝えることも上手くいかないことがよくあります。そうした特性が理解されないためか、ご多聞にもれず障害者支援課の人とも相談のような話しは上手くいった試しがありません。よく分からなくなって頭が混乱してしまいます。昔、「発達障害者支援センターCAS」の方から事前に「こう対応して下さい」と伝えてもらっても実際にはそうした対応も支援も全く無かったりして話が結局頓挫したりしました。「忙しくて個別の対応はできないのだろう」ということになり、それ以来障害者支援課に相談やお願いに行くことは一切やめました。もう少し個別の状況や必要に合わせた対応をしてもらえると助かるのですが、忙しいから難しいのかなとも思います。私の抱えてきた障害名自体すら正確に伝わっていない気がします。私の伝え方が悪くて、よくあることです。そもそも発達障害は精神障害者手帳になるので「心を病んでいる」と決めつけられがちですが、そうではなく言葉とか対話とか感覚神経の特異性とか内的世界の独自性とか、そういう生まれつきの脳特性が社会と上手く連動せずに苦しんでいるのです。(精神障害者等・37歳)
- ・6年前に脳出血をして接骨院を広い所から場所を変えて家賃の安い所に移ってまでもしているの

ですが、それがそもそもの間違いで、出血をした時は、どの部位かも分からず、この前に脳梗塞で入院したときに分かった脳幹出血だと忘れやすいことや寒いとか左手が動かしにくい、感覚が鈍くなる。この入院では脳のカテーテル検査で入院でしたが、その時尿道カテをした時に看護師による尿道カテ注入による強烈な痛みと痙攣が続き、一部記憶が無いことがあった。それは薬品によるショックかもしれない（ロキソニンアレルギーがある為）。その事や検査の後、歩行時にバランスが取れにくい、自転車に乗れなくなった事がある。仕事だけ6年前にやめておけば良かったと思っている事。それは、このような身体になり、収入が無く、保護費をこの為に使用している事、そして生活が苦しいことや借りている店舗を原状復帰するお金が無く、店を閉められない事が辛く苦しく死にたくなることです。

後は家近くにグリーンバスがあったが、今は駅にまで歩いて40分以上かかる事が歩行が困難になって、車も所有できなくなってしまった場合、交通機関がない事です。接骨院をやめられない事も、車を持てなくなることも、つらく苦しく死にたいこと。（身体障害者・54歳）

- ・永年の病気、怪我の治療中の為就労できませんが、一緒に生活している家族が高齢になり体を治療してほしくても生活保護者のため治療を我慢しています。（知的障害者・43歳）
- ・私の目は網膜病のため良く見えない。そのためトイレとか食事の机まで自分で歩いて行くのが…。その他はレンズで拡大して見ているためよく判断しにくい。そのほかは私のかみさんがやってくれるので、生きていく事ができる。ありがとう。新聞も見えにくいので見出しのみで判断することが多い。（身体障害者・75歳）

< 6 情報・コミュニケーション >

- ・精神障害者です。流山市へ引っ越して2年半ですが、どんなサービスが受けられるのかも全く教えていただけていません。前地区ではヘルパーさんに介助サービスをしていただいていたのですが、どこにそれを相談して良いのか前地区の福祉課から何の引きつぎもないのか、わかりません。今現在も孤立状態で、どうして良いのか分かりません。年一回でも良いので、サービスが利用できる小冊子でも配布して欲しい。（精神障害者等・年齢不明）
- ・支援課からの障害者の状況把握のアプローチをしてほしい。障害がすすんでいても伝えることもありません。何が相談できるのかもわかりません。介助者が追いつめられないように時折状況を聞いて、使えるサービスを提案してくれるようなアプローチがほしい。（身体障害者・12歳）
- ・障害者に対する社会的支援、又、ご近所のコミュニケーション。声かけ運動、特別な目でみないで少しでも顔を会わせたら声かけしてほしい。特別な目で見ないでほしい。（障害種別・年齢不明）
- ・声を大きく広報して下さい。（身体・精神障害者・69歳）
- ・問18 福祉サービスといっても、「こういうサービスはありますか？」と問うてもそれに添ってこういうサービスもありますとはなかなか言ってくれない気がする。（身体障害者・65歳）
- ・問28⑤ たとえば釣りが昔元気な時の趣味だったとしてもそういう人が集まって介護付きで釣りに行けるようなサービスがない。ありきたりのサービスばかり。（身体障害者・65歳）
- ・障害の状態によって受けられる福祉サービスがあると思うのですが、自分の状態がどのサービスを受けることが出来るかがわからないのもっと具体的に教えてほしいです。（身体・精神障害者・33歳）

- ・まだ先の事は自分でも分からないけれども、いつかは施設に入る（独居老人のため）ことになると思うが、その時がきたら、どの様にしたら良いかケアマネジャー等と相談したらよいか？そういうことの資料があればよいと思う。（身体障害者・84歳）
- ・両親が健康な時は心配ないのですが、父80才、母76才と高齢になってますので、このままの生活が何年継続出来るかが心配です。金銭感覚、言葉の不自由がありますので、一寸した買い物も出来ません。日常の生活、食後の後片付けやお掃除とか簡単な物は手伝ってくれるのですが、外でのお使い等は全く出来ませんので親と近くの施設入所が出来ればと強く希望しています。（知的障害者・49歳）
- ・現在は主人（81才）に頼り切っておりますが、一人になった時はとても不安です。福祉に関する情報の提供の充実を特にお願い致します。（身体障害者・80歳）
- ・常日頃、種々有難うございます。新聞等で「要支援」の廃止について取り沙汰されていてとても不安です。デイサービスに行っておりますが、私などよりとても元気な方が「要介護」の方々がいます。見た目ボロボロでなくても、身体内容で病気を種々かかえていて、外出は殆ど病院通いですが、「要支援(1)」です。今度、切り捨てられるのですか、年1回の査定で。もっとしっかり深々事情も聞いて頂くようお願い致します。“支援1”、おかしいと皆に言われます。病気関係なら、とのことかと思いますが、一人暮らしの為“デイサービス”は有り難いです。（身体障害者・88歳）
- ・2.地震災害に対して市は即時にどの様に見てくれるか。災害に対して高齢者はどの様に対処すれば良いのか、常時壁等に貼り付けておける注意書があれば良い。また近所との連絡等はどうすれば良いのか。救急車を呼べる条件を記入したパンフがあると良い。（身体障害者・89歳）
- ・福祉用具やバリアフリーの住宅にするのに詳しく相談できる所がないので、知り合いの人と情報交換をして自分で考えて探している。知らないサービスもあると思うので、教えてくれると良い。（身体障害者・13歳）

◎私が知らないだけ？

私は仕事に就けており妻に介助してもらえてほぼ他人様の手を借りずに生活出来ている恵まれた幸運な障害者だろうと思います。そのせいなのか分かりませんが、行政が私個人に対して能動的に何かして下さった覚えがありません。むしろ、こちらからの届け出は確実に対応して下さい、それだけでも助かってはいるのですが、「そもそも私が存在を知らないサービス」は受けられません。例えば問20の「補装具サービス」とは車椅子等の修理購入を支援してくれるものなのでしょうか。私は存じ上げませんし、ネット等で調べても良く分かりませんでした。受けたくても受けられないサービスがあるのは残念な話ですし、今後もどこで情報を得れば良いものか分かりません。そもそも障害者相談員の方々は私のことをご存じなのでしょう。最初にかいた通り、比較的恵まれているせいでこちらから相談に行きづらいと感じます。私より困っている方は大勢いらっしゃるでしょうから。

◎差別や偏見をなくす

問43の選択肢11について、確かに健常者の方から嫌な思いをさせられた経験は少なくありません。ですが、私の感じる限り、そうした出来事の裏にあるのは悪意や不親切ではなく、無知と間違った知識です。親切な人であっても、知識がなければ迷惑になってしまうことも多いです（ゴメンナサイ）。一番効果的なのは子供のうちから障害者の存在に慣れ、接し方を学ぶ事だと思います。とにかく障害者を家の中に閉じ込めず、他者（それを仕事にする人ではなく）と接する機

会を増やすことを後押し頂けると嬉しいです。

乱筆乱文失礼しました。声を聴いて下さりありがとうございます。(精神障害者等・31歳)

- ・手帳の更新 etc の手続きを市役所に行かなくても可能にさせていただけると大変助かります。せめて出張所に対応していただけるとありがたいと思います。(精神障害者等・27歳)
- ・障害のある人を見る目がまだまだ悪い。同じ人間とは思っていない。広報などで取り上げて市民に話しかけて下さい。(身体障害者・76歳)
- ・どのような福祉サービスがあるのか知らない人もいますので、簡単でわかりやすいパンフレット等を市役所窓口において下さるとありがたいです。(精神障害者等・68歳)
- ・災害時、本人は車椅子で私達は高齢者なので避難の時手助けして頂ける方法が知りたい。本人、高次脳機能障害なので字が書けませんので意見を聞いて母親が回答しました。(身体障害者・72歳)
- ・うまく支援者となつながられず相談相手も十分に得られず実は日常生活活動にも苦勞しながら生活し、社会生活は全力(を超えるくらいの力)でこなしては著しい蓄積疲労で崩壊し、を繰り返してきていますが、かえって「やればできるのに、やらないズルい人」と医者にまで誤解され、もうどん詰まりです。生活活動の支援が得られれば、仕事や福祉との関わりも持続可能になると思いますが、パソコンも携帯もなく、負担の小さい持続可能な対話関係も無いため、情報はほとんど何も持っていませんし、得たとしても、支援を得るところまで行けません。書類が送られてきても対応しきるまでに時間も労力もかかり、まいってしまいます。一人で暮らすには限界が来ていますがどうしていいか分かりません。市役所は公的支援の入口、窓口だと思いますが、その入口が私には壁が高すぎなので、まず入口の壁を越えるための支援と肯定的理解を得なければと思います。そこがうまくいかないのでも市役所に求めても仕方ないことだなあ…とも思いつつ…書いています。

こうして文で伝えれば、いつもある程度(一方的には)伝わりますが、ひどく疲れてしまいます。東日本大震災時、発達障害者とその親は避難所に行けない、またはいられなかったといっています。私もそう想像します。特性上避難所生活より車や危険な自宅の方がまだ“安全”と感じます。特に私は一人で理解者、代弁者も近くには全くいないですし、当然支援者も近くにいない上に、こうして冷静に時間をかけて紙に書いて伝えるなんて状況でもないと思いますし。(精神障害者等・37歳)

< 7 経済的支援 >

- ・私は子供夫婦、マゴと6人家族です。上と下に暮らして居ります。食事は朝食とヒル食は各々です。夜は家族一緒(ニギヤカ)です。私と夫は国民年金です。2人合わせて2ヶ月で23万です。電気代、水代とか~高いので若夫婦に少しでも手伝います。その他食べる事も米代は毎月15k買います。足りない時も有ります…その他御惣菜も時々ですが気を使います。…年金が下がって迎も大変です。国民年金(の額)を余りさわらないで下さい。御願い申し上げます。(身体障害者・87歳)
- ・補装具、日常生活用具の給付について所得制限をなくしてほしい。又は、給付される人とされない人(自己負担)の格差解消に努めてほしい(給付される人の方が物質的に恵まれている状況だと思います)。(身体障害者・12歳)

- ・障害者支援課では大変お世話になりました。感謝しています。夫が認知症で今回6月に老健施設に入所しました。ガソリン補助券をいただいていたのですが入所したので返却しました。本人の移動に車は使わないのですが、施設に預けっ放しというわけにはいかず、月の半数を施設に通っています。なので、引き続きガソリン補助券があると助かるなあと思います。妻記(精神障害者等・76歳)
- ・私は現在股関節を悪くしていますが、杖歩行で何とかゆっくり歩いて行動・生活していますが、用事、買い物、病院など何とか少しでもリハビリの為にがんばろうと思っています。車が無いので何度か体調が悪い時でも近くまで行きタクシーをひろって病院へ行きますが費用面で困っている時も時々あります。いつでも使えるタクシー券(無料)・電車無料(補助)券など私の級では出してはないのですが今後益々年をとり、身体も悪くなるので考えてもらいたいと思います。宜しくお願いします。(身体障害者・76歳)
- ・間14;年金だけでは生活できない。年金制度で障害年金が算入されない年金額の決定。(身体障害者・65歳)
- ・子供医療助成の対象が小学6年生まで拡大されとても安心しましたが、さらなる拡大を求めます。定期的な検査を必要としている子供を持つ親としては、その後の医療費負担が重く、心配です。身体障害者手帳を持たず療養手帳も軽度の判定のため、公的補助が受けられない。それでも6つの科、それぞれに定期検査は付いてくる。このようなグレーゾーンの子供はどうすれば良いのでしょうか。(知的障害者・8歳)
- ・特になし。交通費の補助を多くしてほしい!(身体障害者・80歳)
- ・左、大腿義足常用しているが、右足も血流不全(頸椎狭窄症に依る)の為、しびれや痙攣があり、家の中では手すりを伝い歩きしている。1ヵ月に1度の通院も長男や嫁の休日に車で送迎されている。タクシー券は有難かった。(身体障害者・82歳)
- ・障害者支援金はとても助かります。いつも感謝しています。(身体障害者・84歳)
- ・補助福祉手当は本人、家族の年収に関わらず支給されるべきものだと思います。生活の補助という位置づけではなく、障害者本人及びその家族の精神的、肉体的な負担に対する支給という考え方をして頂ければ大変有り難く報われる気が致します。どうぞ前向きにご検討の程よろしくお願い致します。(身体障害者・10歳)
- ・障害者に対して流山市は、他市(柏市、松戸市など)に比べ、補助の面で遅れている気がする(同じ病気で同じ等級でありながら流山市の場合ガソリン代等がいただけないのは不公平な気がします)。(身体障害者・59歳)
- ・70才以上バス料金無料にする。(身体・知的障害者・69歳)
- ・補装具費の自己負担額を軽減してほしい。(身体・知的障害者・11歳)
- ・毎月生活が大変です。収入は年金と市の手当で約1ヶ月12万円。支出は固定だけでも95,000円生活費は25,000~30,000円、食べるのもやっとなです。車もあるのですが車検を取るお金もなくして廃車するしかありません。年々足も弱まりこれから大変です。住宅も2年に1回書替があるので家賃の安い書替も無い住宅があればと思います。市営住宅とか?今の現状ではアルバイトも出来ません。年金をやめて生活保護にしてもらった方が生活が楽になるかいろいろ考えています。車が無くなるとバス代、タクシー代いろいろ大変です。よろしく(身体障害者・74歳)
- ・精神障害者保健福祉手帳は2年に一度診断書の提出が必要ですが、この診断書の発行については自己負担になってしまうのが残念です。以前住んでいた柏市では、5千円まで市が負担してくれ

ていたのになおさらそう感じてしまいます。身体、療育の方に比べて精神は交通費負担なども大きく、正社員として働いているが故に経済的負担が多く、多少無理をしてでも働く事で悪循環になってしまいます。交通機関など、場合によっては公共、文化施設でも身体、療育は割引きの対象でも精神は対象外というところが本当に多く、有無の確認だけでも骨が折れます。拡充がベストですが、せめて市内、県内だけでなく、各都道府県の手帳所持者の福祉サービスが一覧できるホームページなどがあると嬉しいです。(精神障害者等・33歳)

- ・補装具の給付で、補聴器電池の給付を取り入れてほしいです。電池代の負担が非常に大きいです。近隣の市では給付されているそうです。(身体障害者・14歳)
- ・健康保険料や税金や水道料金などの軽減を望みます。この先、サラリーマンなどの会社員はデフレ脱却と共に賃金が上昇するでしょうが年金生活者や障害者は収入は上がることが無く取り残されるように感じています。消費税増税なども負担率が重くなってくると思われまます。福祉手当の増額もできれば有り難いです。自治体毎に福祉の政策が異なる日本は不平等を生んでいると思います。東京都並みの福祉の充実が流山市でも行われたら良いと思います。(精神障害者等・72歳)
- ・生活保護と年金では苦しいです。(知的障害者・43歳)

< 8 福祉サービス >

- ・障害者のためのサービスが最重度の人のためのものが多く、使いづらい。障害者が施設、病院にこもる以外に、家や社会、学校であたりまえの暮らしをすることを応援するサービスがほしい。(身体障害者・12歳)
- ・住生活は今家族と同居していますが、何時までもかないません。なるべく早く一人で生活をさせたいと思っていますが、知的障害者のため安心して暮らしていくためには、食住とお金を管理する補助(援助)が必要です。市にお願いしたいことの就労では、アンケート調査の項目に多数記述されている知的障害者の就労支援の充実と通所施設を増やしていただきたい。通所施設は知的障害の程度による職業施設も考慮して貰えればと思います。住生活の独り立ち支援は、当方の情報不足かわかりませんが流山にはグループホームの数が少ないと感じています。安心して支援してもらえるグループホームを市または公共での施設があればと思います。また民間のNPO等信頼できるグループホームの主催者の紹介を市のホームページに情報公開をお願いしたい。(知的障害者・26歳)
- ・サービス提供業者についての情報を支援課にもっと把握してもらい、提供してほしい。業者を捜すのが大変です。

いつもお世話様になりまして有り難うございます。1)地域生活支援センターの「日中一時支援」を毎週お願いしていますが、定員数が希望者が多く、必要なのでお願いしたいのですが受けて貰えず不十分で困っています。祝日は一斉休業のため受けて貰えず、日曜日時間も短いため大事な用事や冠婚葬祭があっても不義理をしてしまう事が多いです。短期入所も遠方へはなかなか車では1時間半位が本人にとって限度のため預けることもなかなか出来ません。市内で在宅サービス支援のための受け入れ先の充実を希望します。また、障害者の介護サービス提供の事務所の情報等がありましたら、支援課の窓口等でもどしどし教えて下さい。よろしく申し上げます。(身体・知的障害者・27歳)

- ・ショートステイの請求書の項目に余り必要でないものまで含まれていて支拂が高くなっている。たとえば個室のテレビ料金など実際にはほとんど見ないのに一律日数百円の請求がある。病院のようにカード式ならば良いと思います。(精神障害者等・78歳)
- ・近隣の市と同等レベルの支援・サービスが受けられるようにしていただきたい(地域格差の是正)。各施設ごとにもっと連携をとっていただきたい。(身体・知的障害者・6歳)
- ・デイサービスを受けると手当てが半額になった。出費が増えるのに少なくなるとは?(72歳・知的障害)
- ・マッサージ週3回、調理週2回、サービスを受けています。共にとても親切にして頂き感謝しています。今後とも宜しく願いいたします。(身体障害者・70歳)
- ・勤務先の男性リーダーから暴力を受けた時に、支援センターに相談したのですが、その男性リーダーはふざけていただけだという返答が返って来たときにショックでした。こちらの受け止め方の深さがあまりに違うので。
メイク、生け花講座の時に自転車で行ったもので、完全防寒スタイルで行った所、「変なの」と吐き捨てるように講師から言われショックでした。二度と行きたくないです。(知的障害者・19歳)
- ・ケアマネジャーの交代を希望しています。どの様な手続きが必要か教えて下さい。(身体障害者・76歳)
- ・流山市は広いので、サービスを受けられる場所が各地域に等しくあればありがたいです。同じ市内でも外出が難しい者にとっては行くのが困難な場所、地域ばかりなのが困りどころです。(精神障害者等・33歳)
- ・重度の子供を持つ親ですが、親亡き後に入所できる施設が近くにありません。ケア付きグループホーム、重度の入所施設を希望します。施設がお休みの日に利用できるサービス(デイ、短期入所、通所)などの利用が出来にくい。特に緊急時に利用が出来ない事が多い。(身体・知的障害者・62歳)
- ・これから介護保険等利用したくなった時、どこに相談に行ったらよいか分からない。(身体障害者・74歳)
- ・障害者の料理教室など行っていますが、なぜ障害児を対象にした催し物は計画しないのでしょうか?子供向けの催し物、体験教室など数多く参加してきましたが、親として心の底から安心して見守れるものはありませんでした。事前に事情を話しておきましたが、指導員の数も限られる中、目を向けていただくには、無理があるようでした。本人も他の子に気後れをしてしまうようです。様々な体験をさせたいと思いますが、参加を戸惑う事もあります。障害児でも楽しめるものを計画して行って欲しいと願います。思いっきり身体を動かせるものも良いと思います。(知的障害者・8歳)
- ・加えて福祉の専門的な人材の育成。(知的障害者・27歳)
- ・昨年デイサービスにお世話様になりました。でも9ヵ月でやめてしまいました。今もその時の不安の気持ちが取れず、悩んでいます。包括センターの方に進められますがその時の大変だったこと、惨めな思いが今も忘れられずボケない限り行くことはできないと思います。自分にも原因があったのだろうと思いますが、その原因を知りたいと今は思う今日この頃です。原因を直して早く心の闇を取り払いたいと思っています。身体に障害のある人、又、脳に障害のある人デイサービスは大変だと思いました。私は初めての経験でしたので、びっくりしたり驚いたり貴重な体

験でした。一つ思った事は老人介護の人達と身体障害者はせめて部屋だけでも別の方がいいな—という感想を持ちました。とてもやりきれない思いがして（職員の怒鳴り声）つい疲れてしまいます。週1回行っていたのですがその1月でがっかりしてしまいます。今はどこにも行きたくありません。沢山の人間というのが苦手です。だから自分なりに家にいてがんばっていかうと思っています。（身体・知的障害者・73歳）

- ・流山市災害時要援護者避難支援計画なるものを知りませんでした。良く聞いて登録しなくては～。（身体障害者・84歳）
- ・1.90才以上の高齢者に対しては、月に一度程の訪問をして頂きたい。（身体障害者・89歳）
- ・現在85才、良い医師にめぐり合い心臓バイパス3本を8時間かけて2回。1回目は心臓を外部に取り出し2時間で入れなければ死という過酷な手術をした。幸いにして今があるので月一回は必ず助け合いネットワークの助けを借りてその医師の所へ。あとは近くの病院へ風邪などの時は行っている。冬の空気の冷たさは異常で外出できない。いつでもニトロ、健康手帳等クスリを含めて常に持参。この冬を何とか過ごしたいと願っている。週2回デイサービス他訪問介護等お願いしている。この冬を無事過ごしたら一人住まいも限界があるのでどこかのホームの有料でも入ろうかと思っている。いつも優しく接して下さる訪問介護の方々、又、デイサービスの方々には感謝している。ケアマネージャーをも含む。何かあればケアマネージャーに相談したいと思っている。（身体障害者・85歳）
- ・訪問サービスの料金をもっと安く利用しやすくして頂ければ助かります。（身体障害者・72歳）
- ・ケアハウス等の住居を多くしてほしい。（身体障害者・76歳）
- ・重度身体障害者が利用できる施設が近くにない。（身体障害者・13歳）
- ・私が障害者手帳等の事について知ったきっかけは、子供を産んで育てていくのが困難な時に関わって下さった保健婦さんでした。子供の事に関する必要な事（検診やら予防接種やら）は少しずつ日付や書類書きまで家に通って手伝って下さり、本当に助かりました。私の症状の改善と子供の成長と共に（あと、その保健婦さんが産休に入られて担当が変わられました）なくなりましたが、子供は障害とまではいかない夜驚症やLD等があります。子供も専門医に通院中ですが私の社会復帰も含め、子供の今後等全般について何でも相談できる所があればいいと思います。子供の事は今は学校がよく対応して下さっていますが、私としては将来不安がないとは言えません。（精神障害者等・45歳）
- ・障害者に関わる色々な手続きが沢山ありますが、介助者もだんだん年を取ると書き物や出かけたりの事が負担に思います。もう少し、手続き等簡素化出来ればと思います。（精神障害者等・66歳）
- ・流山で入所施設があれば安心です。（知的障害者・35歳）
- ・障害者の全体のデータがないと職員の方に言われたことがある。あまりにも障害者の数が多いからとの返答だった。高齢による障害者、生まれつきの障害者、中途障害者（働ける年代）又、その障害の部位、等分類し、データ化することが急務であろうと考える。福祉の手続き等本人ができるのか否か。本人が直接窓口に出向くという大変さは相当なものである。家族が担える人はいいが、孤立している場合も多いと思う。相談窓口もあるが、結局は自分で捜せと言わんばかりの他の部署へのたらいまわしである。窓口対応も冷たい。希望は職員の自宅訪問である。手続きを自宅でもしてもらえれば、家族や身体に負担がかからず相談もしやすい。家庭内の生活も見れば

使える福祉サービスもおのずと案内できると思うし、障害者、支える家族の不幸な結末はなくなると思う。本当に困っていることに耳を傾けてもらいたい。仕事の量を増やすことには、迷惑な話ではあるが五体満足ではないという運命を背負った私達は助けられては傲慢と言われ、いつもどういう姿で人に接すれば良いか自問自答する日々である。

おおたか SC 内の障害者用駐車場を見て下さい。1F の駐車場は「車椅子で一人で来た障害者」と限定し、バーが閉められています。車椅子は一人では車から出られません。車椅子を車から出せる障害者は若い力持ちの障害者です。障害者同士の中でランク付けをするのは如何な者でしょうか。おおたか SC に行くといつも憤りを隠せません。(身体障害者・53 歳)

- ・流山市に親がいなくなった時安心して入所出来る所、兄弟にも心配かけたくない。(知的障害者・73 歳)
- ・通園施設にお世話になって 48 才年齢と共に今まで出来ていた事がだんだん出来ずやる意欲を失って来ています。母親の介護で毎日楽しく通園できていますが、先の事を考え市の中にケアホーム、グループホーム出来れば。入所施設が早く欲しいです。(身体障害者・77 歳)
- ・これからもグループホームで住みたいです。(精神障害者等・60 歳)
- ・海外と比べると日本の福祉政策、社会の理解など、おどろく程レベルが低い。障害者一人に対して一人ずつのソーシャルワーカーは担当すべきであり、現在のボランティア民生員では不十分である。(身体・知的障害者・49 歳)
- ・前の項目でも書きましたが、現在特養に入所していますが、病気などで3ヵ月ごとく上特養を出所した場合、現在の特養に戻れない契約になっていますので、病気が治った場合、入所先が無くなり大変不安です。同じ施設に戻れなくとも間を開けることなくただちに別の施設に入所できるように是非対策をお願い致します。

1/10 までに投函できず申し訳ありませんでした。よろしく願いします。(身体障害者・75 歳)

- ・市の障害者福祉部障害者支援課の方々には大変優しく丁寧に説明、サポートして頂き、種々の手続きをしていただき深く感謝しております。(身体障害者・68 歳)
- ・新年おめでとうございます。いつも福祉の方々にお気遣いいただきありがとうございます。お陰様でなんとか元気に 78 才まで生きてきました。主人も亡くなり(主人も流山病院)とナーシングプラザに入所ずーっと優しくしていただき天国へ。両病院ともには感謝しております。私事です色々悩みがあり聞いていただく所があると心強いです。これからもよろしく願いします。(身体障害者・78 歳)
- ・もし、又仕事ができるのなら相談したいことが沢山あります。

市役所の生活保護担当者や障害者支援担当の方々にもっと相談したいことがありますが、体が弱く思うように生活出来ません。それでも家族と支え合ってきましたが、以前、まだ体が少しは動けるときに市役所の就労支援の先生にご相談したこともありますが、今は市役所や病院の医師以外にもっと相談したいことがあります。(知的障害者・43 歳)

【9 教育・療育】

- ・小学校では、支援学級に在籍しています。学校には毎日楽しく通っています。普通学級の児童との交流もあり、楽しいようです。児童も声をかけてくれたり、自然に普通に接してくれているようです。幼少の頃より、様々な人がいるということ認識し、生活していくことは良い事と思います。それに比べ大人は心ない言動、視線を向けるなど、もっともっと意識改革が必要と感じま

す。(知的障害者・8歳)

- ・障害があることが分かってから、まず初めに思った事は福祉の手続きがわかりづらくとても時間がかかると思いました。また、専門の病院と学校がとても遠く車がなかった我が家は祖父母に車代を立て替えてもらい、急ぎよ車を購入しました。そして、その学校への通学の為、共働きでしたが仕事を休職する事になりました。その時もやはり職場の理解がなく学校への付き添いは介護扱いにはならないとのことで、とてももめました。障害が分かってから数ヶ月ですが、休職した事により、経済的に厳しく、また職場復帰したくても特別支援学校と一緒に通う為、復帰はできません。子供は保育園を辞め、常に一緒にいるので少しは自分の時間も欲しいのですが、保育園の一時利用は、その対象年齢のクラスと一緒に生活することが難しい為利用できません。相談したくても祖父母しか本当の意味で相談できる相手はいません。介護者が息抜きできるサービスもあるといいなと思います。(身体障害者・3歳)
- ・普通学級に楽しく通える受け入れ体制づくりをし、つらい思いをする事無く充実した生活を送れるようにしてほしい。(身体障害者・13歳)
- ・軽度の発達障害がある者に対しても、大きな理解、生活していくのに十分な資金を稼ぐことのできる仕事をする事ができるよう支援していただけると嬉しいです。
市内の小学校、中学校に支援学級も増え、言葉の教室も増え、先生方の子供達の教育、差別、いじめのない生活、とても向上していてすごく感謝しています。一人前の大人になるまで、そしてそれからの人生、流山市と共に…と思える充実さをよろしくお願いします。(知的障害者・14歳)
- ・1)障害者にきびしい環境の改善を望む。特別支援学校も無い市民は近隣の他市の施設に通う外なく、高等養護は市民の為になっていない。自然に他市のイベントやサークル頼みでは、遠くまで出かけて肩身のせまい暮らしになる。障害者を排除し、苦情も言えない弱者はむずかしい。(知的障害者・44歳)
- ・人口だけが増えていて、学校も(特支)教室不足だったりして、後回しされている感じがします。県立だからですか？新しい小学校はすぐ建つものにな一というのが正直な気持ちです。(知的障害者・15歳)

【10 家族・介助者】

- ・本人及び家族(介助している家族)の困り事、不安な事、少しでも本人が自立できる支援体制を心から希望しております。現状では市の担当の方にグチを言うスタイルから、少しでも前向きになるよう、本人の立場に立ったリハビリ的プランが欲しいです。今のままでは孤独で、ひとり勝手に放り投げられている感想です。対応の仕方によっては、時間をかければ少しでも良くなっていくのではないのでしょうか？家族は生活に追われて良い(本人に対して)対応が困難です。何とか助けて欲しいです。よろしく願い申し上げます。リハビリ(デイサービスの施設)を心から希望します。お力、ご援助をお願い申し上げます。(精神障害者等・年齢不明)
- ・家族からのお願い。
本人は人の世話になることを迷惑と考えている年代です。家の人以外は気を使うようです。また、地域の人達の交流がなかったので入りにくいようです。視覚障害で東深井の集まりがあって一回行きましたが遠くて駐車場も狭く古間木迄は迎車が来ません。同病の人との話をしたら交流できると思い近くでの会を探しています。一日か半日でも時間があるとホットするのが家族だと思

ますので対策をお願いします。(身体障害者・75歳)

- ・障害者が住み慣れた地域で生活する為には、家族以外の支援の場や、人の手が必要です。小規模のグループホーム等はわずかにあるようですが、今後家庭での介助者の高齢化などで自宅で障害者を介護できなくなる方々も多い事と思います。グループホーム(ケアホーム)の充実が急がれると思います。また、医療機関との連携も重要で、受入可能な病院が増えてくれることを望みます。また、日中一時や短期入所についても受け皿が少なく、予約でいっぱいようです。本当に緊急に障害者を預けたいときにその場所がないのが市内の現状です。日曜や祝日でも利用が出来、緊急時に対応の出来る施設の増設を望みます。また、昨日県内でおきた障害者施設の利用者に対する暴行死亡事故が二度と起きないような、支援者、職員のスキルアップ、人員配置、それらのチェック機能の充実が大切だと痛感しております。(身体・知的障害者・50歳)
- ・老老介護で一方が倒れたら共倒れになる不安があり、白骨化して発見されたくないです。市に言っても仕方がないですが！(身体障害者・81歳)
- ・認知症の家族への支援の充実。(身体障害者・70歳)
- ・家族からですが、精神疾患と身体障害とどちらも介助は大変で本人よりも家族(介助者)の方が負担が多くストレスで精神的にずたずたになってしまう事がたくさんあるが、世間及び近所等の目を意識し又、本人のプライドを傷つけない様にと考え、心身共に疲れてしまっていますが、公共の所で相談しても心のケアまではしてもらえない。
主人の他に実父86才が痴呆と病気で長期入院、父の姉(独り者99才)は特養入所、父の姉(独り者89才)は有料老人ホーム入所等全ての保証人及び責任者をしながらパートにて働いており、自分自身がいつ潰れてしまうのではないかという不安が大きい。障害者にも支援があるように、介助、介護する者の健康等の定期健診等の金銭的な特別支援が受けられる様、心のケアが受けられる様に行政が動いてくださる事を心から願っています。(身体・精神障害者・60歳)
- ・両親が72才と高齢になり自分の事も思うように出来なくなり、親が亡き後の事がとても心配です。親が活着ている間に入所施設を早急に作ってほしい。子供が安心して暮らしていける場面を見てから死にたいです。今年中に何とか先が見える様にして下さい。5人～6人位のグループホームを車椅子でも生活できる場があったらと思います。220坪の小さな土地があります。グループホームを作るといふなら、提供しても良いと思っています。(身体・知的障害者・38歳)
- ・視覚障害、腎機能不全の障害があります。現在は私(母)が付き添い介助をしています、私ができなくなった時が心配です。都内の病院への通院・毎年申請しなければならない書類の記入など一人ではできません。介助者がいなくなった場合の支援についてはまだよく調べていないので、私が元気なうちに相談に行きたいと思っています。(身体障害者・19歳)
- ・私は肢体不自由(右上肢機能全廃)が障害です。しかし一般就労についているので経済面は特に不自由ないです。ただ、両親が高齢であるため現在は掃除や料理はやってもらっているのですが、両親がいなくなった時、どうすれば良いか分かりません。また親の介護も必要になってくると思うのですが、私にはどうしたら良いか分かりません。親の介護が必要になった時にできるだけ自宅で介助したいのです。そのためのヘルパーさんやまた、自分でできること等を相談できる施設がほしいです。(身体・精神障害者・41歳)
- ・障害者の母です。今は私も夫も元気で生活に支障はありませんが、この先私達が老いた時に娘の将来がとても心配です。娘が一人でも生きてゆける世の中でありますよう強く願っております。(知的障害者・27歳)

-
- ・高齢になって来て、子供の事とても気になってきました。今は親、子供々元気ですが、その後の事とても心配してます。動けなくなったら施設に入所となります。お世話になりますどうぞよろしくご指導お願い致します（今は他人にお世話になる様になっても一人で動いて出来る様毎日の生活頑張らせてます）。(知的障害者・42歳)
 - ・母親と二人です。母親が高齢になり不安です。近くに入所できる施設を作ってほしいです。(知的障害者・41歳)
 - ・2)親の死後、障害者を支援し、助言してくれ仕組みを考えてほしい。(知的障害者・44歳)
 - ・障害の程度が重くないと施設になかなか入れないと聞きました。今、Bの1(中)受給者証は②となっています。今は親と暮らしていますが、高令となって1日も早く施設に入りたいと思っています。グループホームもなかなかありませんので病気の親は先が心配で困っています。1日も早く障害が軽くても入れる場所があればと思っています。よろしくお祈りします。(知的障害者・45歳)
 - ・親亡き後、障害者も年をとっている事でしょう。親が元気なうちに老人施設を作っていかななくてはなりません。御協力をお願いします。(知的障害者・42歳)
 - ・ただ、親としては、自分や家族が出来る間は頑張っていて、どうにもならなくなった時にケアホーム等があれば安心なのですが。(身体障害者・42歳)
 - ・障害が精神と言うこともあり、まだ休養が必要なのか、家以外での活動をしておりません(デイケア等)。また、家族に依存した生活をしているためか、困った状況と思えないようです(本人の中では色々あるのかもしれませんが)。唯、家族(親)としては自分達が高齢化していく中で色々なことにどのように対処していくべきか悩める日々ではあります。(精神障害者等・31歳)
 - ・私の病気怪我の為に介助してくれていますので、その家族も仕事が出来ず年々生活が不便になっていき、心身共に疲れきっています。(知的障害者・43歳)

【11 今後の市等の施策】

- ・福祉政策が年々向上し、いかなる国民も日本国憲法(現行)下で幸福な生活を送れるような社会が出来上がるよう望んでいます。不安のない安心して暮らせるような世の中になることです。一步一步理想的な社会へ向かって進むよう行政が行き届くよう願っています。暗い世の中は再び来ないよう宜しくお願い致します。理想の流山市を、世界に誇れるような流山市になるよう祈っています。(身体障害者・79歳)
- ・介護保険料が高すぎる。導入のために40歳からなどと姑息な手段で始めたが死ぬまで払わされる年金生活者、高齢者には過酷だ。負担年齢は厚生年金や国民年金と同じで20歳からにすべきと思う。(身体障害者・81歳)
- ・本人は83才、認知症で娘の私が成年後見人。3年前、脳梗塞で要介護4の右半身マヒに。母の住所は流山市で固定資産税など納入しているが、実際は野田の高齢者専用賃貸住宅で暮らして手厚いケアを受けて暮らしている。母の介護のため月3~4回ホームに通い車椅子と車に乗せて外出している。私は茨城県竜ヶ崎市在住。障害者となった頃、リハビリのためにケアを訪問で受けられたら良かったと思う。現在は車椅子、歩くことはできなくなった。どういうサポートが受けられるかよく分からない。タクシー補助券などは認知症の母では使えない。今後、高齢者や認知症のある障害者への複合的な支援が考えられるとありがたい。よろしくお祈りします。(身体障

害者・83歳)

- ・バリアフリー化の推進。簡単にかつ容易に利用できる交通手段の整備及び施設の整備（図書館）及びコミュニケーションの図れる場所等の施設。（身体障害者・65歳）
- ・こういうアンケートが初めてであり、障害者の意見を聞いて行政に生かすことがとても良いと思う。これからの社会が誰もが人間らしく平等に暮らせる社会が理想だと思う。ぜひこのアンケート結果を生かして下さい。（身体障害者・64歳）
- ・又、災害時でも不安です。「視覚障害者である」という事が他の人が見てすぐわかるような工夫があればいいと思います。
これは市の関係ではないですが、電車のホームドアも設置してほしいです。震災以降節電のために公共施設等の照明が暗くなってしまい、困ることもよくあります。視覚障害者の支援の充実をお願いします。（身体障害者・19歳）
- ・これからの20～30年先の高齢者社会を考え、税金負担を少なくするため、例えば民間有料老人ホーム等を市有地に誘致し、土地を賃貸し、税負担を少しでも少なくしかつ、PFIを活用してコミュニティセンター等を併設し、地域高齢者社会を活性化する。（身体障害者・65歳）
- ・流山市は介護支援についても嫌と言うほど嫌な思いをしている。行政とは申せ、特に流山市は他の市町村と比べて行政の悪さが一般市民からもよく聞く。手続きは市長の権限の一発印で決まり、特に心のケアも考えていない。ここ2年間で他、様々な嫌な思いを味わった。市長の印一つと申せ、一般市民の長である以上、良く聞く話は井崎市長は…。と聞く。もう少しどころではないはず。もう一度市制度を考え直して欲しい。（精神障害者等・51歳）
- ・手帳を持っている者には全てを相談できるコーディネーターの存在が必要です。困ったことがあった時はそこを窓口支援してくれる所の扉をたたくことが出来る…そんな流山市になってくれたら本当に安心して子供を育てることができます。
弱者に優しい。それは全ての人にとって心が育つことになると思います。（知的障害者・14歳）
- ・知的障害者のスポーツについて、学校を卒業すると知的障害者は友達が少なくなり、スポーツをする機会がありません。私の息子は知的障害者のスポーツ活動を行う会「スペシャルオリンピックス日本・千葉」の傘下のスポーツプログラム「野田市陸上」で週1回の2時間を年30回程度で主に走るスポーツをしています。「野田市陸上」は12から15人位のアスリートとファミリーコーチ2名ボランティアコーチ3名の小グループで、野田市陸上競技場を主練習場として無理なくスポーツを楽しんでいます。流山市には知的障害者のグループはないと思います。グループ自体の立ち上げは自分たち自ら行う事は当然ですが非常に困難です。こんな動きがあった時、市として障害福祉の一環としてグループ立ち上げの支援、市の施設の使用等グループ援助をお願いしたい。（知的障害者・26歳）
- ・現在、幸いにも特別養護老人ホームに入所出来ているが、今後、その様な施設の充実（増設）を図っていただきたい。入所前、2年半程在宅介護を行ってきたが、重度になって来ると在宅では限界があると考えます。（身体障害者・82歳）
- ・ケアホーム・グループホームにもっと支援をお願いします。（知的障害者・28歳）
- ・また、親亡き後、本人が安心して暮らせる施設やホームなどは絶対的に数が足りずこちらも早急に対策をお願いしたいと思います。今はまだ親が元気ですので、市のサービスを受けながら比較的充実した生活を送ることが出来て感謝しております。しかしながら、今後のことを考えますと、いろいろな施設（学校、作業所、入所施設、ホーム等）の不足は目に見えており、早急な対応を

切に望んで居ります。どうぞよろしくお願い致します。(知的障害者・25歳)

- ・平素、流山市にはいろいろとお世話になっております。市内の福祉においては、圧倒的に幼少～成人まで対応できる施設が少ないです。(デイサービス、通園施設、作業所)パンクするのが目に見えています。早急な対応をお願いしたいです。(知的障害者・14歳)
- ・近年、福祉全般について充実して来て市の対応の変化も大変うれしいものがあります。幼児・教育・卒業後の進路もほぼ満足出来るものになっていますが、地域で生活していく場所としての入所施設やケアホームがまだ整備されていません。親の高齢化が進み、次々と遠方の施設に入所して行く障害者を見るのは忍びがたい思いです。なれ親しんだ地域は安定した精神に欠かせないもので何とか私たちの手でとも思いますが個人の力では無理な状態です。ぜひ流山市に早急にケアホームの建設をお願いしたいと思います。核になるものが出来れば他に広がって行く可能性も出来てくると思っています。(知的障害者・41歳)
- ・精神障害者のサテライトハウスを作って欲しいです。強く望みます。(精神障害者等・45歳)
- ・とにかくこの国では民間、家族まかせであり、家族は身内に障害者がいればその本人の人生の多くの部分を犠牲にせねばならず、所得も増やす事は不可能になる、悪循環から抜け出す事はできなくなる。またこの東葛地方は大変リスクの高い放射性物質のホットスポットであり(過去に原子力の広報の仕事をしていたので理解しています)、今後一般人にも様々な健康障害が増える事が予想される現在、子育ての街づくりに予算を使うのでは無く、福祉の街として計画していなくては、やがて健康保険も破綻しかねない。1日も早く市全体がバブル期の発想から脱却し、福祉の街として方向転換をしないと、やがては人口も頭打ちから減少へと向かう事は明白である。重度のうつ患者が自宅で衰弱死している流山の現状を市長はどう感じているのか大いに疑問である。(身体・知的障害者・49歳)
- ・障害の有る人が地域で差別や偏見無く生きていくことができる様な施策を強く望みます。差別や偏見があるのは分けられた教育現場にその一因があるのではないのでしょうか。幼稚園入園も障害を理由に拒否されました。幼児期から分け隔て無く健常児、障害児が共に遊び、学ぶ社会が実現すれば理解が進み障害のあるなしに関わらず一人の人間として生きていけると思います。ボランティアを積極的に教育現場でも活用し、支援が必要な人に支援が行き届くことで統合教育、バリアフリーの教育が実現することを望みます。地域が豊かな心を持つ人でいっぱい流山になりますように。(知的障害者・3歳)
- ・東葛地区に障害者の施設がない。短期利用で預かって頂くとき、船橋市まで連れて行ってお願いしている。介護している私達が高齢なので将来が不安。現在は在宅で介護しているので東葛地区に身体障害者の施設を作って欲しい。(身体障害者・72歳)
- ・晩婚化により、今後も障害児、者の数は増加すると思います。受け入れ先を特化するのではなく、健常児、者との共存、共営を視野に入れた柔軟な対応が求められます。(身体・知的障害者・12歳)
- ・流山に移り住んで14年になりますが、その間特に障害者に対する福祉施策が進んだという実感が持てません。

道路の歩道や段差等の解消もほとんど進まず、民生委員の方も含め、地域の方々への理解と促す様は施策もありません。

今、本人の生活を支えている家族も高齢化し、介護力の低下を日々痛切に感じる中、家族と共に

生活出来なくなった時の事を考えると現時点では何の保障もなく不安だらけです。制度の中でも本人の豊かな人格と保障された生活が送れることが明記されています。施設の中でただ生かされるのではなく、日々の生活の中に喜びや充実感が持てるよう環境整備も含め施策の構築されるよう期待します。(身体・知的障害者・36歳)

- ・グループホーム、ケアホームが少ないので早く作って欲しい。(知的障害者・25歳)

【12 その他】

- ・駅に障害者用の自転車を階段の下に3つくらいで良いので、お金は普通にさせていただいて1～3時間くらい置けると外に出かけようかなと思えると思います。自転車置場から駅まで行くとそれだけで疲れてしまい、行くのをやめることが多くなります。(身体障害者・55歳)
- ・市職員の皆さま、日頃のご支援ありがとうございます。(精神障害者等・36歳)
- ・段差で苦勞しております。例えば
 1. 室内での高低は両手で近くの壁や柱等をつかまっていけないと先に進めない。
 2. 窓枠の敷居の高さ6cm、幅6cmだと、両手で支えないと跨ぐことができない。
 3. 道路の段差、階段、低い境界線(印)、バスの乗降、電車の乗降等、両手でつかまり支えないと足が踏み出せない。

毎日リハビリを行い、自分の力で動ける事を目標にしております。皆さまには感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。(身体障害者・83歳)
- ・歩道、ガードレールの整備。狭い歩道やガードレールがあるために車いすで道路のはしを通れず、車道に出なくてはいけない道もあります。危ないので対応をお願いしたい。(身体障害者・12歳)
- ・2)アンケートの○印2つ、3つの制限まででは足りません。必要なものに○でないと解答になりません。(あてはまるものすべて○のほうが良いと思います。)以上です。
いつもお世話様になりまして有り難うございます。(身体・知的障害者・27歳)
- ・施設や従事者は立派になりつつある様に見受けられます。しかし市民一般の目は冷やかです。道路上でもショッピングセンターの中など皆が「今日は」とか「おはよう」と声をかけて挨拶し話しかける社会の実現に尽力していただきたい。宜しくお願いします。(身体障害者・78歳)
- ・精神障害、パニックの場合 Parking 止められないのはおかしい。急なドキドキが止まらないので、止められるよう警察に動いて欲しい。(精神障害者等・42歳)
- ・質問が多すぎる。(身体障害者・78歳)
- ・障害者、高齢者に必要なものや事柄は健常者にとっても必要な物なので、みんなが不便を感じない環境作りに、みんなが協力し合うと良いと思う。(知的障害者・23歳)
- ・まだ、10月に認定されたばかりです。すべてこれからです。今後のためにもしっかりとチェックさせていただきます。宜しくお願い致します。(身体障害者・63歳)
- ・問15⑨ 役所提出の書類手続きもあるはず。郵送と言ってもポストまで行くのが大変。
問16 歩くことが苦痛なのに災害の事なんか考えられない。
※もっと役所内の連絡を密にして欲しい。福祉係にしても係が違うと担当が違うとは。私はこの係でそのことしかあなたに聞いていないのでとか…。(身体障害者・65歳)
- ・リハビリ中、道路の段差が気になった。車には優しい道路だが、歩く人には厳しい歩道です。歩道整備望みます。(身体障害者・60歳)
- ・現在自分で全部出来ていますので、特にありませんが、障害者支援には今の所十分に支援して頂

き、感謝いたしております。(身体・精神障害者・73歳)

・北海道札幌から転勤で流山現在地に住んで35年。小学生だった本人(子供)が49才になりました。

流山に来たときは学校や施設の事、何も身近になく作って頂くための運動に明け暮れていたのを思い出します。今はお陰様で行き場所に恵まれ、子供達も幸せだと感謝しております。(知的障害者・49歳)

・私は現在27才のリウマチ患者です。障害者手帳3級を持ち、ほとんどの事が自立してできます。今年の1月には出産もしました。はたから見れば、ごく普通に見えますが、右手の関節は全てシリコン性の人口関節が入っています。近所や買い物等に出かける際、障害者用の駐車場に駐めますが、何でもないように見える私はまわりから白い目で見られます。もちろん、障害者用のステッカーも車に貼っています。毎回不愉快な思いをするのがいやなので、大変でも遠くても一般用駐車場を使います。とても残念です。(身体障害者・27歳)

・こんな小さい字で90才の老人が読めると思いますか？現在56才の長男の私でも理解不能な事柄が多すぎます。「流山市障害者計画アンケート調査票」程度の字の大きさだと何とか読めると思います。根本的に考えを変えて下さい。(身体障害者・90歳)

・高齢のため考えられない。(身体障害者・84歳)

・私は身障手帳は持っているが、介護を受ける必要はないね。介護関係の質問には答えませんでした。(身体障害者・72歳)

・今回の調査真にうれしく思います。高齢の一人暮らしが多数のようです。何卒よろしくお願い致します。市民税、固定資産税もキッチリ納めております。流山、私の考えるところ、とても住み良い土地と思います。緑も多くて災害も全く無い土地と思います。人々が喜んで住めるところであってほしいです。何卒宜しくお願い申し上げます。(身体障害者・88歳)

・福祉行政に携わる皆様方に感謝致します。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。(身体障害者・71歳)

・大変何かとお世話になりまして誠にありがとうございます。(身体障害者・75歳)

・11月5日、急に立ち上がって動くことが出来なくなり、寝たきりの生活になってしまいました。全て記入することができません。記入できる所はしました。宜しくお願い致します。(精神障害者等・69歳)

・ありません。満足しています。(身体障害者・71歳)

・まだまだ目に見てわかる障害者だけに手厚い所がある。パッと見、わかりにくい内部障害者はほぼ、一般人としての対応される。(身体障害者・39歳)

・私は現在聴覚障害のみで、その他の身体各部等の障害等は無く、普通の生活には大きな支障はありません。聞くところによる本市担当部署が実施されている各種対応、対策は十二分に実施されているとの事で感謝しています。(身体障害者・79歳)

・4級、右第二三四五指切断。だいたい自分でできます。(身体障害者・74歳)

1. 現在は仕事をし自立してやっております。まあ、なんとか生活しております。

2. 今後お世話になっていくと思いますが出来る限り健康に注意し、少しでも長く健康、自立を継続出来るよう毎日努力していかねばと思い実践しております。

3. 自主出来なくなったらお世話になるとは思いますが、少しでもご協力が頂ければありがたいと感

謝申し上げます。ありがとうございました。(身体障害者・72歳)

- ・最近特に感ずることは、自分ひとりですべてはむりなのかな?ということです。それと同じことですが、すべての調査票はきいてくることの表現がかたすぎることです。以上。(身体障害者・89歳)
- ・謹んで新年のおよろこびを申し上げます。長い間、障害者としてお世話様になっておりますが、毎日心から感謝の気持ちは忘れたことはありません。健康で元気で働いておられる全国の皆様のおかげです。本当に有難うございます。今後ともよろしくお願い致します。(身体障害者・79歳)
- ・アンケートでは、どの人が使えるサービスかわからず、ただ、良いと思うものに印を付けました。(身体障害者・42歳)
- ・知的障害者のインターネット利用は、児童と違ってプロテクションも少なく不要な買い物の請求が多く来ても、家族に無理やり支払わせるという前世紀的構造は変わらない。特にアメリカンエクスプレス社は、社員や役員に全く法的知識が無く、法律を無視してしつこく請求をしてくる。現在の法律では保佐人の効力は不十分であり、公的機関で身近に無料で相談できる(その知識を持った者がいない)場所も無い。(身体・知的障害者・49歳)
- ・自閉症者のためのスポーツサークルを立ち上げているものですが、彼らは体育館使用の際に他の集団との共同利用が厳しいのが現状です(集中できない、勝手に他のグループの中に入ってしまう、一見変わった動きをする etc)。そこで月1回でも障害者優先の体育館利用日があるととても有難いのですが。どうぞよろしくお願い致します。(知的障害者・18歳)
- ・「障害者計画」や「障害者福祉計画」と市の方で色々と計画されていることを知り、とても嬉しく思います。
アンケートに対するしっかりとした返答を出来ずにすみませんでした。(精神障害者等・31歳)
- ・調査の項目が多く、理解できないため返答が無理と言うことです。強制すれば混乱してますます状態が悪くなります。以上 介助者より。※介助者の項目のみ介助者が記入しました。(身体障害者・75歳)
- ・2、3年に1回位、今度の様なアンケートをお願い致します。(障害不明・年齢不明)
- ・返信が遅れて申し訳ありません。実は昨年未まで妻スギ子は有料老人ホーム イリーゼ初石に入居しておりましたが、年末に家に戻り夫(久)が介護しております。ゴタゴタが多く、つい遅れてしまいました。(身体・知的障害者・82歳)